

男女平等参画に関する市民意識調査 報告書

平成19年9月

苫小牧市

目 次

I 調査の概要		
1 調査の目的	-----	3
2 調査項目	-----	3
3 調査の方法	-----	3
4 回収結果	-----	3
5 結果の表示方法	-----	3
6 標本の属性	-----	4-5
II 調査結果		
1 男女平等について	-----	9-13
2 役割分担意識について	-----	14-17
3 出産・育児について	-----	18-20
4 男女の就業について	-----	21-28
5 女性の人権について	-----	29-30
6 男女平等参画について	-----	31-36
III 意見・要望		
1 設問別意見	-----	39-48
2 男女平等参画についての意見・要望	-----	49-67
IV 集計表	-----	71-87
V 調査票	-----	91-99

I 調査の概要

1 調査の目的

苫小牧市では平成 19 年 4 月に「苫小牧市男女平等参画推進条例」を制定しました。現在進めている平成 13 年に策定された「とまこまい男女共同参画プラン 2 1」はこの条例に定める基本計画の位置づけにあります。計画期間が平成 19 年度を目処となっており、そのため、次につづく計画の策定にあたり、参考資料とすることを目的にこの調査を実施いたしました。

2 調査項目

- (1) 男女平等について
- (2) 役割分担意識について
- (3) 少子高齢化について
- (4) 男女の就業について
- (5) 女性の就業について
- (6) 男女平等参画について

3 調査の方法

- (1) 調査地域 苫小牧市全域
- (2) 調査対象 20 歳以上の男女 1, 5 0 0 人 (男女各 750 人)
- (3) 抽出方法 住民基本台帳システムによる無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による個別調査
- (5) 調査期間 平成 19 年 2 月 1 日から 2 月 16 日まで

4 回収結果

- (1) 標本数 1, 5 0 0 (男女各 7 5 0)
- (2) 回収数 (率) 5 1 4 (回収率 3 4. 3%)
 - 女性 2 7 9 (5 4. 3%)
 - 男性 2 3 3 (4 5. 3%)
 - 性別無回答 2 (0. 4%)

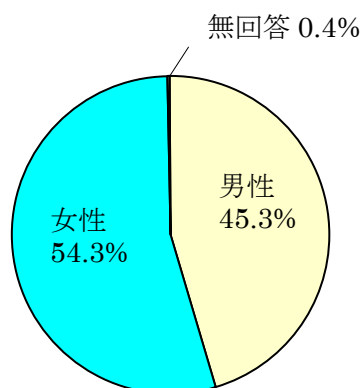
5 結果の表示方法

- (1) N とは、回答者数を表しています。
- (2) 比率は、各設問の「無回答」を含む集計対象総数に対する百分率 (%) で表示しています。
- (3) 比率は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。このため、比率の合計が 100%にならない場合があります。
- (4) 複数回答ができる設問では、比率の合計が 100%を超える場合があります。

6 標本の属性 全体N=514

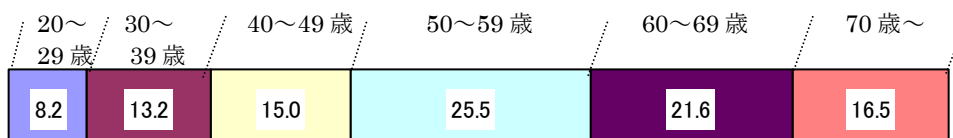
【性別】

男性	233 人
女性	279 人
無回答	2 人
合計	514 人



【年齢】

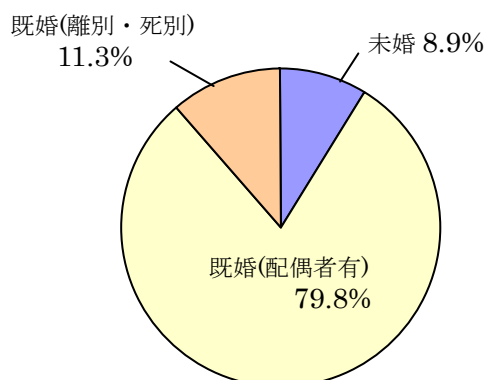
20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
42 人	68 人	77 人	131 人	111 人	85 人	514 人



【単位 %】

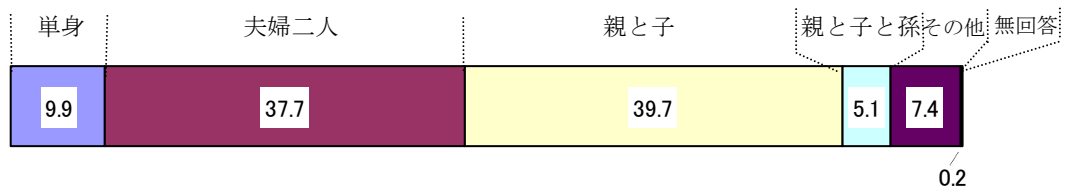
【未婚・既婚】

未婚	46 人
既婚(配偶者有)	410 人
既婚(離別・死別)	58 人
合計	514 人



【家族形態】

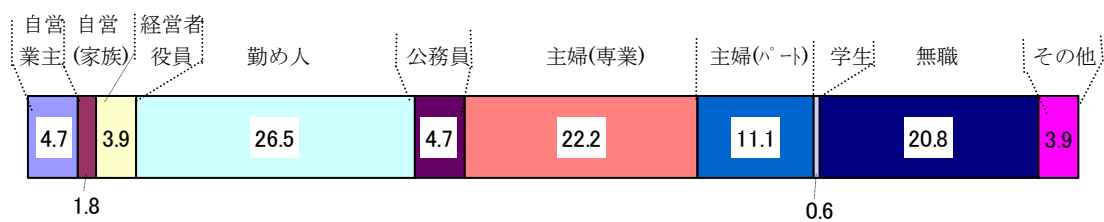
単身	夫婦二人	親と子	親と子と孫	その他	無回答	合計
51人	194人	204人	26人	38人	1人	514人



【単位 %】

【職業】

自営業 (自営業 主)	自営業 (家族従 事者)	会体、団体 の経営者、 役員	勤め人 (公務員 以外)	公務員	主婦 (専業)	主婦 (パート)	学生	無職	その他	合計
24人	9人	20人	136人	24人	114人	57人	3人	107人	20人	514人

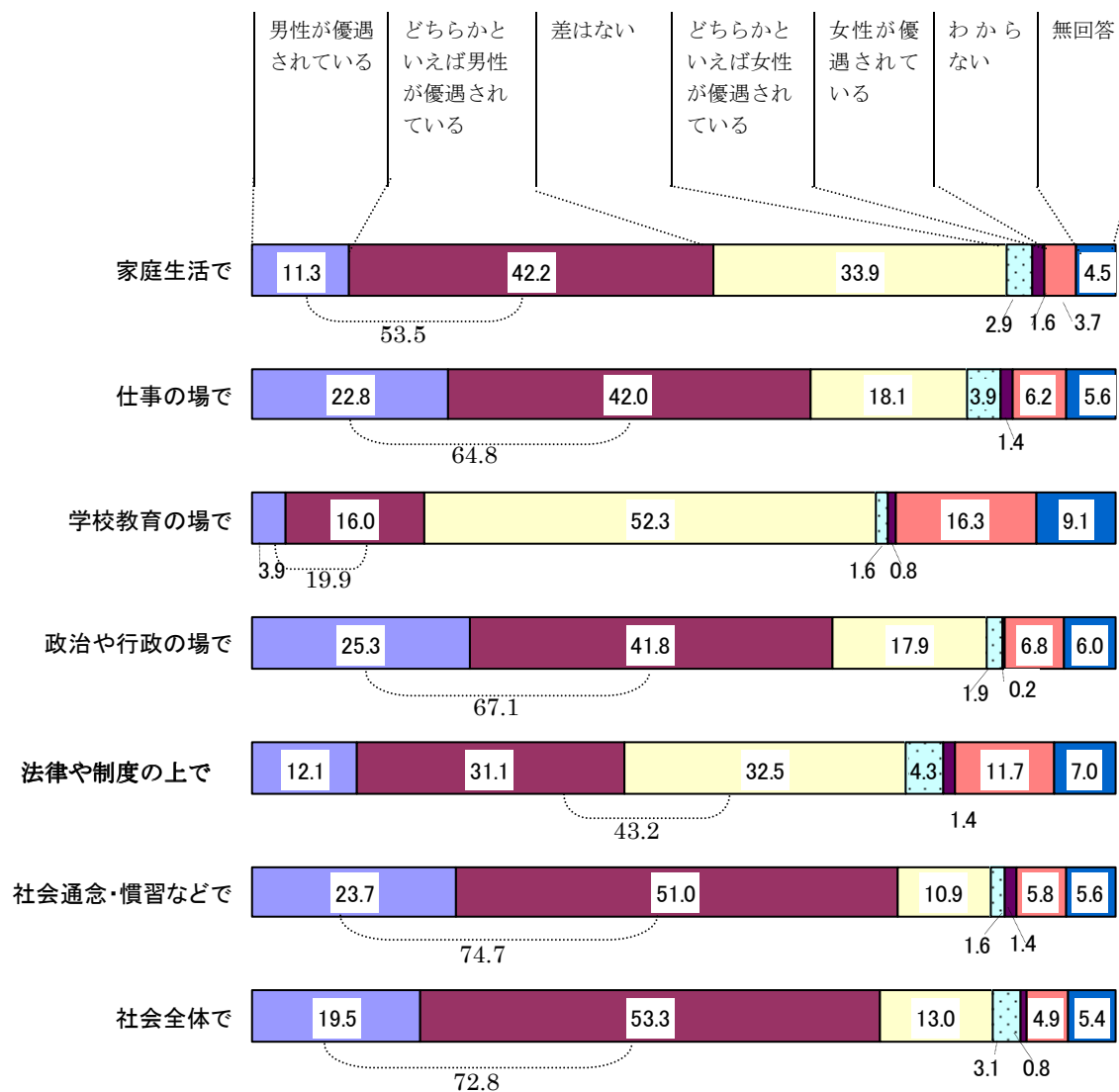


【単位 %】

II 調査結果

1 男女平等について

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。 【回答はそれぞれひとつ】

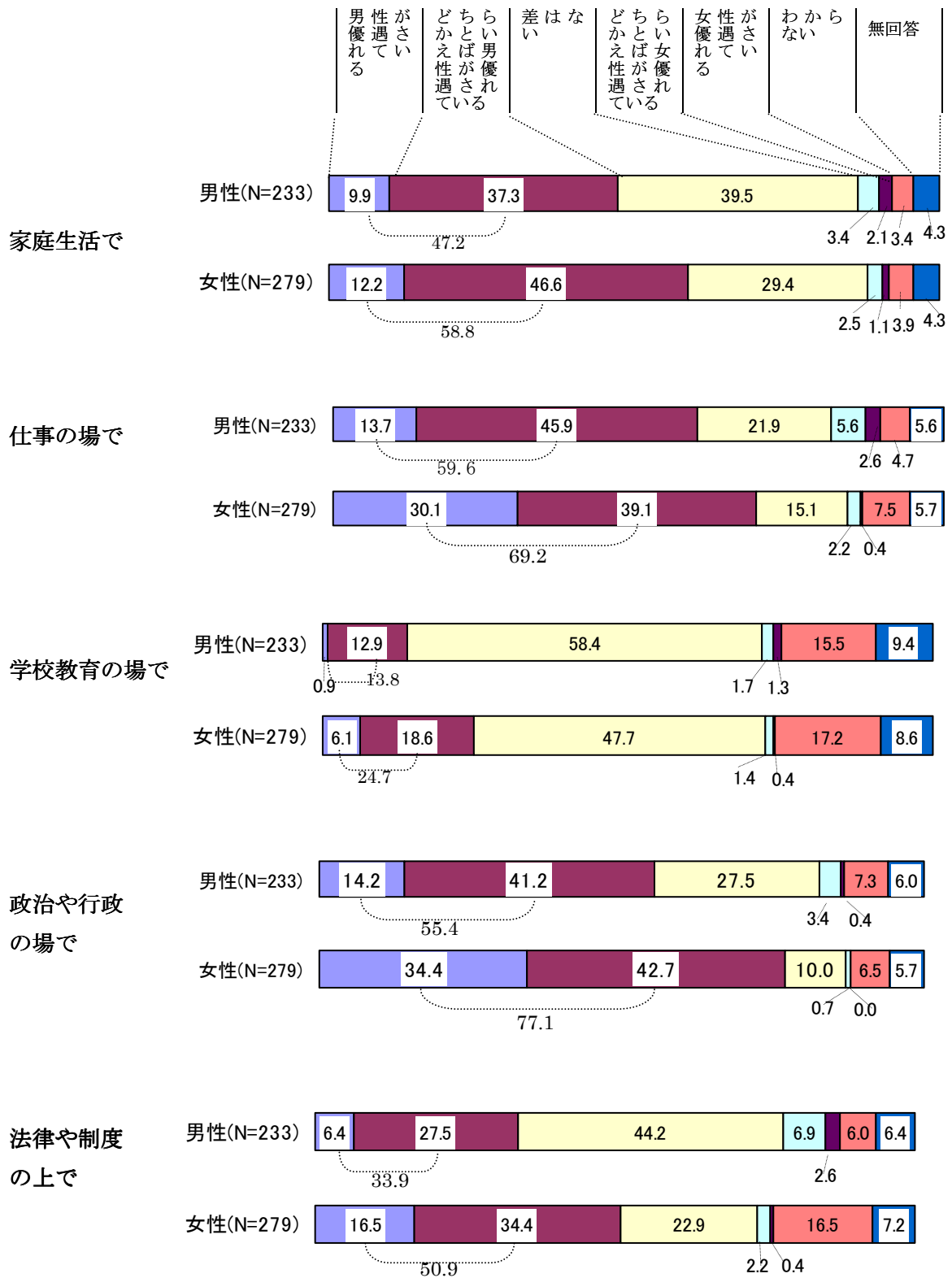


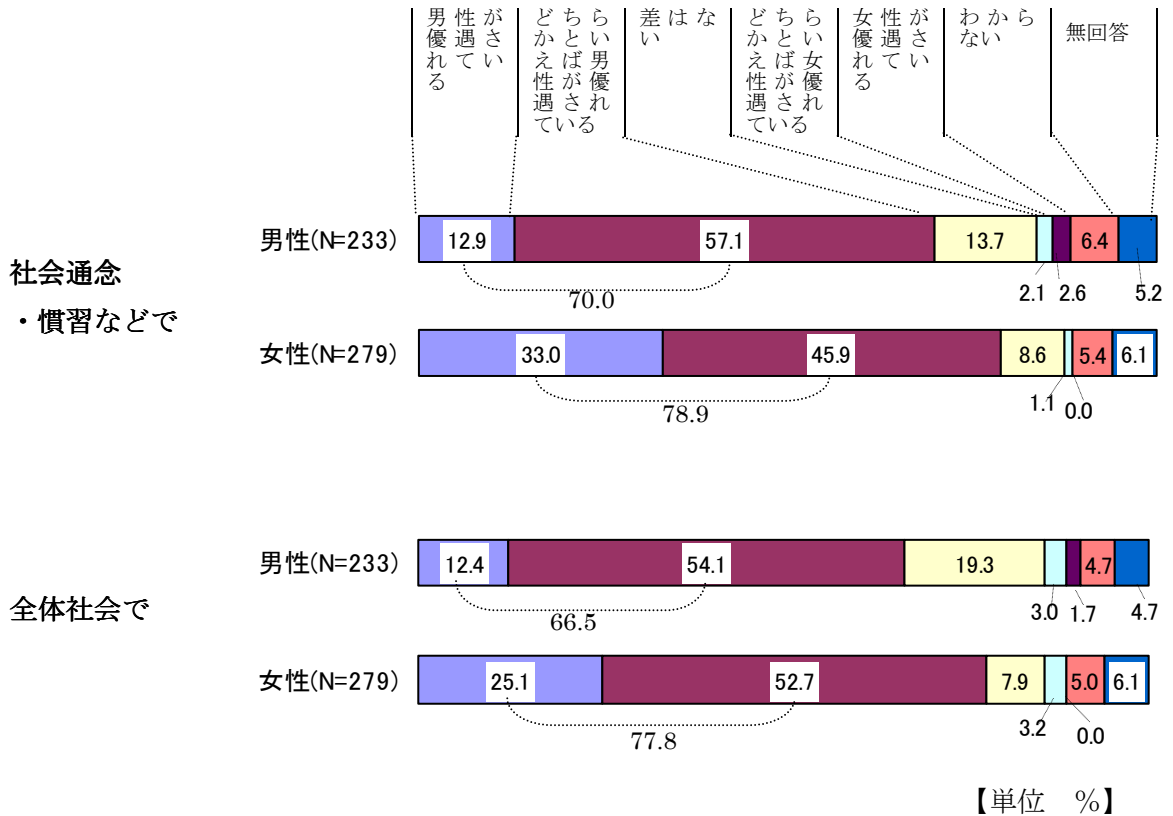
全体 N=514 【単位 %】

男女の地位の平等感について、『社会全体で』では「どちらかといえば男性優遇」を含めると「男性が優遇されている」は72.8%、「差はない」と答えた人は、13.0%になっています。

分野別では、『学校教育の場で』において「どちらかといえば男性優遇」を含め「男性が優遇されている」は、19.9%で最も低く、「差はない」と答えた人が52.3%と最も高くなっています。また、『社会通念・慣習などで』において「どちらかといえば男性優遇」を含め「男性が優遇されている」は、74.7%と最も高く、「差はない」と答えた人が10.9%と最も低い結果になっています。

■ 男女別比率



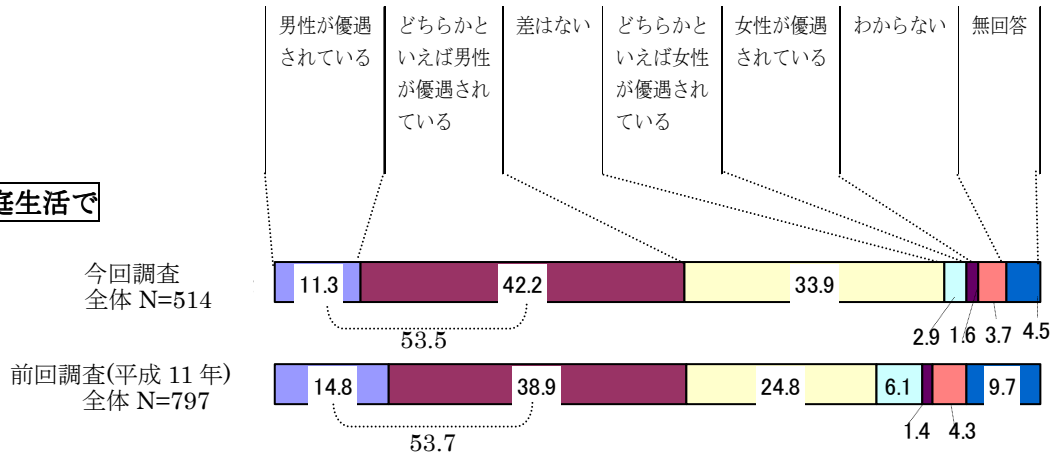


性別では、どの分野においても女性は男性に比べて「差はない」と感じている人は少なく、「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

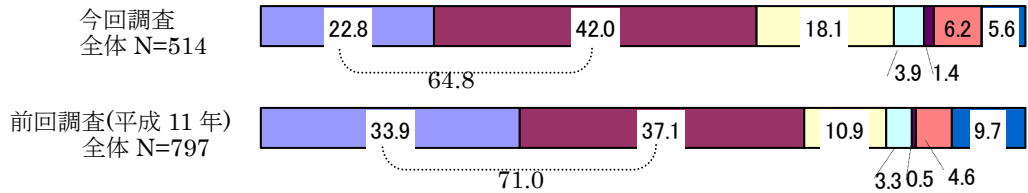
分野別では、『政治や行政の場で』で、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇されている」は、男性が 55.4%女性が 77.1%で 21.7 ポイントの差が生じています。また、『法律や制度の上で』で、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇されている」は、男性が 33.9%女性が 50.9%で 17.0 ポイントの差となっています。

■ 前回調査(平成 11 年)との比較

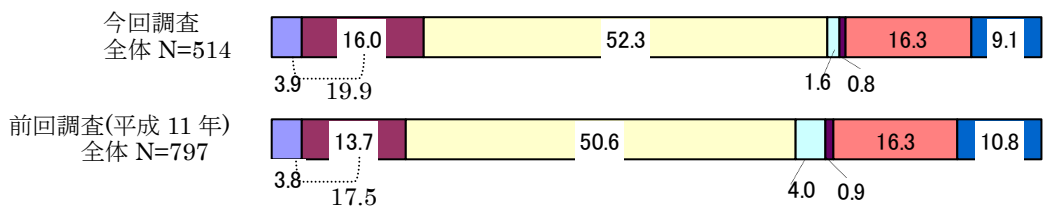
家庭生活で



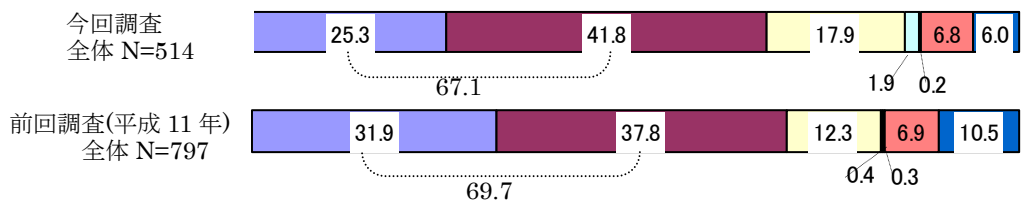
仕事の中で



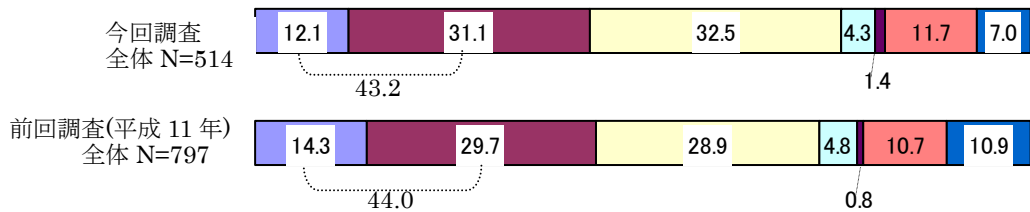
学校教育の中で

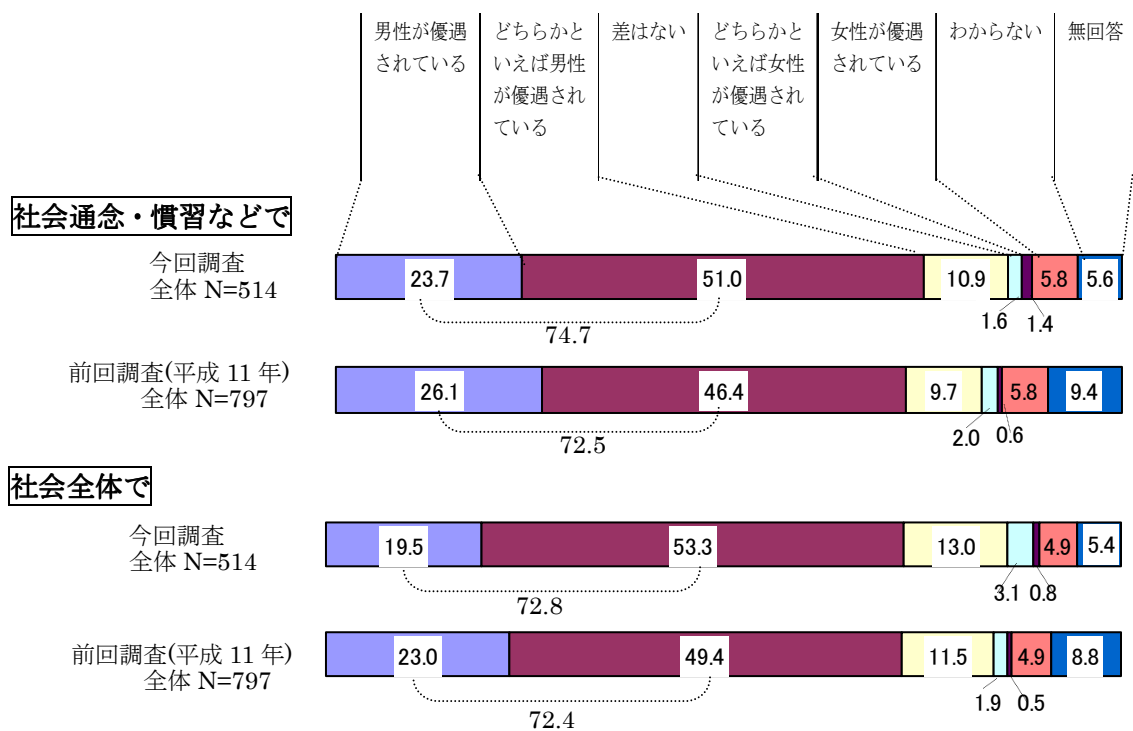


政治や行政の中で



法律や制度の上で





【単位 %】

前回の調査（平成 11 年実施）と比べると、『家庭生活で』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は、前回 53.7%今回 53.5%でほぼ同じとなっていますが、「差はない」は前回 24.8%今回 33.9%で今回の割合が高くなっています。

『仕事の中で』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は、前回 71.0%今回 64.8%、「差はない」は前回 10.9%今回 18.1%で、「男性が優遇」が減少し「差はない」が増加しています。

『学校教育の中で』では、「差はない」は前回 50.6%で、今回も 52.3%と 5 割を越えた結果になっています。

『政治や行政の中で』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は、前回 69.7%、今回 67.1%と 7 割近くになっています。「差はない」は前回 12.3%、今回 17.9%で少し増えています。

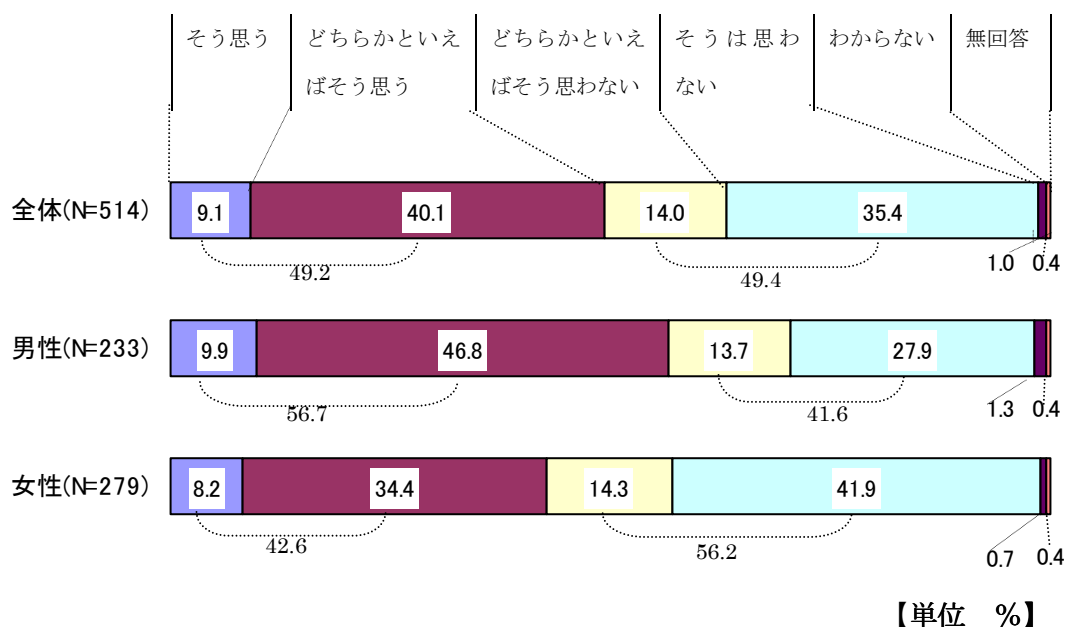
『法律や制度の上で』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は、前回 44.0%、今回 43.2%、「差はない」は前回 28.9%、今回 32.5%とほぼ同じになっています。

『社会通念・慣習などで』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は前回 72.5%今回 74.7%と 7 割を越えています。

『社会全体で』では、「どちらかといえば」を含む「男性が優遇」は前回 72.4%今回 72.8%、「差はない」は前回 11.5%今回 13.0%となっておりほぼ同じ割合になっています。

2 役割分担意識について

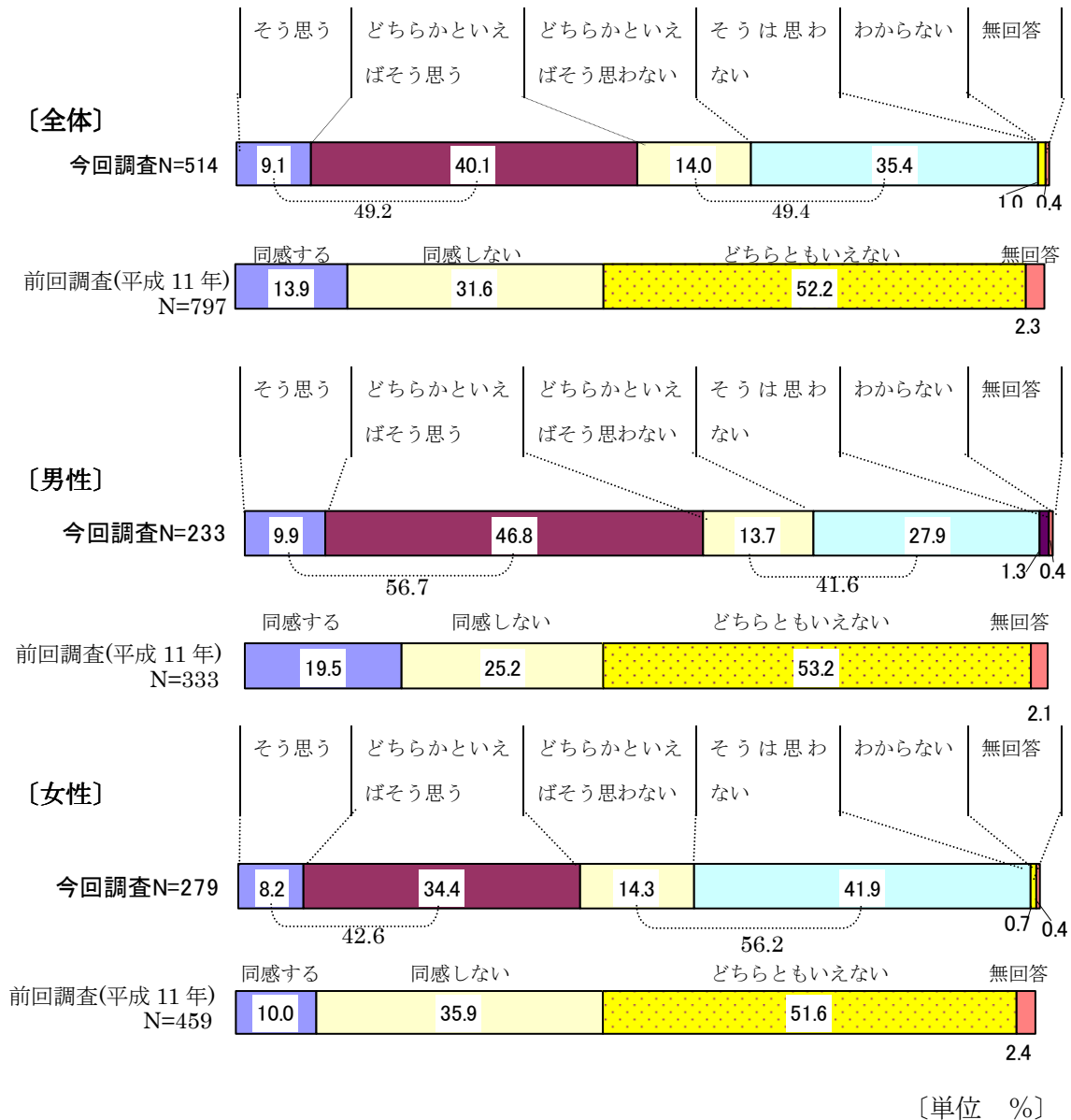
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方をどう
思われますか。 【回答はひとつ】



「男は仕事、女は家庭」という考え方については、全体では「そう思う」は9.1%、「どちらかといえばそう思う」は40.1%で、合わせると49.2%、「どちらかといえばそう思わない」は14.0%、「そうは思わない」は35.4%、合わせると49.4%になっています。

性別では、男性の「どちらかといえば」を含む「そう思う」は56.7%、「そうは思わない」は41.6%で、女性の「どちらかといえば」を含む「そう思う」は42.6%、「そうは思わない」は56.2%になっています。

■ 前回調査(平成 11 年)との比較



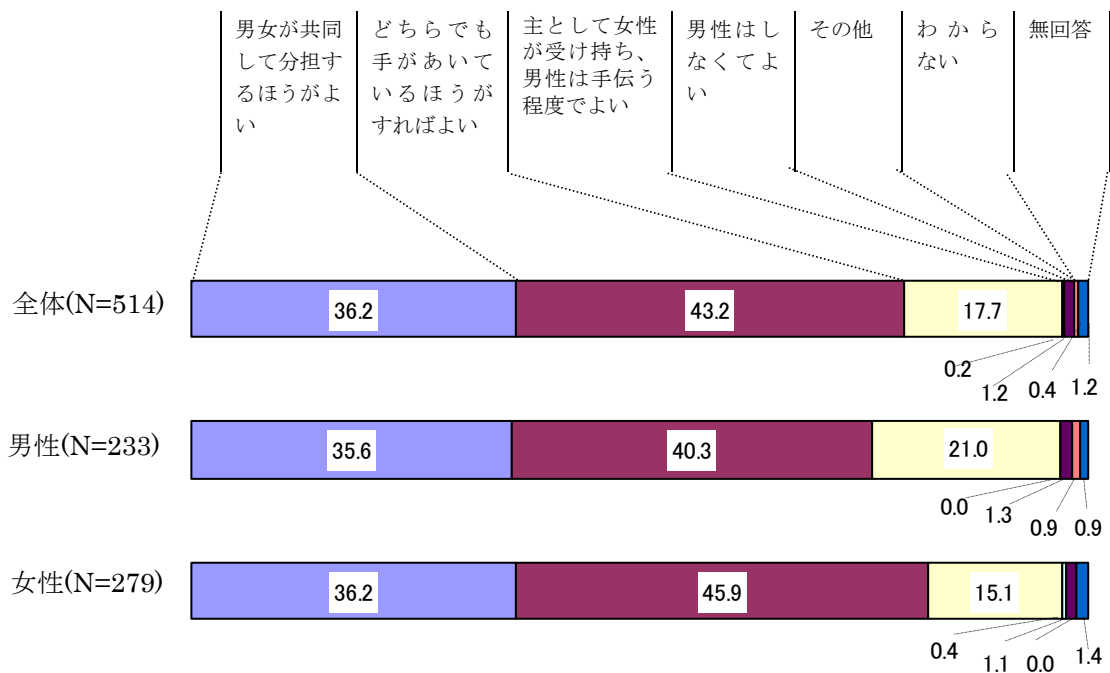
前回（平成 11 年）の問いでは、「同感する」「同感しない」「どちらともいえない」の三つからの選択でしたが、今回の問いは「どちらかといえば」の選択を増やしています。

前は全体、性別とも「どちらともいえない」が 50%を超えていました。

今回、「どちらかといえば」を含めると、全体では、「そう思う」は 49.2%、「そう思わない」は 49.4%で、前回「同感する」は 13.9%、「同感しない」は 31.6%となっています。

性別では、「どちらかといえば」を含めると、男性の「そう思う」は 56.7%、「そう思わない」は 41.6%で、前回「同感する」は 19.5%、「同感しない」は 25.2%、女性の「そう思う」は 42.6%、「そう思わない」は 56.2%で、前回「同感する」は 10.0%、「同感しない」は 35.9%となっています。

問3 一般的に、共働きの家庭での家事・育児・介護などの分担について、あなたはどのように考えますか。 【回答はひとつ】

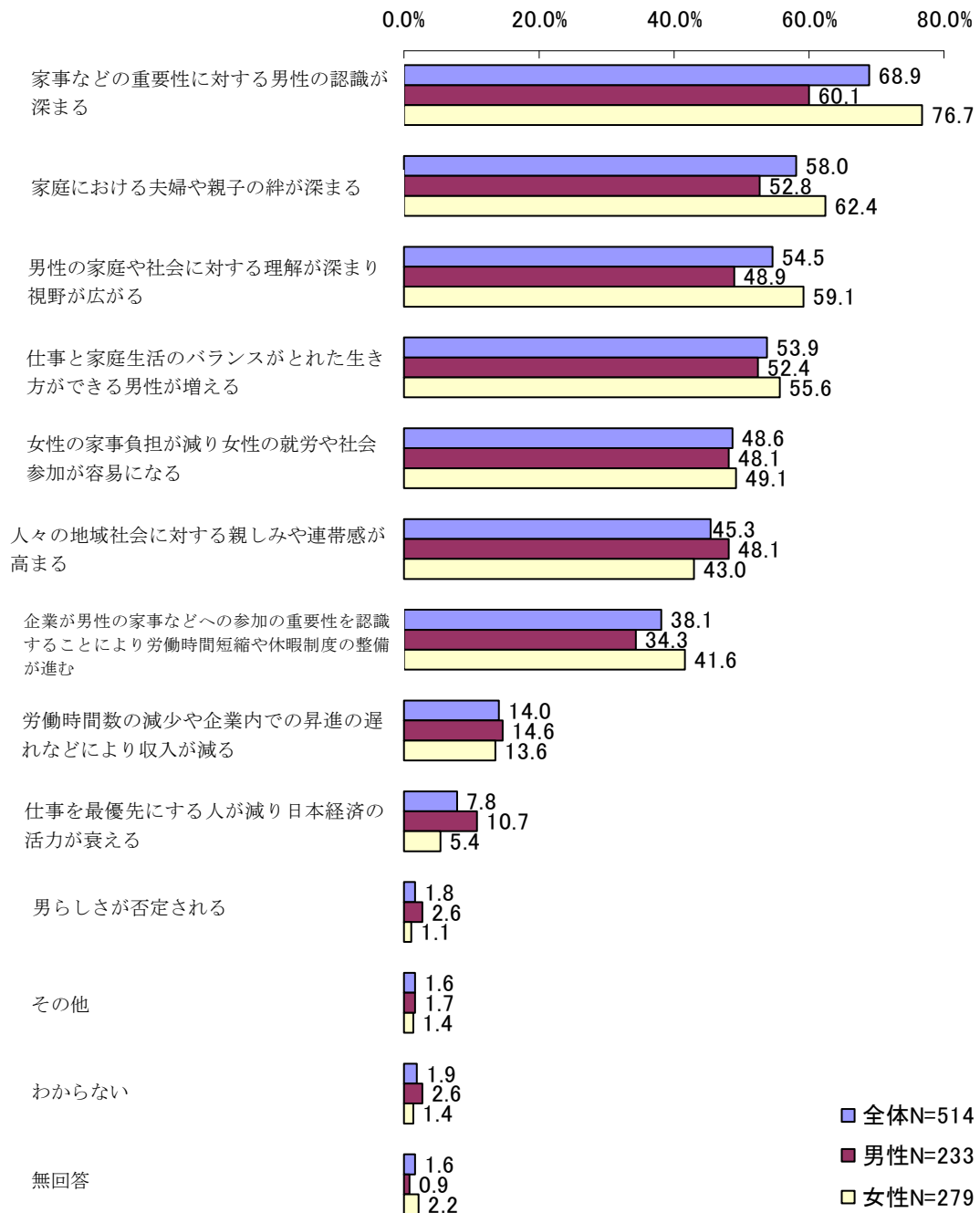


【単位 %】

共働き家庭の家事・育児・介護などの分担について、全体として「男女が共同して分担するほうがよい」は36.2%、「手があいているほうがすればよい」は43.2%、「主として女性、男性は手伝い程度」は17.7%、「男性はしなくてよい」は0.2%となっています。

「主として女性、男性は手伝い程度」では男性が21.0%、女性は15.1%で男性が高くなっています。

問4 男性が家事、子育て・教育、介護、地域活動（ボランティア活動など）に参加するとどのような変化があると思いますか。 【複数回答】

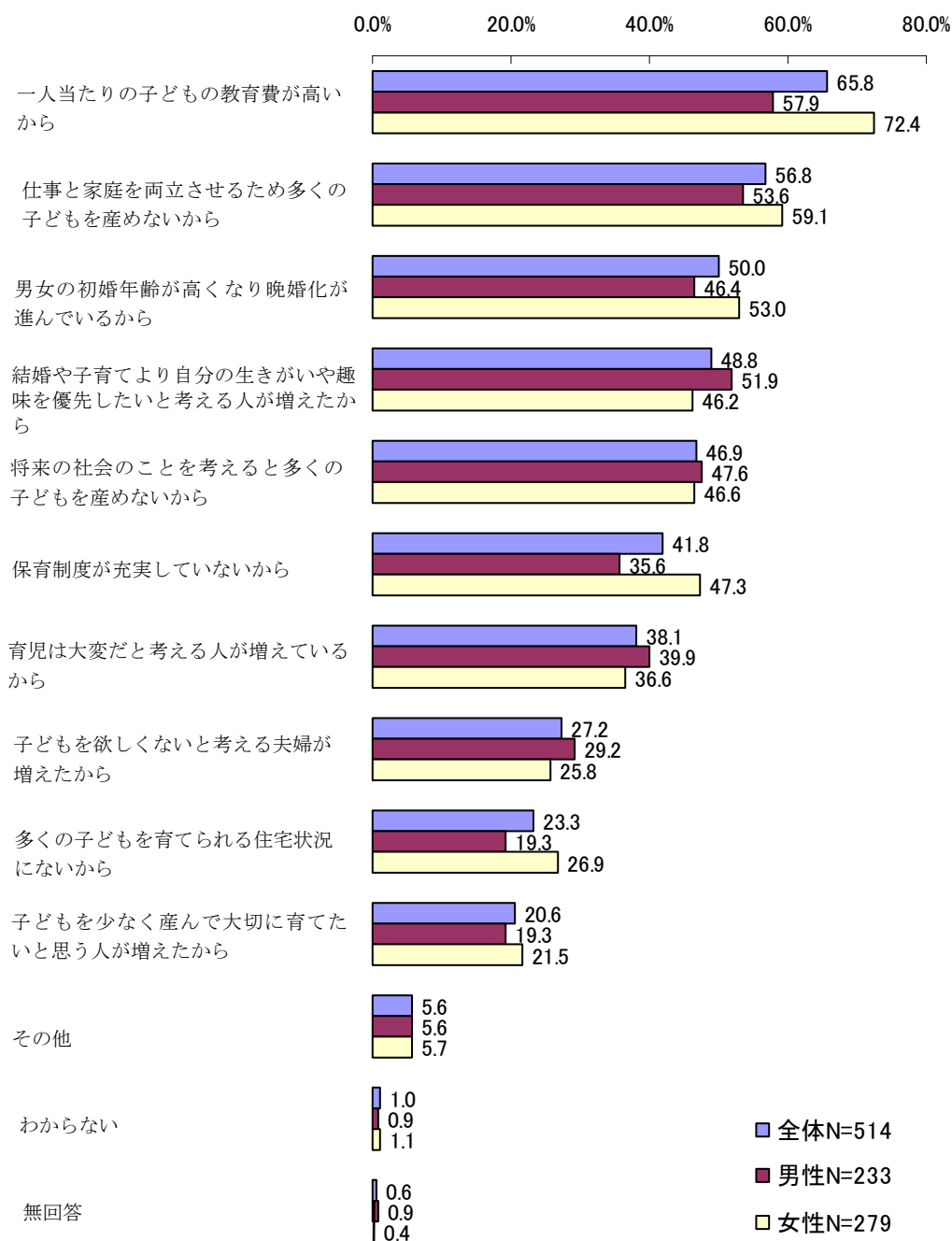


男性が仕事以外に家事などに参加するとどのような変化があるかについて、全体では、「家事などの重要性に対する男性の認識が高まる」68.9%、「家庭における夫婦、親子の絆が深まる」58.0%、「男性の家庭や社会に対する理解が深まり視野が広がる」54.5%、「仕事と家庭のバランスがとれた生き方ができる男性が増える」53.9%の順になっています。

性別でみると、特に女性の「家事などの重要性に対する男性の認識が高まる」が76.7%と高くなっています。

3 出産・育児について

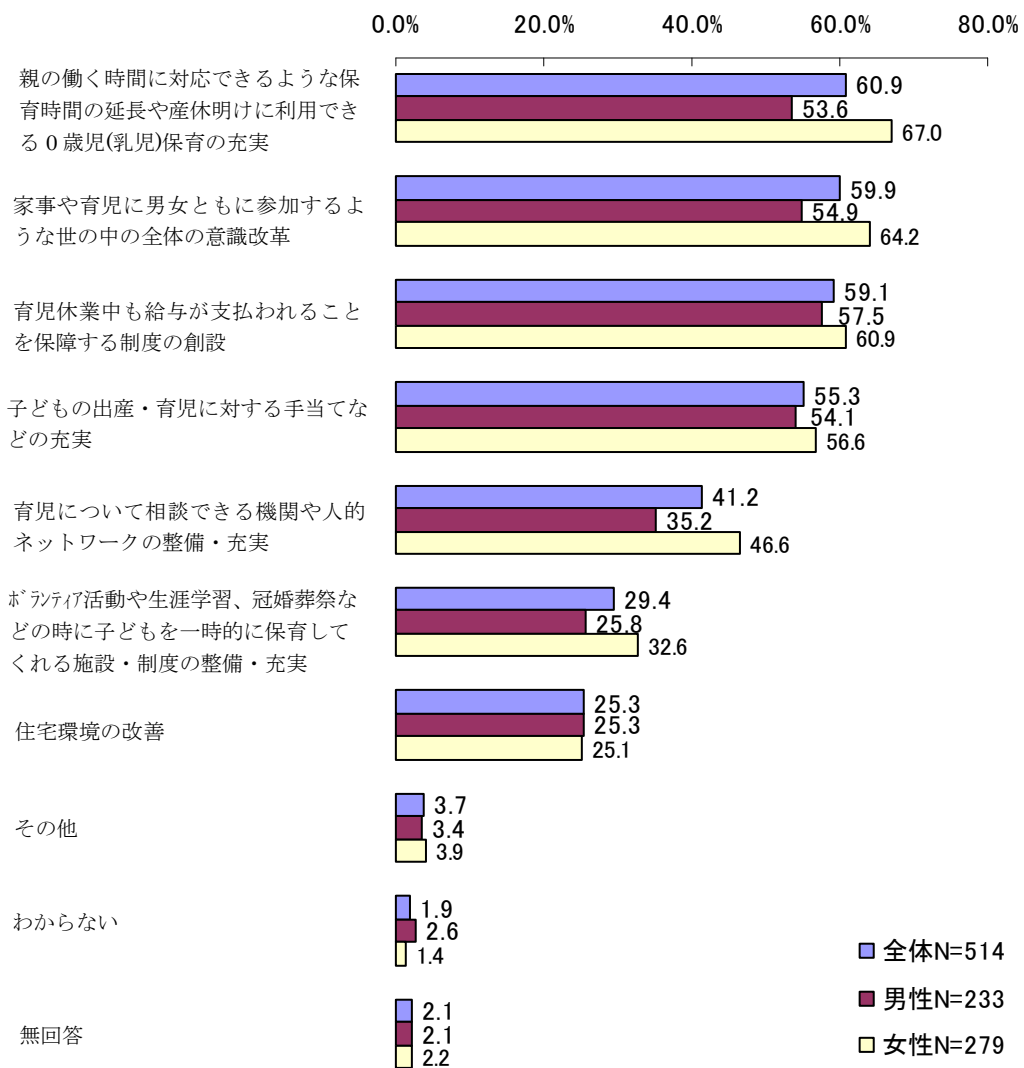
問5 現在、一人の女性が一生のうちに産む子どもの数は、年々減りつづけています。このように出生率が低下したのはなぜだと思いますか。 【複数回答】



出生率低下の理由について、「子どもの教育費の高さ」65.8%、「仕事と家庭を両立させるために多く産めない」56.8%、「晩婚化の進行」50.0%、「結婚や子育てより自分の生きがい・趣味優先」48.8%、「将来の社会への不安」46.9%の順になっています。

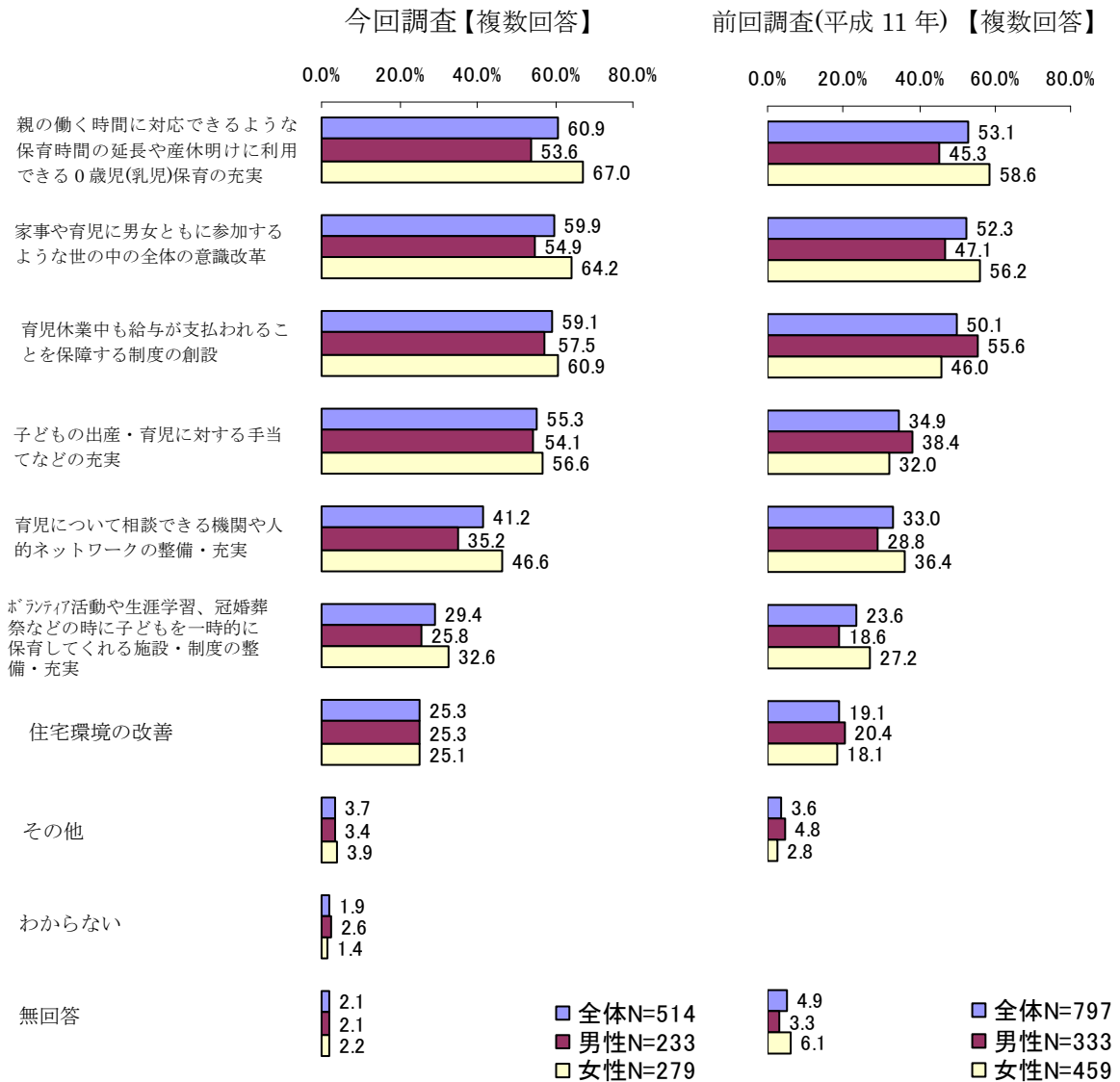
性別で見ると、女性の「子どもの教育費の高さ」が72.4%と高くなっています。

問6 あなたは、子どもを産みやすい育てやすい環境づくりのためには、どのような施策が必要だと思いますか。 【複数回答】



子どもを産み育てやすい環境づくりのためにどのような施策が必要かについて、全体として「親の働く時間に対応する保育時間の延長や0歳児保育の充実」60.9%、「家事や育児に男女がともに参加する世の中全体の意識改革」59.9%、「育児休業中の給与保障制度の創設」59.1%、「出産・育児に対する手当てなどの充実」55.3%の順になっています。男性、女性についても同様の項目が上位になっています。

■ 前回調査(平成 11 年)との比較



今回調査では、前回と同様「保育時間の延長、0 歳児保育の充実」、「男女が家事・育児に参加する世の中の意識改革」、「育児休業中の給与保障」、「出産・育児手当の充実」の順になっています。

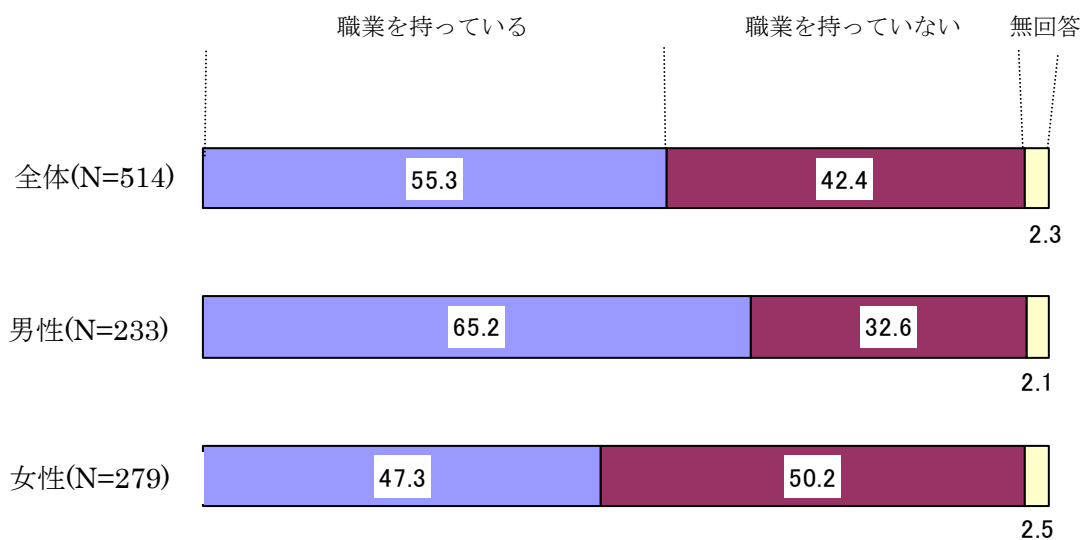
また、どの項目においても前回に比べて割合が上がっています。

特に、「子どもの出産・育児に対する手当てなどの充実」では、全体で 20.4 ポイント上がっています。

4 男女の就業について

問7 あなたは、現在職業をお持ちですか。

【回答はひとつ】



【単位 %】

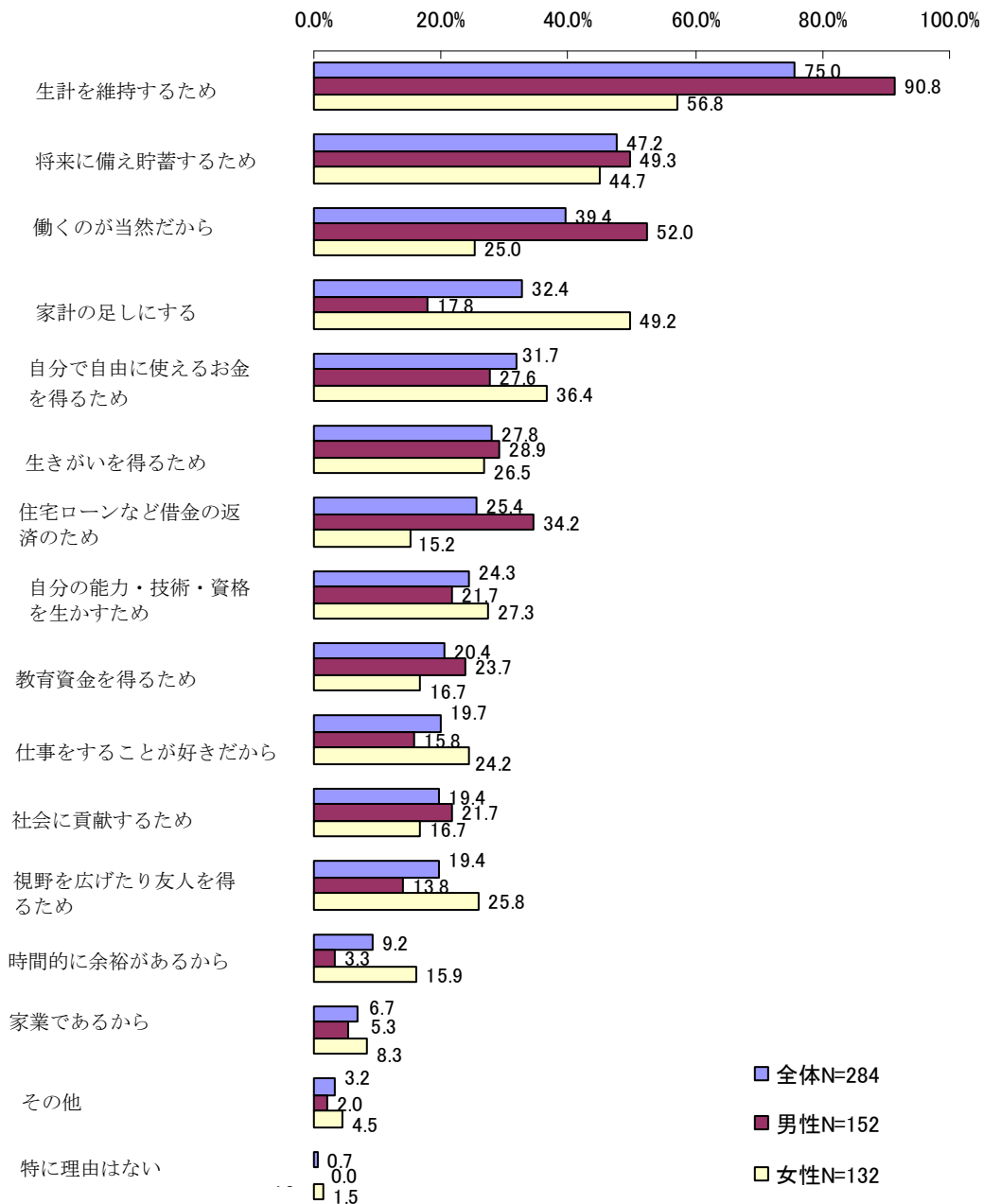
調査回答者の職業の有無について、全体では「職業を持っている」は55.3%、「職業をもっていない」は42.4%となっています。

性別では、男性が「職業を持っている」65.2%、「職業をもっていない」32.6%となっており、女性は「職業を持っている」47.3%、「職業をもっていない」50.2%となっています。

問8 問7で「職業を持っている」と答えた方にお聞きします。

あなたが現在働いているのはどのような理由からですか。

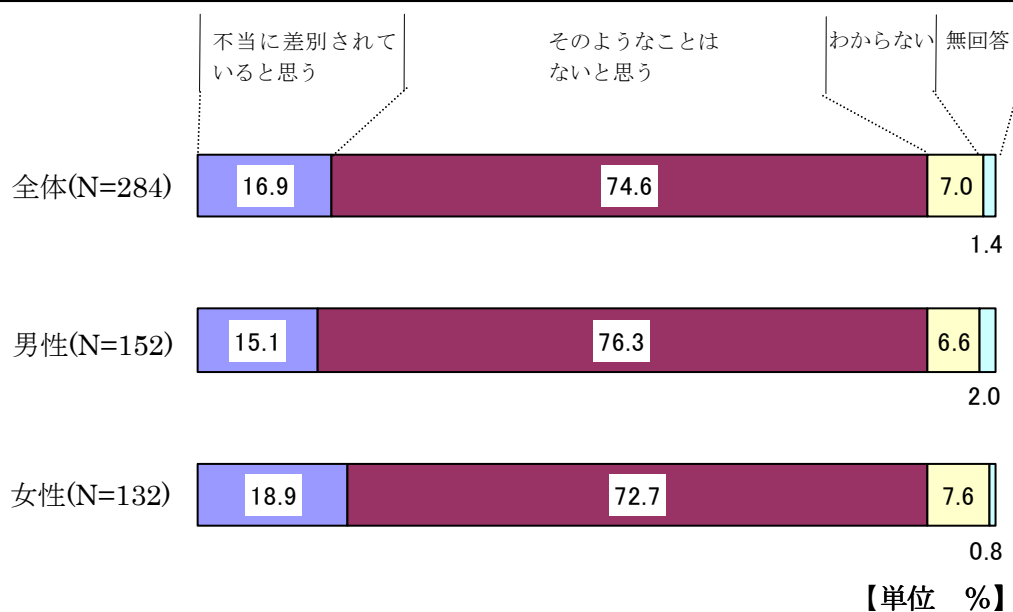
【複数回答】



働く理由として、全体では、「生計を維持するため」は 75.0%、「将来に備え貯蓄するため」は 47.2%が高く、つぎに「働くのが当然だから」が 39.4%、「家計の足しにする」が 32.4%、の順になっています。

性別では、男性は「生計を維持するため」が 90.8%、「働くのが当然だから」が 52.0%、「将来に備え貯蓄するため」が 49.3%、「住宅ローンなどの借金の返済」が 34.2%の順で、女性は「生計を維持するため」が 56.8%、「家計の足しにする」が 49.2%、「将来に備え貯蓄するため」44.7%の順となっています。特に男性の「生計を維持するため」、女性の「家計の足しにする」が高くなっています。

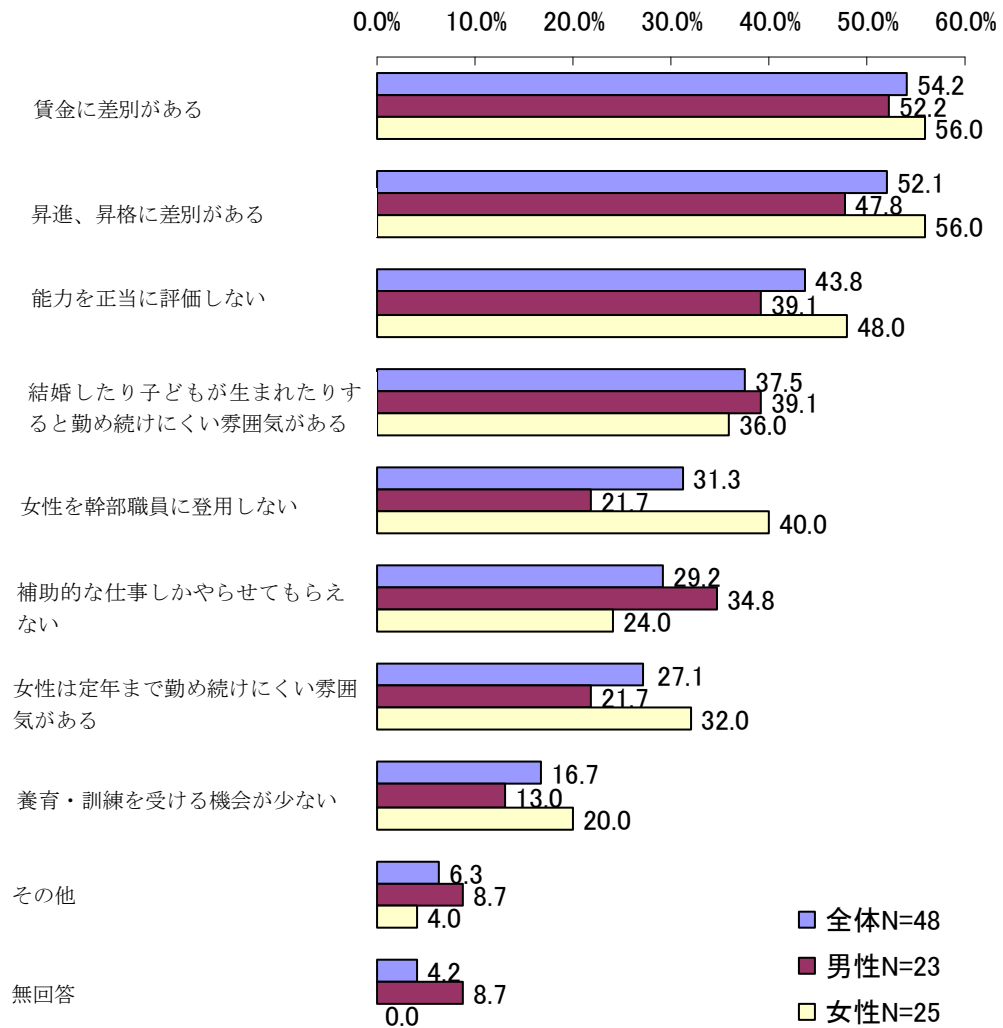
問9 問7で「職業を持っている」と答えた方にお聞きします。
 あなたの今の職場では、女性は男性に比べ不当に差別されていると思いますか。
 【回答はひとつ】



今働いている職場で、女性が男性に比べて不当に差別されているかについて、全体では、職場において女性が男性に比べて「不当に差別されていると思う」は、16.9%、「そのようなことはない」は74.6%となっています。

性別で見ると、男性の「不当に差別されていると思う」は15.1%、「そのようなことはない」は76.3%、女性の「不当に差別されていると思う」は18.9%、「そのようなことはない」は72.7%で、「不当に差別されていると思う」割合が女性のほうが高くなっています。

問9-1 問9で「不当に差別されていると思う」と答えた方にお聞きます。それは具体的にどのようなことですか。 【複数回答】



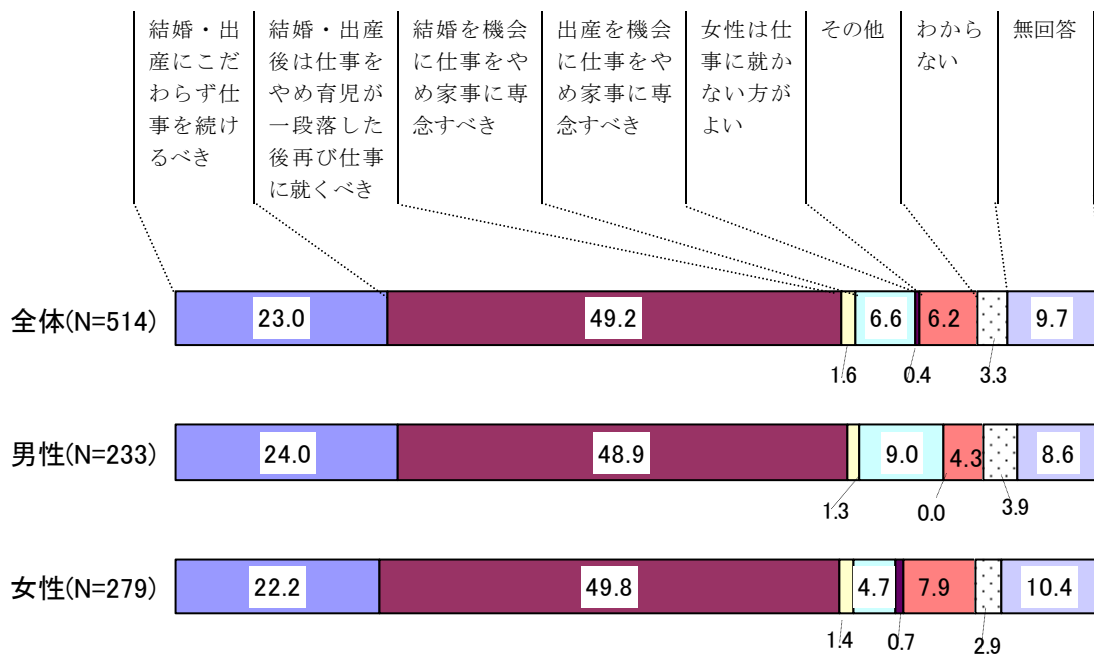
不当に差別されていると思う具体例について、全体として「賃金に差別がある」54.2%、「昇進・昇格に差別がある」52.1%と高く、「能力を正當に評価しない」43.8%、「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」37.5%、「女性を幹部職員に登用しない」31.3%となっている。

性別にみると、「女性を幹部職員に登用しない」では男性が21.7%、女性は40.0%、「女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある」では男性が21.7%、女性は32.0%と女性が10ポイント以上高く、差がでています。

「補助的な仕事しかやらせてもらえない」では、男性が34.8%、女性は24.0%で男性が高くなっています。

問10 あなたは、女性の仕事と家庭の関わりについて、どのように考えますか。

【回答はひとつ】

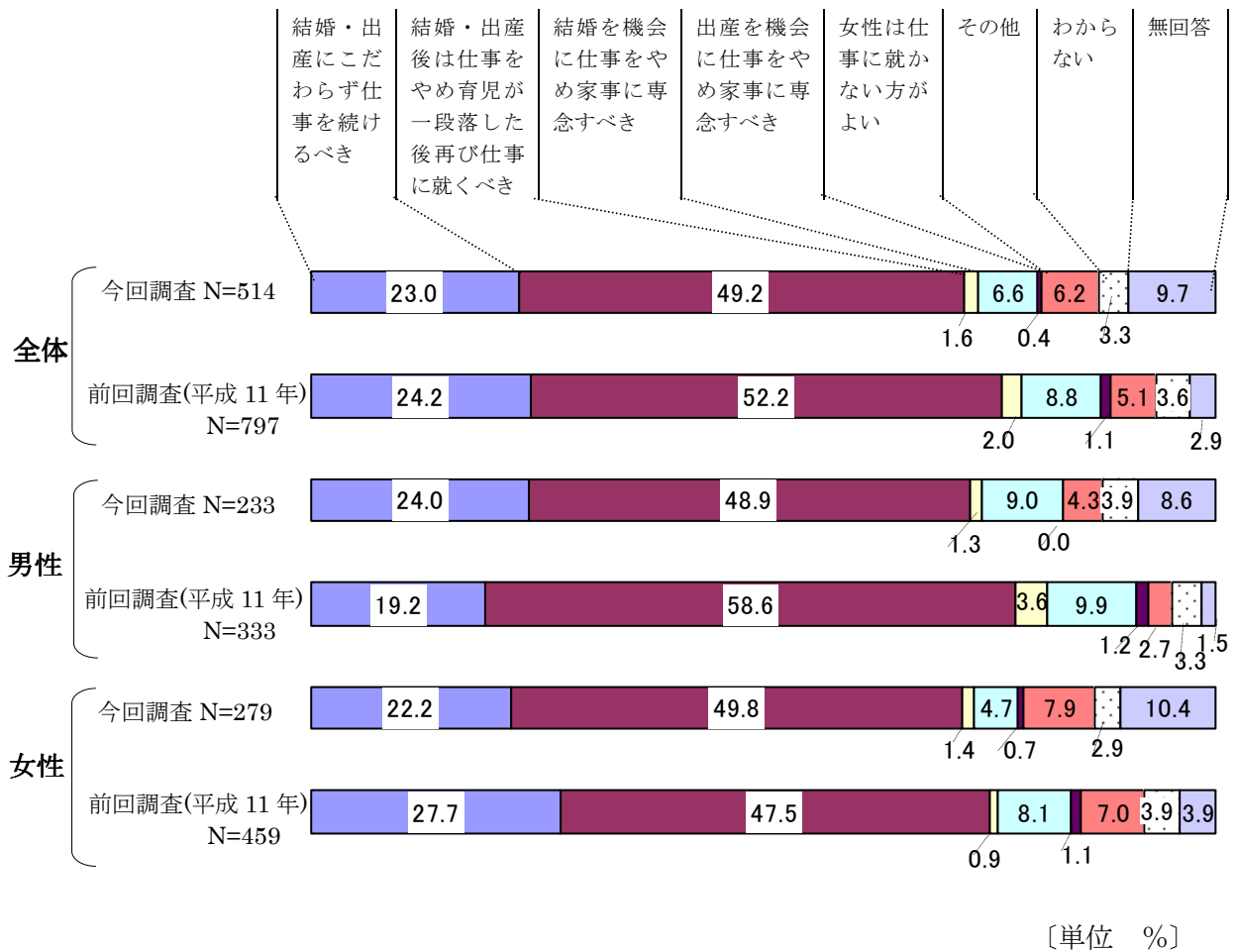


【単位 %】

女性が仕事をする事について、全体では「結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後再び就くべき」が49.2%と最も高く、「結婚や出産にこだわらず仕事を続けるべき」は23.0%、「出産を機会に仕事をやめ家事に専念する」は6.6%、「結婚を機会に仕事をやめ家事に専念する」は1.6%となっています。

性別をみると「結婚や出産後は仕事をやめ、育児が一段落した後再び就くべき」、「結婚や出産にこだわらず仕事を続けるべき」、「結婚を機会に仕事をやめ家事に専念する」は男女ともほとんど同様の割合になっていますが、「出産を機会に仕事をやめ家事に専念する」については男性が9.0%女性は4.7%で男性が高くなっています。

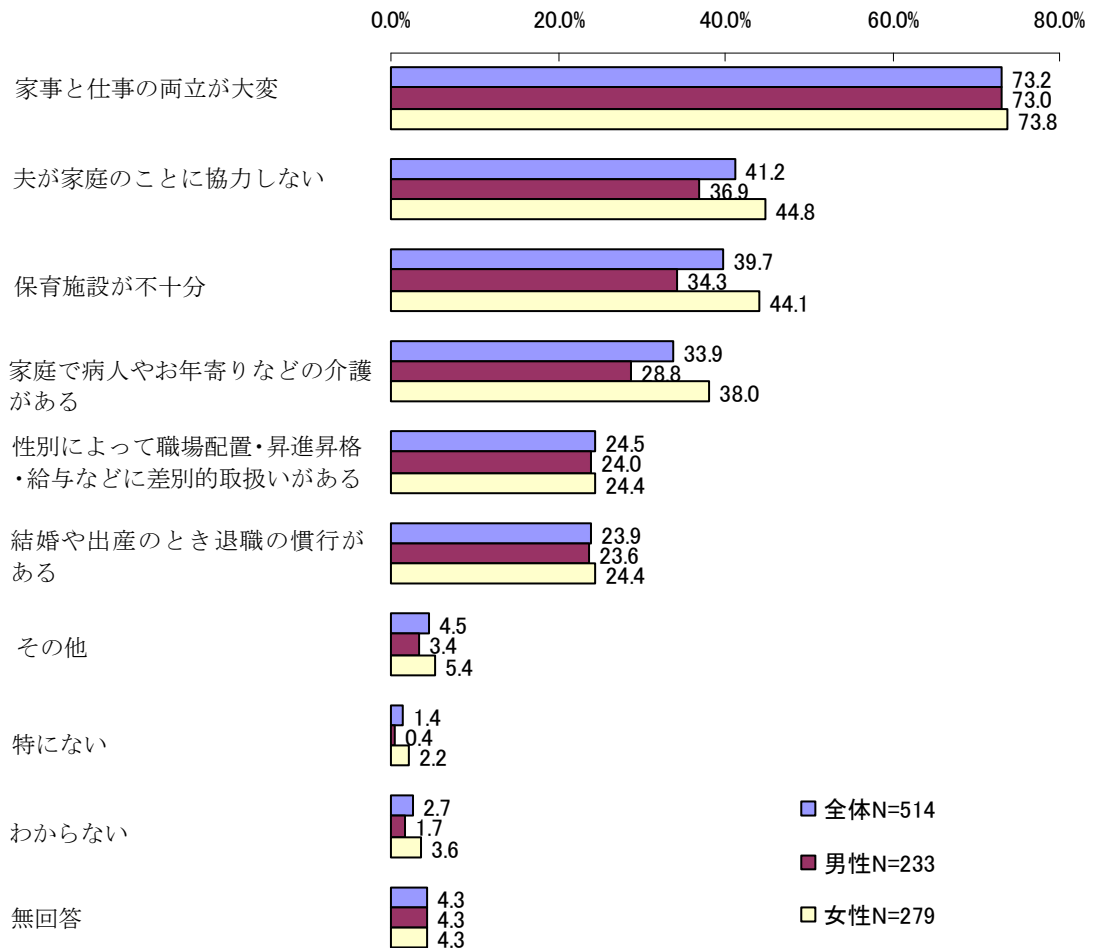
■ 前回調査(平成 11 年)との比較



前回調査(平成 11 年)と比べると、全体では「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した後再就職」が前回 52.2%今回 49.2%と少し割合が下がっています。

性別では、男性の「結婚・出産にこだわらず仕事を続けるべき」は、前回 19.2%今回 24.0%と上がり、「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した後再就職」は、前回 58.6%今回 48.9%と下がっています。女性の「結婚・出産にこだわらず仕事を続けるべき」は、前回 27.7%今回 22.2%と下がり、「結婚・出産後は仕事をやめ育児が一段落した後再就職」は、前回 47.5%今回 49.8%と少し上がっています。

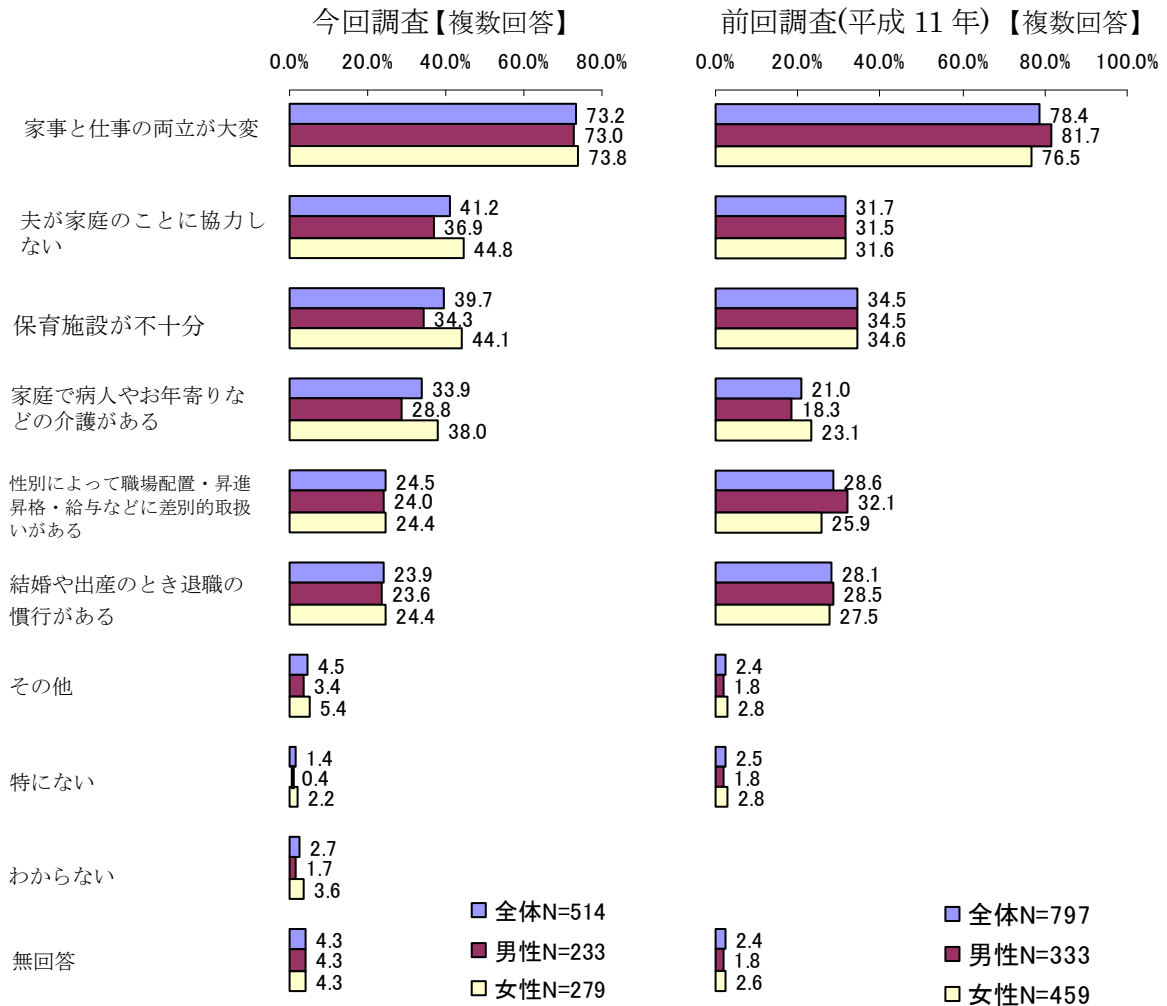
問11 あなたは、女性が仕事を続けていくなかで、障害となっていると思われることは何ですか。 【複数回答】



女性が仕事を続けるなかでの障害について、全体では「家事と仕事の両立が大変」は73.2%で非常に高く、「夫が家庭のことに協力しない」は41.2%、「保育施設が不十分」は39.2%、「家庭で病人やお年寄りの介護がある」は33.9%となっています。

性別をみると「夫が家庭のことに協力しない」、「保育施設が不十分」、「家庭で病人やお年寄りの介護がある」の項目で女性の割合が高くなっています。

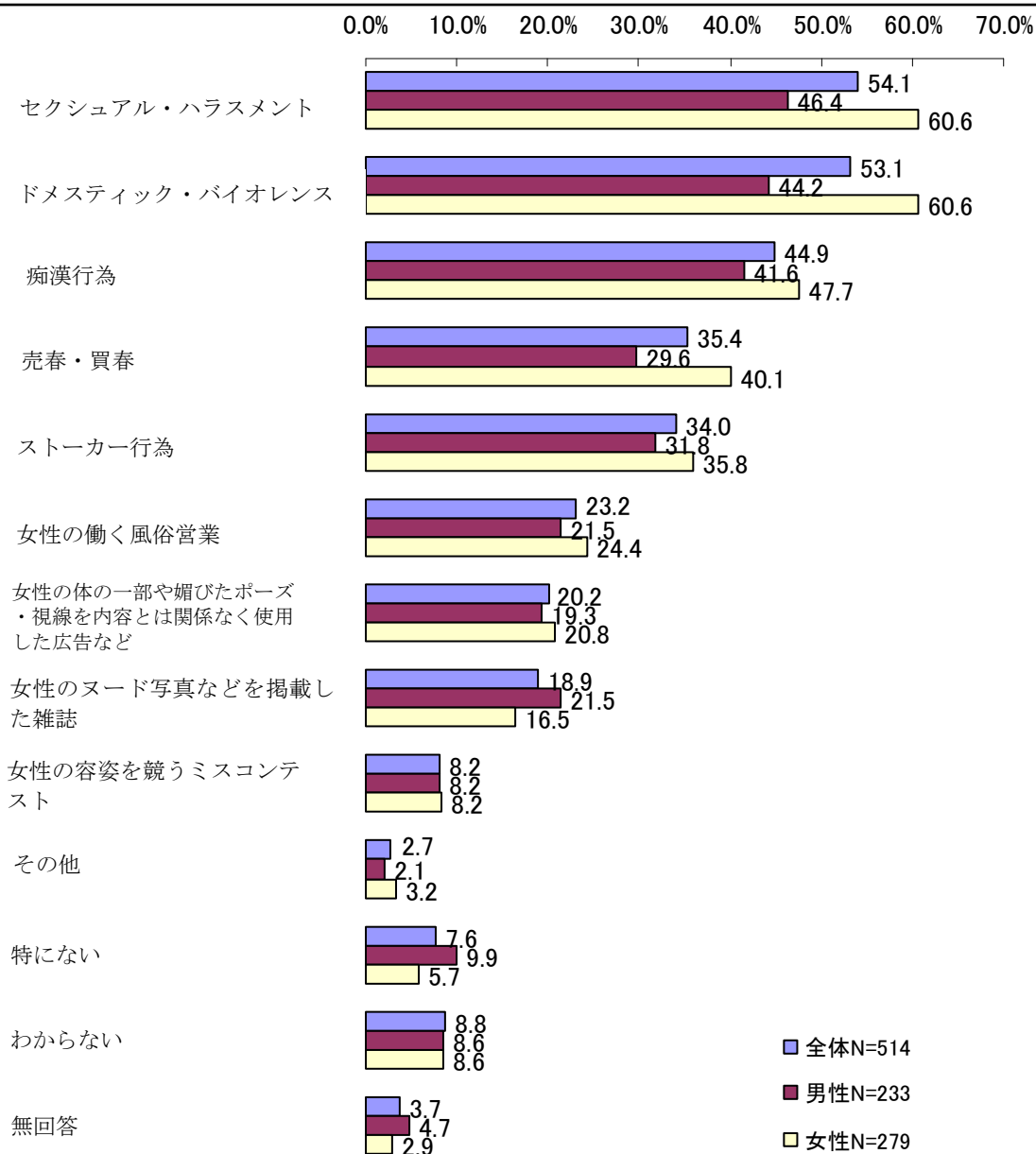
■ 前回調査(平成 11 年)との比較



前回調査(平成 11 年)と比べると、全体として「家事と仕事の両立が大変」が割合が少し下がってはいますが、前回と同様 7 割を超えています。「夫が家庭のことに協力しない」、「保育施設が不十分」、「家庭で介護」の項目について今回割合が増えています。また、「性別による差別的取扱いがある」、「結婚・出産時の退職の慣行」の項目では、割合が少し下がっています。

5 女性の人権について

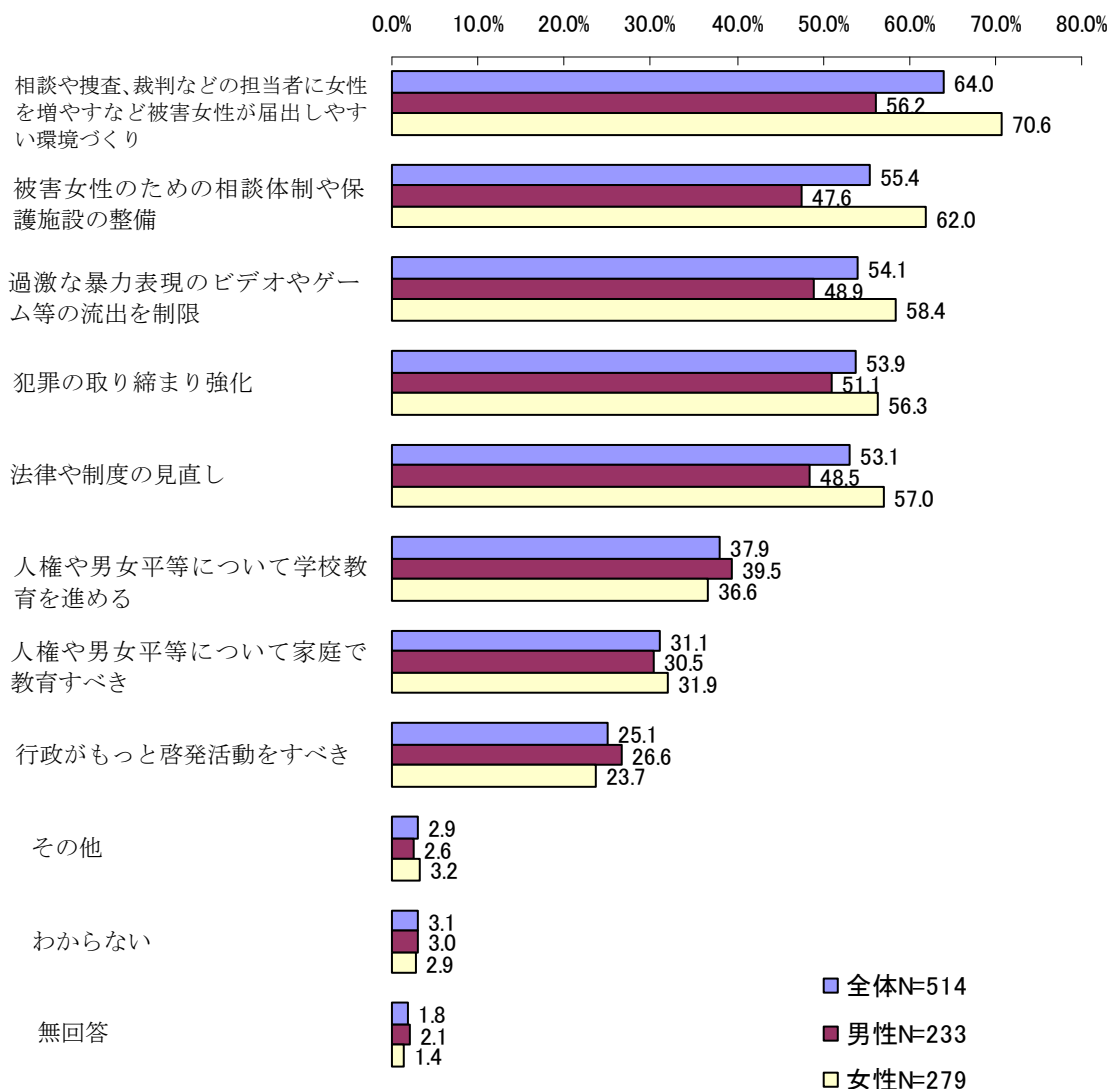
問12 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。 【複数回答】



女性の人権が尊重されていないと感じることについて、全体では、「セクシュアル・ハラスメント」は54.1%、「ドメスティック・バイオレンス」は53.1%、「痴漢行為」は44.9%、「売春・買春」は35.4%、「ストーカー行為」は34.0%の順になっています。

性別では、特に「セクシュアル・ハラスメント」と「ドメスティック・バイオレンス」で女性の割合が高くなっています。

問13 性犯罪、買売春、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力の関心が高まっていますが、これらをなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。 【複数回答】

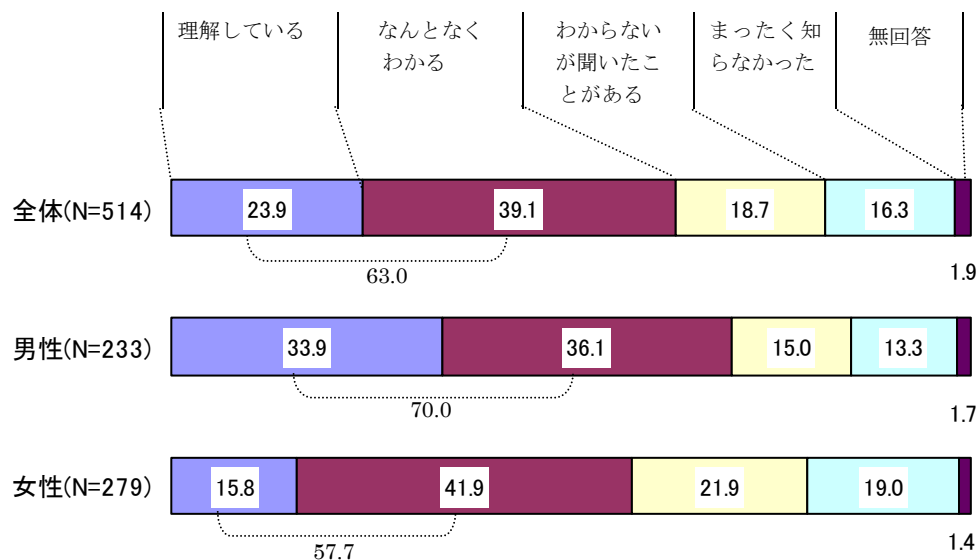


女性に対する暴力をなくすためにはどのようにしたらよいかについて、全体では、「相談など担当者に女性を増やすなど被害女性が届出しやすい環境づくり」は64.0%、「被害女性のための相談・保護施設の整備」は55.4%、「過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出制限」は54.1%、「犯罪の取り締まり強化」は53.9%、「法律や制度の見直し」は53.1%、「人権や男女平等についての学校教育の推進」は37.9%、「人権や男女平等について家庭で教育すべき」は31.1%の順になっています。

性別でみると、「相談など担当者に女性を増やすなど被害女性が届出しやすい環境づくり」70.6%、「被害女性のための相談体制・保護施設の整備」62.0%、「過激な暴力表現のビデオやゲーム等の流出制限」58.4%と女性で高くなっています。

6 男女平等参画について

問14 「男女平等参画」または「男女共同参画」という言葉について知っていましたか。 【回答はひとつ】



【単位 %】

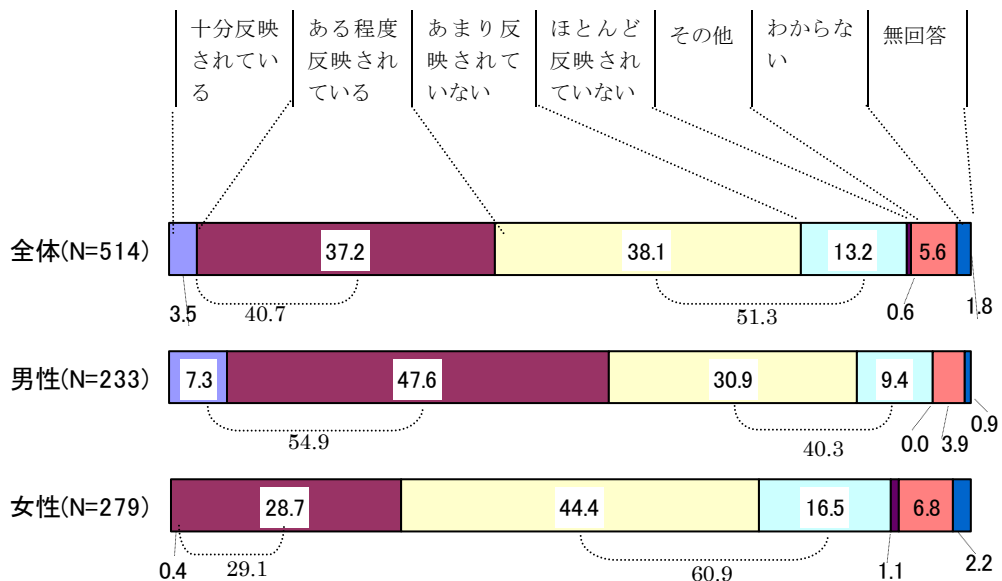
「男女平等参画」「男女共同参画」の認知度について、全体では「理解している」は23.9%、「なんとなくわかる」は39.1%をあわせると63.0%になります。

「わからないが聞いたことがある」は18.7%、「まったく知らなかった」は16.3%になっています。

性別では、男性が「理解している」は33.9%、「なんとなくわかる」は36.1%をあわせると70.0%になり、女性は「理解している」は15.8%、「なんとなくわかる」は41.9%をあわせると57.7%で、男性の認知度が高くなっています。

問15 女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。

【回答はひとつ】

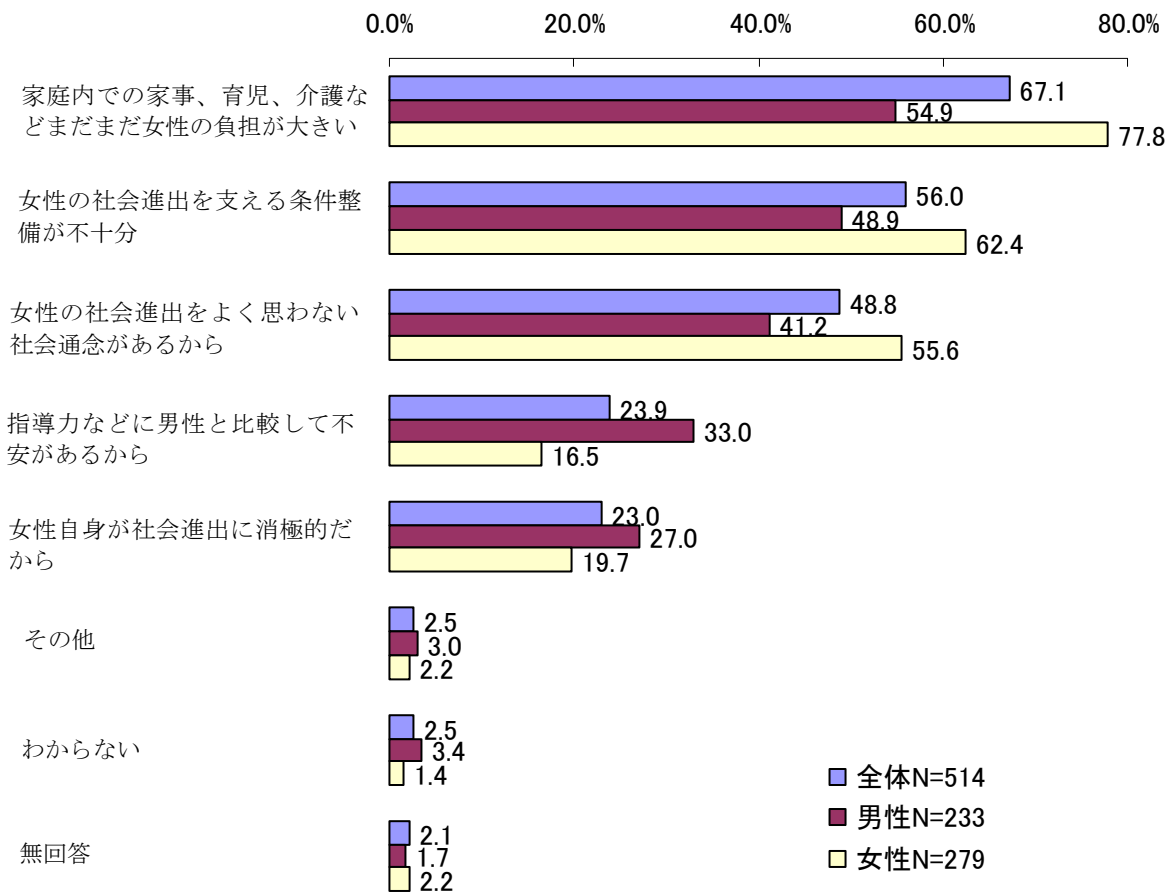


【単位 %】

女性の意見が政治や行政にどの程度反映されているかについて、全体で、「十分反映されている」は 3.5%、「ある程度反映されている」は 37.2%、あわせて「反映されている」とする人は 40.7%、「あまり反映されていない」は 38.1%、「ほとんど反映されていない」は 13.2%、あわせて「反映されていない」とする人は 51.3%となっています。

性別では、男性の「十分反映されている」は 7.3%、「ある程度反映されている」は 47.6%、あわせて「反映されている」とする男性は 54.9%、「あまり反映されていない」は 30.9%、「ほとんど反映されていない」は 9.4%、あわせて「反映されていない」とする男性は 40.3%であり、女性の「十分反映されている」は 0.4%、「ある程度反映されている」は 28.7%、あわせて「反映されている」とする女性は 29.1%、「あまり反映されていない」は 44.4%、「ほとんど反映されていない」は 16.5%、あわせて「反映されていない」とする女性は 60.9%であり男性との大きな差がみられます。

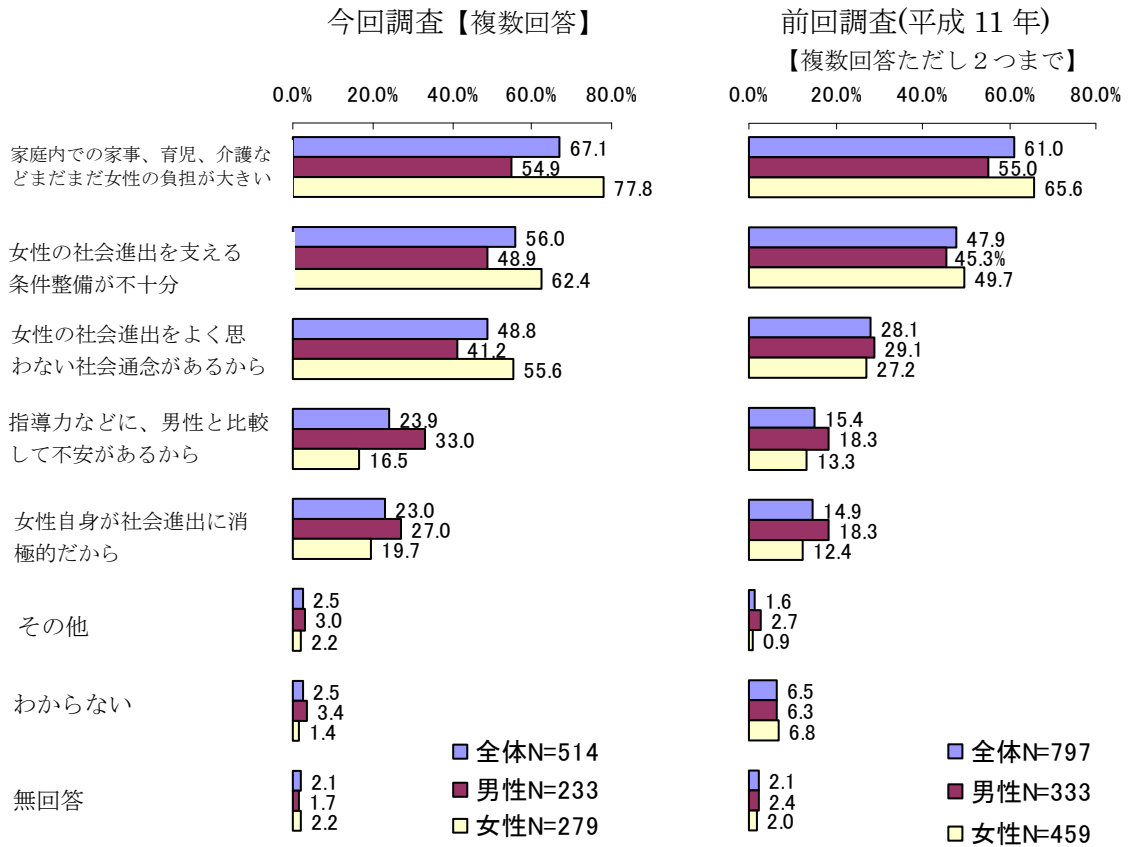
問16 政治や職場の管理職など社会の主導的立場に就く女性は、まだ少ない状況ですが、それはどのような理由からだと思えますか。 【複数回答】



社会の主導的立場に就く女性がまだ少ないことの理由について、全体では、「家事・育児・介護など女性の負担が大きい」が67.1%、「女性の社会進出の条件整備が不十分」が56.0%、「女性の社会進出をよく思わない社会通念がある」が48.8%の順になっています。

性別では、男性の「家事・育児・介護など女性の負担が大きい」が54.9%、「女性の社会進出の条件整備が不十分」が48.9%、「女性の社会進出をよく思わない社会通念がある」が41.2%となっており、女性の「家事・育児・介護など女性の負担が大きい」が77.8%、「女性の社会進出の条件整備が不十分」が62.4%、「女性の社会進出をよく思わない社会通念がある」が55.6%と、男性に比べて女性の割合が非常に高くなっています。

■ 前回調査(平成 11 年)との比較



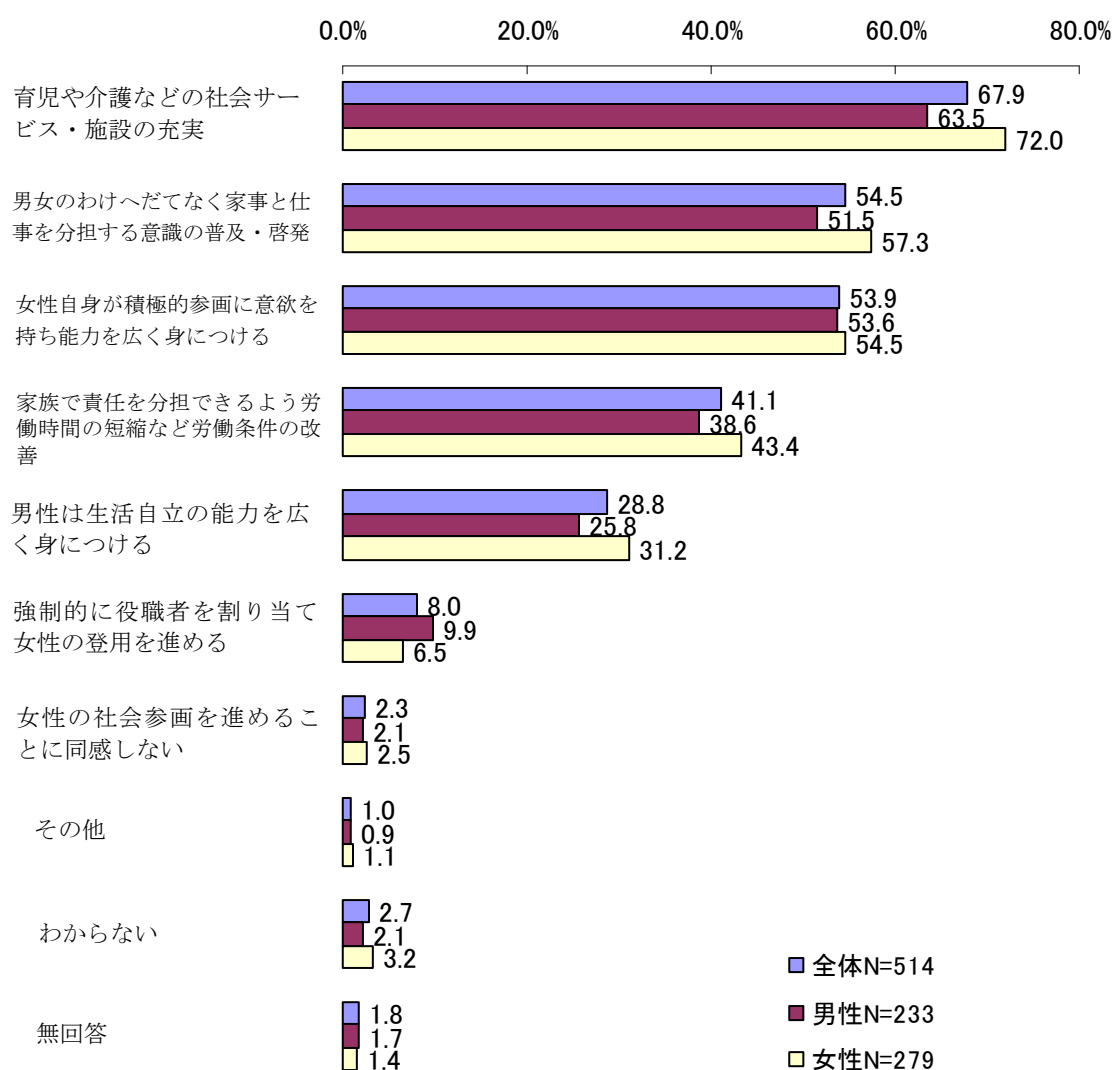
前回調査(平成 11 年)は、2 つまで回答可としています。

前回調査では、全体として「家庭内での女性の負担大」が 61.0%と割合が高く、今回も同様に 61.7%の割合になっています。次に、「女性の社会進出の条件整備の不十分」が前回 5 割近くの 47.9%、今回は 5 割を超え 58.8%となっています。

性別では、今回調査において「家庭内での女性の負担大」の男女の割合に差が大きく現れています。また、「女性の社会進出の条件整備の不十分」、「女性の社会進出をよく思わない社会通念がある」も女性の割合が高くなっています。しかし、今回「指導力などに、男性と比較して不安がある」では、男性の割合が高くなっています。

問17 女性の社会参画を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

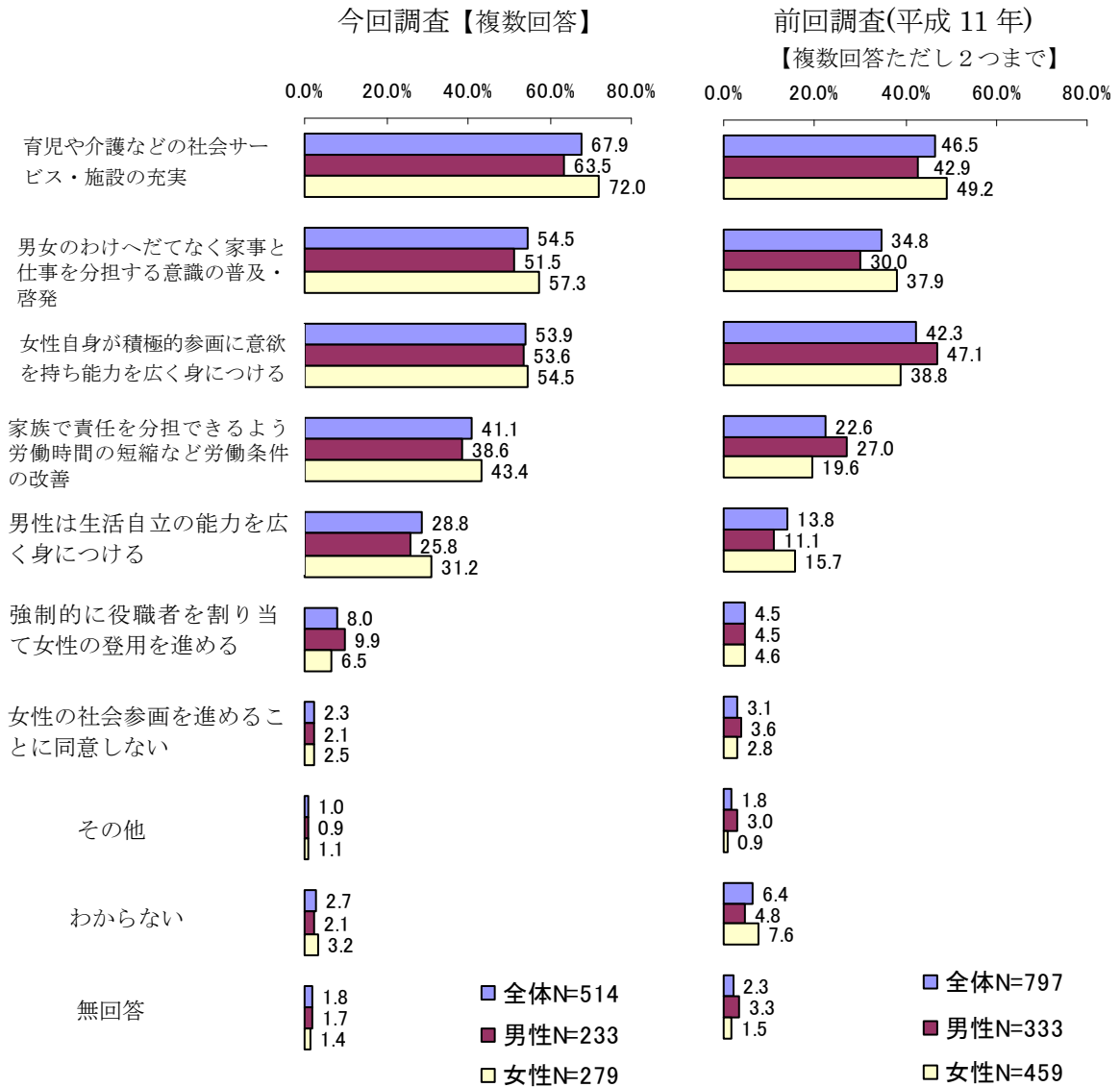
【複数回答】



女性の社会参画を進めるために必要なことについて、全体では、「育児・介護などの社会サービス・施設の充実」は67.9%、「男女のわけへだてなく家事と仕事を分担するような意識の普及・啓発」は54.5%、「女性自身が積極的参画に意欲を持ち能力を身につける」は53.9%、「労働時間の短縮など労働条件の改善」は41.1%の順になっています。

性別でも同様の順で、特に女性の「育児・介護などの社会サービス・施設の充実」が72.0%と高くなっています。

■ 前回調査(平成 11 年)との比較



前回調査(平成 11 年)は、2つまで回答可としています。

前回調査では、「育児・介護など社会サービス・施設の充実」、「女性自身が積極的参画に意欲を持ち、能力を身につける」、「男女のわけへだてない家事と仕事の分担意識の普及啓発」の順になっていますが、今回調査では、「男女のわけへだてない家事と仕事の分担意識の普及啓発」が2番目に高くなっており、「労働条件の改善」、「男性の生活自立能力」の項目も割合が高くなっています。

III 意見・要望

1 設問別意見

男女平等について

問1 (5) 法律や制度の上で

- 法律や制度の上で「どちらかといえば女性が優遇されている」と思う理由は、母子家庭への援助はあっても父子家庭にはないこと。 (女性 30代)
- 非常に難しい問題です。憲法上、「法の下での平等」や「家庭生活における個人の尊厳と両性の平等」がうたわれていても、各法で、例えば民法において、婚姻や離婚後の子どもの出生届、再婚までの期間等で、女性に利益になるとは思えない「差」は存在する。また、各法で、法律上平等、対等とされることも制度上保障されているとは限らず「法律や制度の上で」の整合性がみられない。 (女性 50代)

役割分担について

問3 共働きの家庭での家事・育児・介護について

- 家庭で話し合っ決めて決める事。 (男性 40代)
- 外に出て働く事ときちんとした家事は両立しないように思う。 (女性 70歳以上)
- 家事は女性がやった方が良いと思います！ (女性 20代)
- 公的制度の利用・外部サービスの利用・地域社会での支援・職場の労働条件の改善等の社会的な条件整備を大前提としたうえで、夫婦は家庭の構成員として意思決定や家庭の運営について対等の責任を持つものであるから、協力して分担することを基本とし、実際にどのように分担するのかについては、それぞれの職種や世帯構成（子供や親など家族全体での協力も必要です。家庭を構成する男女が相互に協力）等によって違って来でしょう。個々の成員の人権・人格を尊重し、民主的な分担・協力体制が必要。 (女性 50代)
- 特性を生かして分担する。 (女性 50代)

問4 男性が家事、子育て・教育、介護、地域活動に参加することについて

- 家庭の崩壊、死傷事件、離婚、道徳の欠除等が改善される。 (男性 70歳以上)
- 仕事（会社の）が減ることはあまり考えられないので、家事との両立は大変だと思う（が、共働きの女性はやっている）。 (女性 40代)
- 主婦に対する夫や社会の位置付けが変わる。 (女性 40代)
- 少しは少子化の歯止めになりうる。 (女性 50代)
- 相手を思いやる気持ちが生まれ、社会も家庭も円滑になると思う。 (女性 20代)
- 性別による役割を理解した上で、男女それぞれ出来る仕事をする社会（男性は絶対に子供を産むことが出来ない）。 (男性 60代)
- 休むことにより他の人への仕事の量が増えてしまう。 (男性 50代)
- 子育てを平等に分担することは不可能。子供が被害を受ける。動物や鳥なども、それぞれに生活活動の分担している。 (女性 60代)
- 性別による優劣のみで自己の力を示せない男性の意識改革が必要。 (男性 20代)
- 社会全体の通念に変化が無ければ、形骸化されたものとなる。 (男性 50代)

- 責任や義務を伴う家庭の活動と自由意志によるボランティア活動を「参加」の概念でひとくくりするのは無理がある気がします。
- 国の政策として「働き方の見直し」が掲げられているが進展があまり見られていないのが現状です。つまり、働き方の見直しが行われないと男性の家庭生活や地域活動への積極的取組は困難です。
- 男性の育児取得が増加すると女性の一方的な不利益は少し解消されるかもしれない。
- また、主夫の社会的承認も進むかもしれない。
- 現状では限られた（恵まれた）職域の人でないとこうした活動に取組む時間も経済的余裕もないという問題を認識したうえで質問してください。 (女性 50代)

出産・育児について

問5 出生率の低下について

- 職場で育児を支援する制度が不足しているから。 (女性 20代)
- 男女平等になったから。 (男性 50代)
- 経済的問題 (女性20代) (男性20代) (男性30代) (女性60代)
- 子供は国の宝という認識に国が思っていない。女性を機械にたとえる大臣が居るのだから。 (男性 50代)
- 物質・文化の量が拡大して、選択が困難となり混乱している。 (男性 70歳以上)
- 子供に病気はつきもの。多少の風邪による発熱にも対処してくれるような、看護師もいる保育施設もあまりないし、あっても高い。子供二人いると片方の働いた給料がそのまま保育料に消えていく。 (女性 40代)
- 男性の女性化、責任を持ちたくない男性が増えているのでは。 (女性 50代)
- 今思い返すと子供にすごくお金がかかり、親として当たり前と思っていたけれど、大変でした。 (女性 50代)
- 結婚は一つの夢ですから結婚はしても出産・育児までは真剣に考えず、また考えたとしても育児となるとわからない・出来ないという若者が多いのでないか。人間の価値観がその様に変化してきていないか。問6の7に係るが育児や子育てをサポートする何らかの専門が必要でないか（出産後一年間位）。 (男性 70歳以上)
- 不妊の問題も大きい。 (女性 30代)
- 生涯独身の女性が増えてきた。 (女性 30代)
- 地域の手助けが無くなった。 (女性 30代)
- 子供を産んでも市や行政は、しっかりした制度を整えてくれない。 (女性 20代)
- 出産→育児→社会構成員の安定とつなげて考えられていないから。 (女性 40代)
- 今の時代、いじめ・殺人等多く、孫等でもこれからが大変だと思う。(子供の事件等色々あるので、年齢が低くなっている) (女性 60代)
- 国が先の見えない政策をしている。将来像がわからない。 (男性 50代)
- 子供を多く産み、育てている母親を優遇していないから。 (男性 40代)
- 産科・小児科の減少により、産む環境・育てる環境が悪くなってきている。(女性 50代)

- 保育制度が充実していない。保育園に通っている子供しか一時預かりを出来ないなんて、絶対おかしいです。苦小牧はもっと考えるべきですよ！これだけ働いている女性が多い中で、時代遅れです。 (女性 30代)
- 男女共に子供を作る体が失われつつあるのでは？「公害や食糧に使われている薬物類が原因では」と思います。育てるだけの生活費が困難なのは？ (女性 50代)
- 安心して子育て出来る社会状況にない。 (男性 70歳以上)
- 子供の安全性がない世の中だから。 (女性 30代)
- 育て方がわからない人が多い為。 (女性 20代)
- 子供に接する機会が少ない為、子供を持つ事の実感がわからない。又、ちゃんと育てられるのか自信が持てないのでは。 (女性 30代)
- 発育不全の人が増えている。地球環境悪化。 (女性 50代)
- 児童手当が安すぎる。 (男性 30代)
- 自分や子供に贅沢しようと思うから。 (女性 60代)
- 今の時代子供の教育は大変、社会が親の力を奪っている。子供が親の言う事を聞かない。育てる自信がない。 (女性 60代)
- 養育に対して、収入が上がらないから少子化が進むのでは？苦小牧もいい例ではないですか。 (男性 20代)
- 一人当たりの養育費が高いから。 (男性 50代)
- 雇用の不安定（男女とも）・子育てへの手当て等の給付の不足（期間や額）・生活環境（地域コミュニティ）の弱化。産婦人科・小児科医の減少など（地方病院からの医師の引き上げ等により出産のため、都市部の病院に入院しなければならない事の負担や不安） (女性 50代)
- 子供を産むことで得られること、産むことで失うことの認識が良く理解できていない。都合主義におちいつている。 (女性 50代)
- 自分自身が欲しくてもできないため意見できません。 (女性 30代)
- 出産・育児休暇が取得しづらい。 (女性 20代)
- 子どもを育てる自信がない。メンタル面のサポートが少なく子育ての不安が強い。 (女性 20代)

問6 子どもを産みやすい育てやすい環境づくりについて

- 産休・育児休業の充実（業種、各国等で大幅に異なるので）良いところを積極的に採用する施策が急務となる。 (男性 70歳以上)
- DQN企業ばかりの世の中を変えないと無理。給料高くなる年齢になるとリストラ。40代の再就職は無理に等しい。 (男性 30代)
- ゆとり教育の様な思いつき政策ではなく、諸外国の良い例を実行しては・・・特にフランス。子供が20歳になるまで安心して育てられる環境にしなければ、子供を増やせただけでは無理でしょう。 (男性 50代)

- 不妊治療に対するさらなる何らかの援助・手当。保険が効くようにするとか。切りがない事もあるので「何回目までは」という条件付でも。産みたくても資金面で産めない人は多いと思うので。産休・育休を堂々ととれる環境づくり。作らないとダメという法律を作るとか。現行では強制力がないので、一般企業だとまだまだ育休を取りにくい状況だと思う。
(女性 30代)
- 育児中の勤務時間等の制度、子育て中の親子が利用できる市の施設の充実など
(女性 30代)
- 地域活動の充実と、基本的根本的な教育の見直し。
(男性 60代)
- 保育料を減らして欲しい。
(男性 60代)(女性 60代)(女性 30代)
- 子供が大学を卒業するまでの資金の保障。子供がいても正社員で働ける職場。
(女性 30代)
- 企業内保育施設の整備。
(男性 30代)
- 教育環境の整備と教育費の低額安定。
(女性 40代)
- ボランティア活動や生涯学習、冠婚葬祭など場合によっては仕事の時に子供を連れて行っても大丈夫な社会(昔は畑仕事にでも子供を背負って行っていたのだから、そういうのも必要で良いのではないか)
(女性 20代)
- 今で十分。結婚したい・子供を作りたいと思わせる社会づくりしかない。
(男性 50代)
- 教育費・高校まで全額タダ。4人以上子供を産み育てた母親は老後、生活費全額タダ。
(男性 50代)
- 将来に不安のない社会。
(男性 50代)
- 誘拐されない世の中にする。
(男性 20代)
- 物価高の割に、給料の低下・生活が大変。
(女性 50代)
- 昔のようにのびのびと遊べる様な公園、自然がもっとあってもいいと思う。何も工事してない雑草だらけの空き地とか。
(女性 20代)
- 子供の育児・教育は親の責任。責任を持つことによって親子の絆が生まれる。国が全ての責任を負うのは間違いと思う。
(男性 60代)
- 自然環境改善。
(女性 50代)
- 社会の意識・若者中心(経済中心)が変わらなければ、子育ては難しい。
(女性 60代)
- 国から会社に対してあの家庭に子供が生まれたので育児休暇を取らせろと言ってもらう。そして給与・休暇日数も国で決める。会社は利益にならないことはやらないと思う。
(男性 20代)
- 教育費の見直し。
(女性 60代)
- 雇用政策(労働条件の改善・安定雇用・正職員とパート労働の格差の是正など)・平和維持政策。保健医療政策(身近なところで出産出来ることなど周産期の医療体制の確保・夜間救急体制の確保など。出産・子育てに関する費用の可能な限りの無料化(出産・教育費・給食費・保育料等)安心して産み育てられる地域コミュニティづくり(ソフトもハードも含む)
(女性 50代)

- 国の施策が整うことによって、企業・行政・自治体が改善される。 (女性 50代)

男女の就業について

問8 「職業を持っている」と答えた人の働く理由

- 自分は男性であり社会人として普通に就職した。 (男性 30代)
- 自分らしい生活をするため・・・社会性を持った仕事や活動をしていく事が私のライフスタイルとなっています。 (女性 50代)
- 育児ストレスの軽減 (女性 30代)
- 家族のため (男性 20代)
- 人を使うと人件費が大変なので。 (女性 50代)

問9 女性は男性に比べ不当に差別されていることについて

- 数的、位置よりも態度・対応がパワハラと思われる。 (女性 60代)
- 新しく採用する女性は正社員ではなく契約社員であったり、パートであったり、派遣であったり。 (男性 50代)
- 補助的な仕事を女性にさせる傾向がある。以前の職場では窓口（発行）業務は女性ばかり配置していた。選挙会場でのお茶くみ（庶務）を大抵若い女性職員に割り当てるのは差別そのものでは？選挙事務に限らず、日常の職場でもお茶くみ等は女性に願っているのも否めない。 (男性 30代)
- 男は外・女は内というケース、これは無駄。 (男性 20代)
- 肉体的にも男女平等にはならない。 (男性 60代)

問10 女性の仕事と家庭の関わりについて

- 女性の意志であり、～すべきという質問が変であると考えます。 (男性 20代)
- 仕事も出産も個人・夫婦・家族の問題であり「・・・べき」という答えはないと思う。 (女性 50代)
- 本人の意志による。 多数
- 共稼ぎでないと余暇が楽しめない。収入に余裕がない。 (男性 40代)
- これからは女性も仕事をもち、続けられる様な社会と、家族の協力が必要です。 (女性 50代)
- 結婚や出産後仕事出来る環境であれば、家庭の協力で仕事をすると良いでしょう。(仕事場の協力も) (女性 50代)
- 出産後子供との関わりを大切にし、就学後から仕事について考えても遅くはないと思う。 (女性 20代)
- 家庭を持つかどうか・子供を持つかどうか・仕事を続けるかどうかなどについて、個々人が、あるいはカップルが自分（たち）の意思に基づく選択をした場合、そのことによって個人の尊厳が損なわれる事のない、多様性を認め合える社会が望ましい。 (女性 50代)
- 出産で休業、3歳児まで育児休業、その後再び仕事。 (男性 70歳以上)

- 本人が決めること。優秀な女性は社会も専業主婦になれと言わないはず。(男性 40代)
- 子どもが自立してから仕事をしては。(男性 50代)
- 出産後・育児休業保障や育児に対する職場環境が整っているのなら、仕事に就くべきだと思う。(女性 40代)
- 女性が働きたいと思った時に、サポート出来る制度がどれだけ整っているかが問題。(女性 50代)

問11 女性が仕事を続けるうえでの障害について

- 女性自身の意識の高さの有無。(男性 40代)
- 夫が育児は協力してくれるが、家事をやってくれない。(女性 20代)
- 母子家庭の場合、就職すら難しい事が多々ある。母子家庭じゃなくても同様に、小さい子供がいる場合、パート・アルバイト等でもすぐ仕事を休むと思われがちで就職が難しい。(女性 30代)
- 家族間で規則正しい生活をどう取り組むか話し合い決める事の不足（家族間のミーティング不足）(男性 60代)
- 年齢の制限があり、再び仕事をするのが難しい点がある。(女性 40代)
- 子供との時間が少なく、保育園行事に参加出来なかったり、病気の時休みが取れない。(女性 30代)
- 夫や夫の会社が育児に対しての理解が不十分。(女性 30代)
- 子供が急病になった時、仕事を休んだり、早退したりしなきゃいけないので、他の人に迷惑がかかる為。仕事をしていても保育料が高い為。(女性 30代)
- 子育て中の職場の環境が整っていない。例えば、産休・育休、又は、子供の病気等、不慮の事態の際の休暇等。(女性 50代)
- 女性の考えている女性の考えを変える事だ。(男性 60代)
- 子供に何かあった時、休めたり・抜けたり出来る職場が無い。学校などに合わせた休日の職場が無い。(女性 30代)
- ベビーシッターをもっと増やし、利用しやすくした方が良い。(女性 30代)
- 個人に強く働く意志があれば障害など関係ないと考える。(男性 30代)
- 保育施設は多い位で閉鎖する施設もあり、利用者のニーズに答える施設は少ないと思う。(女性 60代)
- 仕事を中心にするならば結婚をしない方が良い。必ず何処かに無理が出る。でもどうしても働かなくてはならない場合は、お互いに我慢をして協力し合う。(女性 60代)
- 苫小牧は工業中心であり、職員の街。女性はスーパーのパート位しかない。働く場所も立場もない。(男性 20代)
- 残業が続く事で家事はおろそかになり、家族との関わりも少なくなる事が障害となる。(女性 20代)
- 税の優遇措置が少ない。保育料が高い。パート労働と正職員の待遇に格差がある。産休や育休の制度はあっても取りにくい雰囲気があるなど。(女性 50代)

- 役割分担意識や社会の機構が整っていない。 (女性 50代)
- 出産 (男性 40代) (男性 50代)
- 保育料が高く、払うだけでパートの収入がほとんどなくなりました。こんな状況で何のために働いているのかわからない。 (女性 30代)

女性の人権について

問12 女性の人権が尊重されていないことについて

- 表現の自由に無秩序な出版、テレビ等。 (男性 70歳以上)
- 国会議員による女性べっ視の発言 (女性 30代)
- 日本の男性の中に根強く残っている「男尊女卑」の意識 (女性 30代)
- 大抵の職場では、男性が優位である。 (女性 30代)
- 女性の人権という言葉聞いた時。 (男性 30代)
- “女は子供を生む機械”と言われた時。 (男性 60代) (女性 30代)
- ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為、痴漢行為は、女性・男性ではなく、人間としてどうかしている。 (女性 30代)
- 人権が尊重されていないと感じた事はない！ (男性 40代)
- 政治家・議員の人々の考えを聞いた時。 (女性 30代)
- 過激な暴力表現のビデオやゲームなど (男性 50代)
- 女は家庭の中の事をするのが当たり前、という時代遅れな日本人男性が多い。 (女性 30代)
- 女性自身が常識・礼儀を無視した服装や行動をしてしまっているのもう少し慎むべき面がある。 (女性 40代)
- 男性の意識 (女性 30代)
- 女性は出産が当たり前に来ると思っている考え。 (女性 30代)
- 近年は男性も同様な事を女性にされたりしている。そもそもこのような設問自体が女性の人権を軽視していると考え。 (男性 30代)
- ストーカーは絶対に止めて欲しいですね。 (女性 20代)
- 多くは本人の意志により防げるもので、本人の意志の働くかは分野に目を向けるべき。 (男性 50代)
- 設問で「女性の人権」と言っているにも関わらず、①から⑨まですべて性的な問題で占められていること。女性を性的な対象としてしか見ていない事の表れではないでしょうか。女性の人権が尊重されていないと感じるのは問1のところコメントした民法上、婚姻を巡る様々な不利益、また、年金についても離婚時分担できるようになったとはいえ、まだまだ従属的であり遺族年金も額が少なく、年金権のようなものが確立されていない等々。さらに「女性は産む機会」とか「子供を産まなかった女性に年金をやる必要はない」等、閣僚クラスの人たちの人権無視の発言。 (女性 50代)
- 問12の5・7のような女性特有の美的感覚は誇りとしている気がする。 (男性 70歳以上)

問13 女性に対する暴力をなくすためについて

- 暴力団の組織を根絶すること。 (男性 50代)
- 風俗なテレビ番組や特にコマーシャルの俗悪化 (女性 50代)
- テレビ等、過激な表現のゲーム本当に止めてもらいたい。 (女性 50代)
- 女性に限らず、人として全ての人が豊かに生きれる社会づくり (経済的にも精神的にも) (女性 60代)
- 某大学教授の事件など、結局のところHなビデオやネット・マンガ等で見て喜んでいたのが、だんだんと物足りなくなっていて、やってみたくなるのだと思う。そういう過激なものを見なければ、知識としてなければ(元からたてば)やろうと思う事も随分と減るのだと思う。世の中、悪い見本が多すぎる。悪いことする人は悪いとわかっててやっている人がほとんど。「これは悪いことだよ」と幼いうちから、悪いことの知識を詰め込みすぎるのも考えものだと思う。たとえそれが悪くても、実行の選択肢を増やすことになるのだと思う。(女性 30代)
- 女性自身のスキを見せない態度などの倫理が必要 (男性 60代)
- 男女がすべてにおいて平等であるとは思わないが、家庭での躾や教育が大切。 (女性 30代)
- 女性自身が、そういう人や場所に近づかなければ大丈夫だと思う。 (女性 30代)
- テレビ・ドラマ等でも制作の段階で検討し暴力画面を制限する。 (女性 50代)
- 男性の意識改革をいかにしていくか。 (女性 50代)
- 女性自身の考え方を変えた方が良い。逆に女性を売り物としている事がある。 (男性 40代)
- 親の愛情が足りない子が多いから(間違った愛情だったり)しっかり愛情をあげるようにしたらいい。 (女性 30代)
- テレビも悪い。 (男性 60代)
- 儲け中心のこの世の成り立ちでは、なくなる。儲けるためには何でもやる・・・これを無くす事が先。 (女性 60代)
- 苦小牧はDVが多いと聞くが、行政・取締機関の動きが全くと言っていいほどない。 (男性 20代)
- 女性自身も身の回りや服装等に気を付ける必要があるのでは? (男性 50代)
- 被害女性のための相談体制や保護施設のような施設があることを、市民が皆知り得るようにする。 (女性 20代)
- 売春防止法およびDV防止法による婦人相談所、婦人相談員は都道府県で義務設置となっています。相談体制についてはもう少し身近なレベルにおいても整備されるべきでしょう。 (女性 50代)
- 生物学的な性差に対する十分な理解と配慮、お互いへの尊敬・尊重の念を涵養出来るような社会であること。生命の尊さ・個人の尊厳・他者への愛というような事も、そういう所から実感されるようになるのではないのでしょうか。 (女性 50代)

男女平等参画について

問14 「男女平等参画」「男女共同参画」という言葉について

- 平等はわかるが参画という言葉は理解が難しい。(女性 60代)

問15 女性の意見が政治や行政にどの程度反映されているかについて

- 女性と言わず一般庶民の意見はほとんど反映されていないように感じます。でもその中でも、女性はさらに下に感じる事がままある。(女性 30代)
- 女性というより弱者の声が反映されていない。(女性 50代)(女性 60代)
- 議会の議員等、政策立案にあたる立場に女性が少ない。また、性別を問わず「市民」や「国民」の意見の反映も少ない。(女性 50代)

問16 主導的立場に就く女性がまだ少ないことについて

- 身体的に女性・男性は別の生物である事が基本であり、法的に1個の人間として平等ではあるが、性的に別物(正反対)であることから、生物として根本的な役割が違う事を理解した社会にしなければ難しく、現代までの史上の成り立ちから世界的にほぼ男性社会となっており、無理に男女平等参画を進めていく事に無理があると考えます。これから時間をかけ世の中全体教育の男女平等を進めていく必要がある。(男性 50代)
- 努力と適応能力は男・女比では女性が少ない。(男性 70歳以上)
- 男と女が全く同じ勤務状況をこなすことを条件にしているから。(身体の違い等を見ない)間違った認識があるからこれを男女平等と勘違いするから無理が起こる。(女性 30代)
- 人間関係・仕事・その他で、感情が入りやすい面が多少あると思われ、的確な判断力にかけられる面があると思う。(女性 40代)
- 出産・育児で職場を離れる期間が存在するから。(男性 20代)
- 女性の国会議員が少ないから。(男性 30代)
- 主導的立場に就く能力を持っている女性がまだ少ないと思う。(女性 20代)
- 男性に比べ評価が低い。(女性 20代)
- 固定観念が根付いているから。(男性 20代)
- 慣習的なものが関わっているのでは。(男性 20代)
- 現在、政治家をしている人々・管理職の人々が男性中心の考え方しか出来ないから。(女性 30代)
- 女性進出が最近だから。(男性 20代)
- 決断力・判断力がない。(男性 40代)
- 教養能力が不足。今後の基本教育で変わると考えます。今はまだ昔の女性は無学で育った世代多い。(男性 20代)
- 問16の5(指導力などに、男性と比較して不安があるから)のような事を考える人・思っている人がいる為、主導的立場に就く女性が少ない。(男性 20代)
- 「女性の社会進出」という用語が、性別による固定的な役割分担を反映しており、男女の社会における活動の選択に対して中立でない。アンフェアな文になっている。(女性 50代)

- 男性側の意識の問題（それが社会通念を形成しているとも言えるが）。
雇用の機会均等は一応言われていても、適正配置が行なわれていない。（女性 50代）

問17 女性の社会参画を進めることについて

- 「女性の登用を進める」は、「女性の積極的な登用を進める」が適切。
「能力を広く身につける」は女性の社会参画の能力がないような書き方で不適切である。（女性 50代）
- 現在のような（北海道の）社会状況・雇用状態では無理な状況と思う。（男性 60代）
- 民間と役所の違いは大きい。（男性 50代）
- 社会参画はわかりますが子供が可哀想。子供にとって母親は側に居なくてはならない。保育所預ければ良いというものでは、親がいない。子供を作ったなら子育てをまず最優先にしなくては、親の責任を捨てるようなもの。子供が可哀想。（女性 60代）
- 男女、同一労働・同一賃金の確立。（男性 70歳以上）

2 男女平等参画についての意見・要望

- 男女平等の考え方が大ざっぱ。能力に違いがあるのは当たり前でお互いの特性を生かす発想がまず大事。 気力・体力は女性の方が優れていると思うので、50代～男女は、どちらかと言うと男性の方が考えが狭い。応用が利かない。女性の知恵に学んで欲しい。
男女平等参画の主導者は誰か？ (女性 50代)
- 私は、現在、自営業で小売業を営んでいます。主に、女子の販売員が中心ですが、販売員として応募して来る人で、単身で子育てをしながら、仕事をしたいと申し出る方々が多数あります。でも大体が、小さな子供が保育園等に通う子供を持っており、一日の勤務時間や一番必要な土・日・祝祭日は、園等が休みのため勤務できないという方々が多いという事で、採用できない場合がほとんどです。市の方にも日・祭日や夜の時間に、保育できる所があるということですが、全く利用出来ないとの事です。もっとこの様な所が増えてくれると、若い母親達も職場を自由に選べると思うのです。男女平等などと論じる前に、もっと考える事があると思うのです。(男性 50代)
- 男性の見方が、今、問題になっている。厚労相の言葉のような女性の見方が根底にある社会を直したい。(女性 70歳以上)
- 日本は男性優先の社会で女性の管理職を好まない風潮があります。女性でも男性より優秀な方が沢山居ると思います。もっと積極的に進出・昇進できる様な企業風土を育てる事が大切だと思います。
男女平等というからには、子供の時から男の子にも掃除・洗濯・料理等やらせ自ら育てる事が大切だと思います。(女性 70歳以上)
- 「男は仕事、女は家庭」というのは、家計の為に働く主婦からしたら、経済的に夫だけが働けば成り立つ家庭にしか当てはまらないと思う。本当は子供と家で過ごしたいと思っても、働かなければ生活が成り立たない。夫は仕事を真面目に頑張ってくれてはいるが、家事の協力はほとんどない。育児も家事もしている主婦だって、これから先、ますます増えると思う。けれど、今の世の中希望なんて持てない状況で、少子化は食い止められないと思う。自分の子供が大きくなった後の世の中を想像しても、今より状況は悪くなっている気がする。頑張ってもムダなんじゃないかと思う事もよくある。ただ、子供の為に頑張るけれど。(女性 20代)
- 19年度の「苫小牧市男女・・・条例」が施行されると、何がどの様に変化するのかの青写真を市民に見える様に提示出来れば関心が高まると思うので、広報誌等で繰り返し情報を出す事を希望します。男性主体の職場・女性中心の職場等により環境が異なるので、各々の職場の労務又は人事管理のセクションの人を中心に実態把握を行なって見る必要があると思

ます。職場内で何が問題になっているのが、十分に理解されていない面があり、人間関係のマイナス要因になっている場合もあるのではないのでしょうか？自我を抑制する事も大切な行動と思います。(男性 60代)

- 夫婦二人の生活であればお互い協力する事が大切だと思います。お互い80歳を過ぎた者達ですから、我がままを出さず自然にまかせていきたいと考えています。80歳を過ぎて変わった事、例えば、ちゃんと歩いていたものが歩けなくなったりして、杖をついて歩く姿に情けなくなったりしています。若い人々の中につとめて入って話し合う事が大切だと思います。

(女性 70歳以上)

- ある程度の男女平等は反対ではないけれど体力も違うし、身体の作りも違う、考え方も違う、難しいと思います。なんでもかんでも男女平等は、私は反対です。(女性 50代)

- 男女平等に極端にこだわらず、参画したい方は男性社会の理解と共在、協力を頭に入れて、日本人の女性の持っている、優しさ等を忘れず、その社会で働いてはいかがでしょうか？男性にも優しく、理解のしてくれる方は大勢います。背伸びをせず、皆と仲良く楽しく職務を遂行する気持ちも大事ではありませんか？又、家族を妻を守りたいと思う気持ちは皆、主人は、持っていますが言葉に出せずに困っている方も居ると思います。協力をして参画しても良いと思う反面、大切な人を外敵から守る術を持っていない現実も理解していただきたい。したがって、自分の城を持たない女性は、中々参画しづらい世の中になっていると思います。

(男性 50代)

- 男女の役割は、それぞれ違っていきべき、男女全てがイコールだとは思っていないので、自身はどちらかと言うと古い考え方もかもしれませんが、それでも、今、話題になっている「産む機械」発言のように、そのように考えている男の人がまだ多いのかなと驚いてしまいました。実際、産むことのできるのは、女性しかいないのですから、男女は違って当然です。でも「機械」と表現するように、女性を下に見るのはいただけない。先日も役所関係の方(市ではないのであしからず)から電話をいただいた際も、随分ぞんざいな話し方で、“自分が女だからなのかな・・・？”と感じてしまいました。(相手が男性であっても、この人はこんなしゃべり方{上からものを見るような}するのか？と思った)まだ、そんな風潮があるのですね・・・出産・育児に関してですが、もっと「こんな状況では産みたいけど、産みたくない・産めない」という人が、産めるような社会作りが大切だと思います。晩婚化の影には、就職難・就職しても安月給などの格差社会が原因の一つとしてあると思う。それによって結婚しても、共働きしたくなくてもせざるを得ない人も増えるし、働いたら又、出産のために休んだらクビになるから産めない。そして晩婚化になればなるほど、「体質的に子供が産みにくくなる。高齢出産というリスクもあるし、人生設計なども考えると、どうしても多くは産めない。(資金面・体力面で)一以上のマイナス面が少子化に拍車をかけていると思います。将来に希望が持てるような(資金面で)仕組みが必要。(今の若者は、年金はもらえないと思

っているので、自分の老後が不安でお金がかかる子供は一人で十分と考えがち) 一方で、不妊治療してまでも「産みたい!」と思っている人は多い。(高齢化のせいもある) そういう人々に対する金銭面での援助があれば、資金面であきらめている人に活路が開かれると思う。苫小牧市の保育制度や、一時あずかり所などは産んだ人へのフォローは比較的充実している方だと思います。産科も多いし。産みたいけど産めない人に対する対策に、もっと力を入れて欲しいです。先にあげたもの以外に、産休・育休しても会社が困らないようにすれば(行政からの援助+定年退職者の臨時雇用など)クビを恐れる事なく、産休・育休どんどんできるとか。(女性 30代)

- 一国の大臣が、女性を「産む機械」と発言するなど、国政をあずかる大臣の女性への認識が、あの様な低レベルで、本当に女性の地位が上がるのでしょうか? 多分それに似か寄った意識の指導者(国政・企業家 e t c)は、多いのではないのでしょうか。言う事だけは美しい。(唄い文句だけ・・・)(女性 60代)
- 男女平等をはき違えている傾向にあると思います。男性は男の役割・女性は女の役割をきちんとわきまえて、その上でお互いが理解し合ってベストの条件を作る事が、望ましいと思います。(女性 60代)
- 私の職場にも、数名の女性が同じ立場で仕事を進めています。以前は女性は正社員には登録されず、準社員まででしたが、ここ数年正社員への登録が進んで参りました。このように、女性に関しての見方が昨今、変化していると考えますがやはり他の企業では、まだまだ女性に対する見方が不十分ではないか?と思われまます。これは、やはり「企業体質」であろうかと思ひます。女性自身の考え方も十人十色で「企業での活躍」を希望する方もいる中、いかに差別なく「自然体での場の提供」も企業の今後の課題ではないでしょうか?このような「企業体質の改善」なる市政での「企業管理者セミナー」などの具体的改善策法を実施するなど、もっと取り組みに真剣になってはと思ひます。ボランティア活動について・・・現在、日本において数々のボランティア活動が盛んになっています。苫小牧においても、あらゆるNPOなどが、活躍しており、大変に望ましい事と存じます。私も、NPOの正会員として、子供と登録を行なっており、月に数回の活動を行なっております。ただ、残念な事は我が苫小牧ではなく登別での活動です。登別はNPOの活動の場の提供が上手で、一般の主婦や女子学生の参加も男性と共に大いに歓迎する事ができます。私の家内も、年に数回の参加にも、小学生の子供を連れて行動を行なっています。具体的にはサポートを(子供達)していただける方々が存在し、安心して活動が出来るからです。このような女性も一緒に(主婦)ボランティアに参加できる場の提供も差別化を無くす手段かもしれません。(男性 30代)
- 問1については「優遇」というよりは、どちらが「優位」にあるのかと考えました。男女平等参画社会の実現にはまだ相当に無理があるのではないか。市民の意識改革は勿論、社会の組織改革、制度改革等の条件整備が必要ではないか。男女が参画した場合、子供が犠牲にな

ってはいけないし、又家庭が崩壊してもいけない。解決課題は山積みしているのでは。条例施行にあたって市はどんな具体策を策定するのでしょうか。 (男性 70歳以上)

- 男性が女性がこうあるべき・・・という考え方はしない方が良いと思います。その人それぞれの考え、環境などがありまた、男だから女だからの前に一人の人間として、どうあるべきかと思います。その上で、男らしさ女らしさその人らしさで活躍してゆくのではないのでしょうか。ただ今の日本は少子化＝女性の社会進出など、見方の視野が狭すぎるように思います。人として暮らしやすさを追求すると、何が不足しているか、欠けているのかが見えて来ると思います。 (女性 30代)

- 男女は確かに平等ですが、男は男の女は女の役割はあると思います。今の社会、子供達を見た時すぐ、学校・政治が悪いと云いますが、やはり大切なのは親として子供に色々しつけや規則をしっかり教える事です。あたかも、社会に進出する女性が素晴らしいと云う風潮がありますが、子育てが終わってからもまだまだ世の中に女性がすべき事はあるように思います。男性が家事をする事も大切ですが、これは、その人・その人の優しさであり、その男性の資質の問題です。 (女性 50代)

- 1. 啓発活動の継続が必要。
2. 地域社会に貢献する基本的な教育の見直し。
3. 女性自身の謙虚な精神と教養の育成で男女平等の意識を増す事。 (男性 60代)

- 男女平等といっても、やはり向き不向きはあると思います。(職種や役職など) 家事についても、すべてを男性が代わりに出来るかと言えば疑問です。しかし男性・女性という性別でなく個人的に男性の中にも外で働くより、家事の得意な人もいますよね。そういう垣根が少しずつ無くなっていくと良いのでは。仕事で言えば、身近な所では「保父さん」あ！男性の「保育士」なんて私が子供の頃はいませんでした。「トラックの運転士」さんに女性がいるのも驚きますが、今ではありますね。日本人の中に昔から「男は働いて女は家で」という観念が根強く残っているのも事実。田舎の方や地方では未だにそうではありませんか。私は今、二人の子育て中ですが、まだ外で働きたいとは思いません。子育てってやはり大変だし子供が小さいうちはなるべく、色んな場面で一緒にいてあげたいと思うからです。しかし、私の場合は主人の収入が恵まれているからだと思うし、もし主人の収入が少なければ後ろ髪ひかれる思いで子供を預け働いているでしょう。そういう意味でもこの問題はすぐ答えの出る問題ではありませんね。日本人の意識改革も長い時間かかるでしょう。今の子供達が大人になるころには・・・どうでしょうね。 (女性 30代)

- まず日本の男性は、結婚の目的として“家事をしなくていい”という考えを持っている人が多い。自分が楽になる分、相手女性の荷は重くなる。この点では欧米を見習い“後片付けをする” “食事作っている間、子供の面倒を見る” “平日無理なら土・日に家事に参加す

る”等の意識・考え方を変えていく必要があると思う。実際私は、こういう日常生活の積み重ねから始まり離婚しました。私は、一時期育児休業を約一年間とって家にいましたが、子供との24時間生活は非常にストレスです。「疲れた」と言い夫は話はろくに聞いてくれず。徐々に「社会・職場に戻りたい」という気持ちは強くなります。そして、職場復帰して思ったことは・・・

1. 24時間子供と関わっているとストレスから“虐待”というのも、気持ちはわかる。
2. 忙しくても仕事で子供と離れていて夜、子供と会うと本当に可愛くて、愛しい。虐待なんて考えられない。
3. しかし、離婚後は自分ひとりで2人の子供の保育は不可能となり、転職せざるを得なかった。

※小さな子供（～小学校迄）を子育て中の人達にもっと優しい社会であって欲しい。この時の夫の単身赴任も止めて欲しい。実際、父がいるにも関わらず不在（単身赴任、忙しくて会っていない）の家庭の親子関係は、どこもほとんど歪んでいますし、子供の精神的成長にも影響が出ています。（私は今の職場が、教育機関なので、上記の事を実感している）

（女性 40代）

- 強制的に女性を社会参画させるべきではないが、自ら社会参画を望んでいる女性が、不平等な扱いを受けないような体制である必要があると思う。（女性 20代）

- 男女平等参画を進めるにあたり、実施したら良いと思われる事。あまり経費を多くかけなくても実効があると思われる事は、実例に学ぶ事だと思います。

1. 苫小牧市内・他の市町村・次いで外国等の良い実例を調査・公表して、市民が意識を高めること。
2. 良い実例の実施希望順位を広くアンケート調査し公表する。
3. 小さな事でも、出来るものから実施して経過報告を公表し、市民にその追加修正のアンケートをして公表する。

※これらの継続・繰り返しが大切で、少しずつ改善されて行くと思います。

（男性 70歳以上）

- 1. 社会状況の抜本的な大改革が必要。
- 2. 女性が男性と同じく、仕事出来る環境作り。
- 3. 平等に働いている女性の大半が、家庭を祖父母に任せていると思います。
- 4. 夫が手伝うことの出来る部分は、少ないと思う。
- 5. 昔と違って今は、祖父母が乳幼児の面倒を見ている家庭が多く、なおさら夫は何もしない。
- 6. 女性は結婚して仕事を続けているうちに子供が出来、保育園に自分で送り迎え、そして、帰りに買い物そして、夕飯の準備、仕事の方は残業頼まれても保育園の時間の事で断り、分刻みの動き、交通事故の危険もあり。そして、二人目の子供が出来て、仕事は辞めざるを得なくなるようです。この状況で会社側を責任ある仕事はさせられない。

（男性 50代）

- 最近は男女平等が叫ばれているので、女性が強くなり、家庭の仕事をおろそかにしている人が多い。それでは家庭の親子関係もうまくいかないと思う。女性はやはり家事をしっかりと、ある程度男性に協力してもらって、その上で外に仕事をもってもいいと思う。男女平等とはいえ、やはり家庭円満が第一である。女性でも能力のある人は、大いに社会に出て活躍しても良い。
(女性 70 歳以上)
- 基本的に男・女は間逆生物であり、身体的な違いから考え方から結論に至るまで違いがあって当然と考える。人間が地球上に誕生した時から、夫婦の役割があって誕生後は、夫婦の役割を果たして来た。しかし、世の中の進化に男性が力を発揮し、身体的に力の強い争い事をする男性とは別な方面で示す力は、男性を支える形となった。征服思考の強い男性が世を作るために思考を進めて来た過去は、今も継続されており女性は、広域的な思考より、日々の安定を細々と求める思考が強い事により、男性社会が成り立ち、それを支える女性の形が出来上がった節があると思う。男女平等は、現代の世の仕組みに合致しにくい部分が多く、本来の平等になるには史を変えるくらいの教育のやり直しが必要であり、何十・何百年に先までかかると思う。仮に現代の男女平等には、共同参画は出来ても啓発を進めても、根本から理解し合える姿とはならず、上辺の姿に陥ってしまうのではと考える。本当の平等・共同参画は、男女が根本的に逆の生物（男女が理解し合える）である事の理解を教育し直す事が先と考える。
(男性 50 代)
- まずは上に立つ者の意識を変えなければ、この様なアンケートを取っても何も進展しないと
思います。
(女性 40 代)
- 30 代後半で失業すると再就職は困難であり、チャンスの場がない。まず安定した職に就く事は無理である。働いたとしてもまず金は貯まらないし、あまりの激務でいつ死ぬかわからない状態の中で、男女平等参画などと言っている場合ではない。30～40 代に雇用の場をあたえ、定年まで働けるような安定した職場環境を整えて行かなければ、何も解決できない。一生懸命働いてきても人員削減のため、簡単に消耗品のようにクビ切りするような企業体質がなくならなければ、明るい未来はありえない。心・体・金にゆとりが出てくれば、子供も作るだろうし男女平等に協力し合う環境は整ってくるだろうし、誰もがそういった環境は願っている。今の世の中このようなアンケートを取るのはおかしい。原因は誰もが分かっているのに、何の解決にもならない。やっつけ仕事に無駄な時間と金を使ってる余裕があるのが考えられない。人ごとのように仕事をする体質が顕著に現われている。女性政策課単体であるのが理解できない。係で十分である。少々感情的になって申し訳ございません。世の中に無駄な仕事などないですから。苫小牧市が安定し、安心して住める環境になることを願っております。市の発展のために全力をつくして頑張ってください。
(男性 30 代)
- 母子家庭並に父子家庭も優遇されるといいなと思いました。
(女性 60 代)

- 男女平等参画についてはまだまだ後の話として、先に市が実行しなければならないのは、中・高年の働く場の確保だと思う。「衣食足りて礼節をつくす」のたとえにもある様に生活の不安を無くなって次に参画の考えも出てくるでしょう。人間カスミを食べて生きている訳ではない。机上、美句を並べ立てても、今の生活環境では空論となりうる可能性が多々有りうると思います。 (男性 50代)

- 今回男女平等参画のアンケート頂きまして書きましたが？少し不信もありますので、補足的ですが書きます。男女同権確かに良いことではありますが？毎日感じていることがあります。時には女だから又は男何だから・平気で指名されます。これって差別には成りませんか？逆に男性が何か言うと、セクハラとか何とか色々と言いますよね。男は別に逆らいませんが(笑) 平等～同権 どうなってるの？難しい仕事になると、貴男 男なんだからお願い、何故か自分の仕事は自分でやらないのが女。無理しても自分で何とかしようと頑張るのが男だと、私の見てきた67年を申し上げました。 (男性 60代)

- 仕事をしていたのですが、体を壊し辞めざるをえなくなり再び仕事をしようと思っても、年齢制限があったり仕事内容と合わなかったりと困っております。女一人でいるので、パートのみの仕事では生活も成り立たず、貯金を切り崩しの生活です(今は無職ですが)少々、年が上の方でも、きちんとした立場での仕事をもう少し増やしても良いのではと思っています(年齢が上だとそれなりの経験もあるのでは・・・?)昔の40代・50代と今では体的にも違うとは思いますが・・・(個人差はあるけれど)以前に比べると平等的にはなってきたとは思いますが、やはり出産・育児はハンディだと思います(仕方がないのですが)女性自身も責任もてる立場になる事が多くなるので、自分自身を高める方向に積極的にもなっていかなくてはと思います。 (女性 40代)

- 女性の地位向上と男女平等とは違う事だと思う。むやみに女性の地位向上のみ押し進めては、男性の地位低下に繋がるのではないかと？ (男性 20代)

- 学生時代は感じませんでしたが、社会に出てから男性が優位だと思いました。給与・仕事の内容に差はありませんでしたが、女性は3年位働いたら結婚し退職をするものという雰囲気でした。働きたいと望む女性には、待遇に差別がなく長くずっと働ける社会になって欲しいです。一方で、離婚や偽装離婚をし、働きもせず子供がいるというだけで国から手当てをもらい、贅沢な生活をしている人、支払える能力があるのに給食費を支払わない人は許せません。このような人が子育てをして、立派な子供が育つとは思いません。真面目に生活している人に恩恵のある社会を目指して下さい。 (女性 30代)

- たしかに男性の方が社会的地位のある方は多いと思います。でもそれは元々、備わってる能力の差だと思います。「子供を作る機械」と言ってしまった方に某政党の方々が勢ぞろいして

“辞任”を求めたりするのも、何かすごく恥ずかしかったです。あのような場に立つ女の人
が女性の代表なら、あんなことしてるから女はナメられるんだろうと思いました。間違った
発言なのは確かですが、そこまで大騒ぎするのもおかしいかと。あと、苫小牧市の保育の充
実はおかしいです。働いてる母親のためだと思えません。特に某保育園はあり得ないです。
虐待されたらと考えると文句も言えません。(女性 20代)

- 人生は、自分の為他人の為にそして、人間の未来の為にあるべきものと思います。その中
で、男女それぞれの存在意識を自覚し、互いに尊重し合う事が「平等」だと思います。自分
自身が人と人との間で生きている事を、もっと単純に感謝するべきではないでしょうか。助
け合い、お互いを誇りに思いながら生きる夫婦の姿の中に、男女平等参画の基本があると思
います。(男性 60代)
- 「住民基本台帳から無作為に抽出」とありますが、毎回同じ人に来ている様に思います。他の
人に聞きますと毎回きちんと提出するから・・・と言われました。お役に立てたらと考えます
ので。(女性 60代)
- 少し前 “機会均等の自由” がありましたが、私は自分の仕事（看護師）に、男・女の差を
感じた事はありませんでしたので、男女平等参画に関しても仕事上のことで、不平等は特に
感じてません。(女性 50代)
- “平等” という言葉を “全く同じ” ととらえる必要はないと思う。ただ「仕事をして食わ
してやってるんだ」という考えはおかしい。それぞれが色々な役割になっているという事を
認識して欲しい。子供を産む事は、けっして男には出来ない事だから、それを「産みなさい」
とは誰も言わない。育児や介護、障害児の子育て等の役割になっている女性に対して「仕事
をしていないから楽」とか「遊ばせてもらっていいね」等の言葉が、未だに平気に口に出
されている事が辛い。仕事をしている女性にしても、出産・育児で休暇を取ることに
理解が少ない。(女性 40代)
- 一人一人の意識改革が必要と思う。相手に何かを訴えかけられる様な政策が出来れば
いいと思う。(女性 20代)
- 私の事ではないのですが、お友達が、ご主人が亡くなり、年金の件ですが本人も厚生年金を
ずっとかけていたのですが、ご主人の年金と本人の年金少々しか出ず、生活保護より少し
しか多くないとの事です。役所では国の決まりだからと言っていたそうですが、本人は何十年
もかけて子供の世話にならないようにと思って頑張って来たそうです。もう少しご主人の年
金に本人の厚生年金、多くならないのでしょうか。(女性 60代)
- 何事も男女平等と主張する事は好みません。男・女の役割にはそれぞれ良さがあり、日本の昔

からの慣習も大切と考えます。良き事は継続し、悪しき事は改善して欲しいと願うものです。今は、らしき（男・女）に欠けた事が世の中の常識から外れた人が多くなり、教育の学校・家庭の躰、しいては社会人としての欠落した人達が、今の世の中であり現状です。昔の良さを再び取り戻して欲しいと思います。（女性 60代）

- 若い女性の方々が、社会的自立を意識して、しっかり発言・実行して行ける様な世の中になって欲しい。その為に先輩である年配の女性にも、働きかけ協力を求めて欲しいです。まず女性自身が目ざめて、活動しなければダメだと思います。（女性 70歳以上）
- 人として思いやりの心が、色々な事が解決出来る様に思います。（女性 60代）
- 売春・買春と女性の人権尊重とは別問題、そもそも売る人がいるから買う人がいる。男性が売春（体を売る）しても罪にならないのは逆差別。セクシャル・ハラスメントも、女性ばかりが弱い立場の様に言うが、逆セクハラも多くある。あまり平等・平等・差別・差別と言うと、反発する人間も多数いる。差別と区別をきちんと考えるべきだ。どんなに頑張っても男は子供を産む事は出来ないし、女性は精子がなければ子供を産む事は出来ない。これを大きな声で言っても、差別ではなく区別だ。ちなみに当社は女性しか採用しない。（男性 40代）
- 昔に比べ、意識の中には男女平等という考え方は浸透してきていると思いますが、やはり生活となると男性が外で働き女性は家事・育児というのが現状のようです。女性がパートに出たとしても、男性が家事に協力的ではないと、女性の負担が大きくなります。男性も女性に任せきりではなく、家庭の事を手伝って欲しいと思います。（たとえ女性が専業主婦であっても）（女性 40代）
- 苦小牧も含め国内で多種多様な事故・事件が発生しております。不勉強な大人が多すぎます。
 - ① 社会の根であります学庭教育が弱すぎます。
 - ② 学校教育の中に道徳の学び及び、倫理の学びを重要事項として取り入れて、ひ弱でない人作りを進めて下さい。（男性 60代）
- 女性の社会進出を推進していくことも大事だと思いますが、やはり女性は子供を産んで育てる事が、社会にとって一番大切な事だと私は思います。（女性 20代）
- 企業が男性の家事などへの参加の重要性を認識し、労働時間数の減少で昇進の遅れ又、収入減とならないようにする事。多くに子供を産めるような職場、社会環境を作ること。派遣社員・ニート等が無くなり、若い男女が皆平等に仕事につけるようにする事。（男性 60代）
- 育児に無関心の男性が多すぎる。育児がどれほど大変なのか知らない人達が、日本の法律や

システムを作っている以上、少子化は改善しないと思う。 (女性 30代)

- 最近家庭を離れて趣味の分野や遊び等に参加する女性が、男性よりも多く感じられます。又、共働きの夫婦も家計維持・教育費の捻出等を考えて、多くなっているものと思いますが、男女平等参画をもっと進める為には女性自身ももっと世の中・社会・世界の事等を勉強し、知識を身につける努力が必要と思います。テレビ・新聞等のメディアをもっと活用するなど、つまらない芸能番組を日常の話題にしている女性を見ていると、最近の子供のイジメや給食費の不払い等の問題も起きて当たり前のような感じがします。世の女性・母親は自分の子供の為にも勉強し、社会進出して欲しいと強く感じています。それが男女平等参画を進めてゆく事にもなると信じてますが！ (男性 60代)

- 働きたくても正社員で働けない事が多く、年金・健康保険などの支払いも高く、若い人達が生活しにくくなっていると思う。保障された仕事がないと進めないように思う。 (女性 50代)

- 昨年結婚しました。子供が欲しいと願っていますが、今の生活ではとても出産出来ないし、2人で働いて精一杯です。ぜひ、子供を産み育てやすい環境づくりを希望します。今の状態では精神的に不安で出産する気になれないし、経済的にも・・・出産後も不安なので・・・。 (女性 30代)

- そればかりを追求していくと、家庭崩壊に繋がるのでは？男女平等は大切だけど、家庭では父・母の役目って男じゃないと、又、女じゃないとダメだと思うので・・・。理由はうまく言えないけど、ずっと昔からそうなのだから、それが自然だと思います。(でもそれって大事ではないですか。子供の心の安定のために・・・)でも社会的な所では、もっと女が活躍して欲しい。特に政治とか女の意見をもっと取り入れて欲しい。私個人としては、子育て中は、母は働かない方がいいと思うけど、経済的に厳しい家庭もあるだろうし・・・。そうした場合に共働きを支える様な、法律や社会サービスの見直しが必要。今の状況はやっぱり女が仕事と家事を両立しなきゃいけないから、それを支援するために女性の意見を政治に活かして欲しい。 (女性 30代)

- 進めるのは自由だけど、それぞれの家庭に基盤を持たせる事が大切だと思う。いろんな選択を世の中に広めて欲しい。 (男性 20代)

- 男性としては、暮らしにくい社会になって行きそうです。 (男性 30代)

- 一人・一人の考え方を少しずつ替えて、社会に対しての古い慣例をなくしていくべき、男性・女性とのへだたりを早く無くして、小さい子供の時から男女平等を教えて欲しいと思います。 (女性 40代)

○ 私どもの年齢（50代）では家事は奥さんで、自分は何もしないという男性がまだまだ多いように思いますが、若い方は家事・育児に参加している方が少なくないのではと思います。でもやはり女性は出産を機に、育児に専念しなければならないというのが現状の様に思われます。親が近くにおいて手助けを受ける事が出来る方以外は、保育園等の施設がまだまだ不十分であると思いますので、その辺の環境の整備を早くするべきです。又、転勤のある職場では、夫婦別の地域に転勤になり仕方なく奥さんが、仕事を辞めるという話も聞きます。何故、同じ地域への転勤が出来ないのでしょうか。何か理由があるのでしょうか。雇用側でこのような問題をもっと真剣に考えなければ、少子化は益々進むでしょうし、女性が仕事を続ける事も大変だと思います。そして、一番大切な事は男性の意識改革です。男性・女性という事ではなく同じ人間という意識を持てば、買春・DV・セクハラはなくなるでしょう。一方、女性の方も男性だから仕方ないとか、外で働いてお給料を持ってきてくれるのだから自分より上（あるいは偉い？）という考えを持っておられる方が、結構いるのも事実です。女性の側の意識改革も必要だと思います。（女性 50代）

○ 男女平等はたしかに言葉としては通用してますが、50代以降の男性は女性の進出には？と云う方が多いと思います。若い方々は男女平等は今更と云う感覚ですのでOKで、もっともっと広く認識を改めていかなければ、苦小牧も遅れると思います。私が40代の時に、町内会の役員を受けた際には（19年前）はすべて（婦人部以外）男性の70歳代の方が占めており、意見を発すると女のくせに男的な男性が多く驚いたものです。その後10年間役員をして町内会も女性を認め、役員も世代交替をしてスムーズになってきた頃、私はフルタイムで仕事をする為、町内会より足を洗ったので最近をよく町内会についてはわかりませんが、しかし、自分が働いて10年近くになると実績もあげてきますと、やはり上司が女に負けると腹が立つ→したがって出るくいは打たれる訳です。もっともっとドラマの様に女性がどんどん力を伸ばせる苦小牧になって欲しいと切に願う次第です。頑張ってください！（女性 60代）

○ 男性の育児休暇など、我々の時とは大きく前進が見られ、大変良いと思います。又、羨ましく思います。少しでも少子化の改善が出来る事を期待しています。（男性 50代）

○ 休日などに子供を預ける事が出来ないこと事態、市が差別しているんじゃないですか？全く時代遅れです。働きながら幼稚園に通っている子がダメで、保育園児のみを対象とすること事態、とんでもない差別ですよ。休日に仕事に出なければならない場合、本当に困ります。失礼極まりない対応だと思います。まだまだ家庭の事をしながらの仕事人が多い中で、理解する人がいなければ、こんなアンケートもなんの意味もないと思います。女がして当たり前なのは出産と、ある程度、家事・育児だと思っています。男性がまだ家事・育児に参加出来ない・しない・する気がない！この社会をもっと見直すべきです。政治家に男性が多いのが何よりの証拠でしょう。人間はみんな平等なはずです。市の職員は女性の方がずっと親切で優しいです。（女性 30代）

- どんな事を行なうにしても、男・女、又は偉い人もそうでない人も、絶対的どんな人間をも差別しないで互いに尊重し合い、一番大切な事は話し合いの場を持つこと。その中から色々な最後の結論が出てくると思われます。 (男性 60代)
- 男女平等参画推進条例が、基本的施策を実現化する中で、市民のものになっていく事を期待しています。 (男性70歳以上)
- 戦後60年と男・女が大きく変わり、平等権が進展してきました。戦前は節約時代で、物資が今ほどない時代でしたから、家族の多い時でしたからお互いに分け合い、そして助け合いの時ただけに、その日その日暮らしてました。今の時代は、物資が沢山あり余って何一つ不自由ありません。そこで、家族でも親子又、父・母の分担も平等になりながら、毎日がとても忙しい毎日を過ごして、心のゆとりがないように思われます。これは、時代の変遷であると思います。これからも（子供の間から）小学校生徒の時から家庭社会科を学ばせ、そして、あらゆる父親の職場・母親の働いている所を見学させ、又、家庭にあっても一緒に食事をとり、話し合いの場を多く取り、社会に出て男・女が共に貢献出来るかを学んで行く事が大事かと思えます。体験したことを積み重ね、社会・世界へと共に仲良く暮らせるよう進めて下さい。 (男性70歳以上)
- 古い考え方もかもしれませんが、子供が小学校へ入学する頃になると主婦はパート労働といって外で働く、子供の帰宅後には不在・夕食は店頭の既製品や外食、そうではなく子供や夫の帰宅時に家にいて、声を掛け合い、又、外で労働すると余分な経費や無駄が有り、女性特有の知恵を持って割安な材料でも、季節感やその家庭の温かさに繋がると思うので、出来れば女性は外で働く労働は積極的でない方が良くと思う。古くてすみません。 (女性70歳以上)
- 1. 家庭環境（例えば子供が大きくなった。介護する人が家庭内にいないe t c）が大きく変化し、男女平等参画の支障になる事が多い。
2. 男女共にその道のプロ化が必要。
3. 表面的な参画でなく、自分で立案出来る知識を得る事。
4. テレビのワイドショー的な気持ちを捨てる事。 (男性70歳以上)
- 私はある会社に19年間勤めたのですが、その間、同期入社男性は課長・係長と上っていったのですが、決して自分がその人達に劣っていたとは思っていないと自負しています。今の社会全体がまだ充分ではと強く感じています。その中で出産休暇などを取ればよく思わない回りの人達の理解の少なさに退職、子が手を離れ再度チャレンジしようと思っても、女は若い子の方へという風な事もあり、なかなか職場もみつけれずという人が私の周りにたくさんいます。私の場合、内地と言われる本州からの引越しで来ているのでより厳しい状況です。働きたいけど都合良く見つからない。生活はより厳しさを増しています。苦小牧は良い

所と聞いて来たのですが厳しい寒さ、道路状況何一つとっても良い所が見つかりません。もっともっと市役所の方はより良い企画立案をし、良い市として下さい。口で言い行動する市政であって欲しいと強く思います。
(女性 40代)

- 男性は女性を理解し、又、女性は男性を理解する事が大切。
(男性 70歳以上)

- 言葉では理解してるように思いますが、本編をしっかりと理解してから実行すべきのように思います。実際、私もよくは理解してなかったものですから・・・条例になるのは大事だと思いますが、実際どれ位の方々が認識してるのでしょうかね。平等と名ばかりの時もあるものですから。
(女性 50代)

- だんだんと平等がなくなってきたと思う。というか女が自ら弱い立場だという事を利用して、裁判だの何だのと騒ぎすぎてると思う。だからかもしれないけれど、特に差別とかは全然感じない。男も女も「差別」とかって口にする人は自分の能力や努力が足りないから、言い訳に使っている様な気がするな。だって人は皆生まれた時から平等だもん。今の状態を崩すとか改善していったら、ゴチャゴチャな社会体制になる様な気が私はします。
(女性 20代)

- 女性が家庭を持ち母親になった時の、子供を預ける施設の体制が不十分だと感じます。施設がないのであれば資格（保育士・ベビーシッター）を持った人達と、もっとネットワークで繋がってれば改善される点が沢山あると思うのです。苫小牧市内では、保育士資格を持っているのに働けない・働く所がない等の理由で、資格を使えない人が沢山居ると聞いた事があります。保育所も三ヶ月～の保育をもっと増やし、保育士も出前講座など、もっと沢山のお母さん達のために外へ出て、知識を広くひろめていく必要があると考えます。（延長保育もAM7：00～PM7：00にするべき）女性が社会でもっと活躍する場＝子育てしやすい環境がないと、その場が持ちづらい。
 1. 企業内託児所にも市が協力的・援助をしていき、女性が時間を気にせず働ける環境を整えて欲しいです。
 2. 家庭内保育・ベビーシッターの普及・登録。
 3. 保育士への勉強会・講演会・質の向上。
(女性 20代)

- 男女平等これは当然の事。しかし、この問題は女性が一番理解していないと考える。それは、男女区別を差別として考えている考えが多い。女性だから出来ない・女だからやる必要が無いなど。離婚の場合なんで男が女に慰謝料を支払うのか、女に男が出来て離婚する場合子供を男に押し付けて。又、母子家庭には市からいくらかの金銭の支払いが有るが、父子家庭には無い。これは男女差別では。都合の良い時には男女平等と言い、悪い時は男だからと言う。この辺も含めて考えるべき。私はいつでも出向いても良いですよ。話をしたい。
(男性 60代)

- 私達の年代ですと現在の女性の考え方は分からない事が多い。話し合っても私の考えている事を話してもすぐに否定される。女性同士が明るく話し合っていて欲しい。今のままでは、何をやってもうまく行かないと思います。(男性 70 歳以上)
- 社会では男女平等差別はないと言いながら、中小企業の会社ではまだまだ口には出さないが、態度や他日常的に目に見えない差別を時々感じる事があります。長い間の諸事情が見えない壁を作っている様に思います。男女共にもっともっと意識改革が必要ではないかと思っております。(女性 60 代)
- 行政が「男女平等参画」といくら声を大にして言っても、やはり女性自身の意識が変化しないと意味をなさないと考える。本当にやる気がある女性に対しては、良い施策を考えるが反面意識の低い女性には、権利だけを主張する者も増えるのでは。レディースデー反対、男性にも！(男性 30 代)
- 男女平等と言っているけど、女の人の事ばかりで男の人の事も考えて欲しい。男が育児休暇を取ると、会社での評価が下がる。会社に居づらくなる。「やめろよ」って圧力がかかる。当然女性も同じだと思う。子供育てて行く環境が悪すぎる。休暇も取れないのに子供を産んで欲しいと言われても無理です。子供一人に対しての手当てが少なく、所得も十分でないのに。(男性 20 代)
- 平和と自由の憲法のもとに、男女平等も大きく飛躍しつつあると思いますが、その反面、自己中心的な大切な心のゆがみから、社会的にも不安全な方向に進んでおります。又、会社・事業者等の企業の私利・私欲に走り、パート等の安い賃金で雇う女性に対する偏見も拡大しつつあります。勢い公務員・大企業等の安定した職を求める為に良い高校を競う受験地獄の激しさを増しております。更に自由のはき違いから無責任な人情の欠落・金銭優先自己中心の全く常識の通用しない世相と成っております。「衣食住足りて礼節を知る」昔の格言に逆行しているものと思います。特にバブル期に育った人達の行動は、今問題の大事な育児に大きな障害が生じており、何不自由ない環境の中で常識・躰は目に余るものがあり、折角働いて得たお金も保育・幼稚園・塾などに費やして、施設など他人任せの状態です。親の情も薄れ、躰・食事も満足に行なわれてないのも多いと聞かされる。また、夫婦間の自己主張がお互い強く、協調心の欠除から離婚率も年々増加しており、子供達の心の傷は量りしれません。これも一つには市政の甘い福祉にあるのも事実であり、生活補助で安易に生活が出来るものとも考えられます。財政の面からも厳しく規則・審査等・福祉の見直し・節税に努めると共に辛抱、我慢している正直者は馬鹿を見ない政策をして下さい。家事を嫌って外に出て働くばかりが男女同権ではなく、家事及び育児は大事な仕事ですので、夫の手助けにより幼い内から愛情をもって常識など、厳しく躰をして行く事が遠からず乱れた社会も次第に良く成るものと思っております。ある程度、育児をしてから外に出て仕事に出ても遅くないとも考えられます。(女性 70 歳以上)

○ 社会経済状態が上向きになっていると言ってもまだ生活困窮家庭も多く、共稼ぎをしなければ生活出来ない家庭も多く、主婦が家庭を守り子供を育成していく環境が持続出来なく、親子の会話も少なく色々事件が発生しています。社会の一員として社会生活の土台となるはずの家庭が崩壊してはいけないと思います。主婦が家庭にあり安心して生活出来る経済状況が維持出来るよう、政治面での検討が必要であると思っています。又、教育問題においても、家庭でのやる事・学校でしなければいけない事が平行線のように一緒に歩まなければ、どちらかへの責任を問うのではなく子供を通して、家庭・学校がどれだけ力になるかが必要なのではないのでしょうか。現在もやっているようですが、学校の空き教室を利用し、お年寄りと子供との交流が出来る場を多くすると、核家族の中にも潤いが増し子供の成長過程においても大きな役割があると思います。“ゆりかごから墓場まで”の子供と老人を大切にしていける世の中にしたいものです。 (女性 60代)

- 1. 一番簡単に取り組めることは小・中学・高校（公立）の男女別出席簿、男女別名簿を男混合に改めることです。次に市・道・国・その他公的機関の出版物の統計数値で、男女別に意味のあるものはどこまでか精査し、性別に意味の見出せないものはやめるべきです。
2. 次に働きながら育児・子育てが可能で、しかもその方が得をする仕組みと税制を構築することです。この子育てには未就学時ばかりでなく就学児、少なくとも小学校高学年5～6年まで利用できる（冬・夏季・春季休業間も）学童保育所の設置を含みます。保育所は夜8時まで（早朝6時半から）むろん、休日（土・日）も利用可とします。保育料は給与控除の対象とします。そうすれば女性も働けます。
3. まず官公庁、一定規模以上の企業に管理職の内女性管理職の必置割合を定めます。努力目標でなく必置です。法律で定めますがそれには人材育成のための準備期間を4～5年設ける必要があります。10年では長すぎるかもしれません。二点目が整備されてからこの取り組みを始めた方が効果が上がります。
4. 労働者の年間総労働時間を減らし制限し、オランダ型ワークシェアリングを本格的に導入することも必要です。それにより男性が家事・育児を担う時間を生みます。
- ※ 男女平等を推進し啓発するための市民意識調査において、それと否定的な意識をどれだけの市民が持っているかを調査する意味があるのでしょうか。むしろ否定的な意識の人は我意を得たりと思い、自分の意識を変える必要性を認識しません。決して建設的な意識調査とは言えません。 (男性 50代)

○ 男性であれ女性であれ「より良く生きる為には?」「家族・子供達・同僚・地域の人達・お年寄り等が気持ちよく暮らしていく為には、どうすれば良いのか?」「少なくとも周りに迷惑をかけない」という基本的な事を守れば、世の中そんなに醜くならないのではないかと思います。男女平等参画も自然な事になると思う。その上で男女が率直な考えを出し合って、理解しようとする話が出来る場（家庭・職場・地域）があるのが理想ですが。今の時点では個人の幸せのみを追求していて、周りには目を向けようとしない男性・女性が多いのだと思います。なので、男女平等参画と言うごく当たり前の事についても、あまり関心がないのが現状

ではないでしょうか？（皆、忙し過ぎるのかもしれませんが。）

（女性 40代）

- いつでも意見言いますよ。条例を作り施行との事ですが、基本計画もなく条例を作るというのも変な話です。何がしたく何を目的として、どの様な結果を得たく考えた条例なのでしょう。か？男女平等は個々の意識の問題として考えると難しいと考えます。まず、社会的平等を考えると就労・すなわち金銭面での不平等を女性の立場として改善しなければ、無意味な条例になりませんか？苦小牧は多いと聞きます。男が「オレが金を持ってきて食わしてるんだ」という男性が多いと。工業の街であり、流れ者的職工の多い街である古典的なケースです。給食費も満足に支払わずにパチンコ。生活保護者の多い街そのものを変えてく行動を、行政と賛同企業と共に行動しなければいけないと考えます。まずは意識・日々の生活から変えるPRをしてはどうでしょうか？広報等で終わらせずラジオ等を用いて。 （男性 20代）

- 男女平等参画を訴える方々の話を聞いていると「男性・女性が全く同じでなくてはならない」と言っているような気がしてなりません。男性・女性と言う言葉も「差別だ」と聞こえてくる気がします。私は、男性・女性は人間としては同じでも、その中身は違うと思います。それは生物としてです。それぞれに良さがあり短所があると思います。ですから全部ではありませんが、それぞれに合う仕事・合わない仕事があると思います。差別と言うのは同じでもいいのに、ただ、女性だからと言ってさせないのは差別だと思います。女性でなくてはならないものがあると思います。男性と一緒ににはならないものが沢山あると思います。その大きな一つが子育てだと思います。男女平等参画で一番問題にいつも思うのは、子育てをどうするかということです。今、共働きが多くなって、子供の非行が多くなったと言われています。家に帰っても誰もいない、したがって自分勝手な生活が始まり、躰が出来ないからだと思います。父親でもいいと言いますが、子供にとって母親は父親と同じではないのです。子供にとって母親がどれほど大切なものか。それは言うまでもなく子供を産むのは母親で、そしてお乳をあげるのも母親です。これは父親には絶対に出来ません。たしかに父親にも子育ての責任はありますが、なんと言っても子供にとって母親は、なくてはならないものだと思います。この時点で、男性・女性は全く同じとしたならば、子供は実に可哀想なことになると思います。結婚すると言うことはどうしても、男性・女性でなくてはならないと思います。（子供を作らなければ良いですが）子供が出来ても保育所に入れれば良いと言いますが、保育所は親ではありません。子供にとっては可哀想なことだと思います。現実、生活が出来ない状態ではやむを得ない場合は仕方がないでしょう。ですから、仕事は最低限にしないでほしいでしょう。この段階で、男性・女性は同じと言う訳にはいかないでしょう。父親とは違うのです。男性・女性それぞれ適正を生かして、家庭を作って行かなくては子供が可哀想。私は、この男女平等参画の中身に疑問を感じます。私は、女性は女性として認めて欲しいと思います。 （女性 60代）

- 子育て支援施設・・・保育所・幼稚園・託児所の総合した施設、その施設には保育士・看護師・子育ての相談員（気軽に相談できるベテラン相談員） （女性 50代）

- 女性の社会進出が目覚しいのですが、最近の子供達の荒れ様と無関係とは言えないのではないのでしょうか。ここが一番の問題だろうと思います。女性特有の子供を産み育てる能力を全うした上での参画が理想的なのでは！！？（結婚するのであれば・・・）育児が得意な男性が居れば交換する（仕事）とか。この問題は子供を抜きには論じられない事です。
(女性 60代)
- 男性に対して質問なんですけど、痴漢とストーカー・強盗事件・オレオレ詐欺・小学生を連れ込む事件、この五つを止めて欲しいと私は思います。もう一つ気になっている事はコンビニ強盗事件も止めて欲しいですね！あと、男性がタバコの吸った時の煙が女性にかかるので止めて欲しいです。
(女性 20代)
- 男女平等参画とても良い事と思います。
(女性 50代)
- 何事においてもそうですが、法律を整備し、その法律を遵守する社会を作ることが必要と思います。
(男性 40代)
- このアンケートでも見受けられましたが、設問の偏りや決めつけがあると思われます。本質は複雑な細木の様なもので、一辺通りの方向でのみ語ることを女性への偏った見方に繋がるのではないのでしょうか？アンケートの内容から見直す必要があると思います。
(男性 50代)
- 男女平等参画という言葉はわかりませんが、もう少し病院・介護・老人に対しての協力・補助などを充実してもらいたいです。制限がありすぎです。
(女性 40代)
- “男女平等”という言葉自体に、今まで女性が低い位置にあった事をあえて強調している気がしています。始めから同等ならばこんな言葉出てこないはずなので、こういう表現で男女の差を埋めていこうとするよりは、ただ男性であろうが女性であろうが、その人の能力だけ見ていけばいいと思います。力仕事の分野だけは男性の方が有利かもしれないけど、それはお互い様でキャビンアテンダントは女性ばかりだし、うまくは言えないけど、何かおかしいと思います。女性を男性の位置まで押し上げようとするのではなく、とにかく、どんな仕事も能力やその人の本質で決めたり、選ばれたりする様になれば変わっていくと思います。
(男性 20代)
- 私は介護施設の職員として、出産前まで勤務していました。介護の職場の8割は女性スタッフの為、男性との差を感じる事はほとんどありませんでした。上司も女性だったりと同じ女性として、働きやすい環境でありました。出産後は体調や育児のことがあり、再就職の気はありません。社会には男女の差はたしかに存在しているとは思いますが、一方では、一生をかけて働く気持ちの持っている女性は男性に比べ少なく、仕事は嫁に行くまでの腰掛け程度

という感覚の人がいることも確かです。男性の女性への社会進出などへの意識改革は必要ですが、女性自身の意識改革があつてのものと思います。(女性 20代)

- 「男女平等参画」という言葉があるという事は、不平等社会なのだなと感じました。女性が社会に進出して60年以上が過ぎても不平等がなくなるという事は永遠に変わらないと感じます。性差というのは男・女の違いより、個々人がどう扱っているかの方が大事ではないでしょうか？原点に立ち返って、作り上げられた男女差別社会や男女平等などと言わず、個性の違う人間が自分らしく、そして生き生きと社会と交わりながら、弱者に対して優しい社会が出来れば不平等はなくなると思います。「平に等しく」の本当の意味を知りたいと思います。高齢者・幼児・障がい者が等しい社会であれば、男女も平等な社会なのではないでしょうか？そのことに国や政治家・行政が真っ先に取り組めば、企業は変わります。そして人も変わると思います。(女性 50代)

- 男女平等という意識は大いに必要不可欠と思うが、平等に物事を扱うという事は困難。男性・女性の基本的違いがあるのに一緒にして考えるのは無理なこと。子供を出産できない男に授乳・育児は無理。子供が成長発達する過程でも明らかに、男と女の違い(性格や感情など)が芽生えてくるのを成人になって同等とは不自然と思う。例えばあらゆるスポーツは男女区別していて、仕事・労働などは同じに出来ないし、これらに差がつけば経済的に差があつて当然と思う。男と女はそれぞれ特有の利点を持ち得るのでそれを発揮すべきである。(男性 70歳以上)

- 1986年に男女雇用機会均等法が施行された時も、性差に配慮を欠いたり、条件整備が不十分なままで「悪平等主義」が横行する風潮がみられました。その後90年代から現在までに福祉の分野でも(条件整備の一つである)対人社会サービスがかなりの進展をみせていますが、雇用の機会均等に関する混乱はまだまだ続いており、条件整備もまだまだ十分とは言えません。そのような中で、1999年に男女共同参画社会基本法が制定され、都道府県・市町村においても推進計画が策定されてきている訳ですが、「【ジェンダーフリー】の使用に関する内閣府の考え方」が出され「最近の【ジェンダーフリー】という用語をめぐる誤解や混乱の状況を踏まえると・・・敢えてこの用語は使用しない方が良いのではないか・・・」「差別をなくすという意味で、定義を明らかにして使用しているものについては問題ない」というような考えが、示されたことでも明らかのように、とにかくまだまだ混乱はあるようです。しかしながら、話し合つて計画を立てていくこと、様々な条件整備を進めていくことを通じて、市民社会というものは成熟していくのだと思います。男女共同参画による計画の立案・実践・モニタリングという過程に意味があります。男女共同参画を進めるにあたっては、基本法にもあるように男女の人権の尊重を旨として行なわれなければならない事は言うまでもありません。そして、それは個人の尊厳が損なわれなければならない事でもあります。アンケートの中にも書きましたが、性別によらず個人が自分の意思によって選択したライフスタイルや活動の保障される社会が大切なのであつて、決して「かくあるべし」というモデルに

固執する事なく、多様性を認め合える社会であって欲しいと思います。(特に結婚・出産・仕事等に関して) また、終身雇用が崩れ、しかも実力(能力)が評価されるのでもない不確実な社会にあって、人権の尊重・個人の尊厳の保持が保障されるためには、「性やライフスタイル・障害の有無・所得の多寡等によってうけるひずみを、出来るだけ小さくする政策」(フランスでいうところの社会的正義の基準による政策―道新・2月7日付夕刊・布施晶子氏による―)が必要でしょう。さらに、男女共同参画推進計画は、他の行政計画―保健福祉計画や子育て支援計画・地域福祉計画等々を踏まえ(社会的な条件整備)それらと相互作用的によりよい地域コミュニティづくりに繋がるものであって欲しい。(女性 50代)

○ 突然のアンケートに驚いています。

ぜひ、役立ててください。

(男性 40代)

IV 集計表

問1 あなたは、現在、次にあげるような分野や社会全体をみて、男女の地位などに差があると思いますか。(1)～(7)のそれぞれについてひとつ○をつけてください。

(1) 家庭生活上で		回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体		514	11.3%	42.2%	33.9%	2.9%	1.6%	3.7%	4.5%
性別	男性	233	9.9%	37.3%	39.5%	3.4%	2.1%	3.4%	4.3%
	女性	279	12.2%	46.6%	29.4%	2.5%	1.1%	3.9%	4.3%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代別	20歳～29歳	42	7.1%	33.3%	40.5%	2.4%	0.0%	11.9%	4.8%
	30歳～39歳	68	11.8%	36.8%	39.7%	1.5%	2.9%	5.9%	1.5%
	40歳～49歳	77	9.1%	46.8%	39.0%	1.3%	3.9%	0.0%	0.0%
	50歳～59歳	131	11.5%	48.1%	32.1%	3.1%	0.8%	3.1%	1.5%
	60歳～69歳	111	12.6%	41.4%	30.6%	4.5%	0.9%	3.6%	6.3%
	70歳以上	85	12.9%	38.8%	28.2%	3.5%	1.2%	2.4%	12.9%

(2) 仕事の中で		回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体		514	22.8%	42.0%	18.1%	3.9%	1.4%	6.2%	5.6%
性別	男性	233	13.7%	45.9%	21.9%	5.6%	2.6%	4.7%	5.6%
	女性	279	30.1%	39.1%	15.1%	2.2%	0.4%	7.5%	5.7%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	20歳～29歳	42	26.2%	35.7%	23.8%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	30歳～39歳	68	29.4%	39.7%	16.2%	4.4%	0.0%	8.8%	1.5%
	40歳～49歳	77	24.7%	46.8%	16.9%	2.6%	3.9%	5.2%	0.0%
	50歳～59歳	131	28.2%	42.7%	18.3%	2.3%	1.5%	4.6%	2.3%
	60歳～69歳	111	15.3%	44.1%	19.8%	3.6%	1.8%	4.5%	10.8%
	70歳以上	85	15.3%	38.8%	15.3%	5.9%	0.0%	9.4%	15.3%

(3) 学校教育の場で		回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体		514	3.9%	16.0%	52.3%	1.6%	0.8%	16.3%	9.1%
性別	男性	233	0.9%	12.9%	58.4%	1.7%	1.3%	15.5%	9.4%
	女性	279	6.1%	18.6%	47.7%	1.4%	0.4%	17.2%	8.6%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代別	20歳～29歳	42	2.4%	23.8%	45.2%	4.8%	0.0%	21.4%	2.4%
	30歳～39歳	68	4.4%	14.7%	60.3%	0.0%	0.0%	19.1%	1.5%
	40歳～49歳	77	3.9%	16.9%	62.3%	5.2%	1.3%	9.1%	1.3%
	50歳～59歳	131	2.3%	19.8%	51.1%	0.0%	2.3%	16.0%	8.4%
	60歳～69歳	111	4.5%	9.0%	52.3%	0.0%	0.0%	21.6%	12.6%
	70歳以上	85	5.9%	15.3%	42.4%	2.4%	0.0%	11.8%	22.4%

(4) 政治や行政 の場で		回答総数	男性が優遇 されている	どちらかとい えば男性が優 遇されている	差はない	どちらかとい えば女性が優 遇されている	女性が優遇さ れている	わからない	無回答
全体		514	25.3%	41.8%	17.9%	1.9%	0.2%	6.8%	6.0%
性別	男性	233	14.2%	41.2%	27.5%	3.4%	0.4%	7.3%	6.0%
	女性	279	34.4%	42.7%	10.0%	0.7%	0.0%	6.5%	5.7%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代別	20歳～29歳	42	38.1%	33.3%	11.9%	4.8%	0.0%	9.5%	2.4%
	30歳～39歳	68	36.8%	42.6%	11.8%	0.0%	0.0%	7.4%	1.5%
	40歳～49歳	77	27.3%	44.2%	23.4%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%
	50歳～59歳	131	27.5%	46.6%	15.3%	2.3%	0.8%	6.1%	1.5%
	60歳～69歳	111	20.7%	45.9%	15.3%	1.8%	0.0%	6.3%	9.9%
	70歳以上	85	10.6%	30.6%	28.2%	1.2%	0.0%	10.6%	18.8%

(5) 法律や制度 の上で		回答総数	男性が優遇さ れている	どちらかとい えば男性が優 遇されている	差はない	どちらかとい えば女性が優 遇されている	女性が優遇さ れている	わからない	無回答
全体		514	12.1%	31.1%	32.5%	4.3%	1.4%	11.7%	7.0%
性別	男性	233	6.4%	27.5%	44.2%	6.9%	2.6%	6.0%	6.4%
	女性	279	16.5%	34.4%	22.9%	2.2%	0.4%	16.5%	7.2%
	無回答	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
年代別	20歳～29歳	42	19.0%	21.4%	31.0%	4.8%	0.0%	21.4%	2.4%
	30歳～39歳	68	17.6%	32.4%	22.1%	7.4%	2.9%	16.2%	1.5%
	40歳～49歳	77	13.0%	41.6%	29.9%	3.9%	5.2%	6.5%	0.0%
	50歳～59歳	131	13.0%	32.1%	35.1%	6.9%	0.0%	9.9%	3.1%
	60歳～69歳	111	8.1%	33.3%	33.3%	1.8%	0.9%	12.6%	9.9%
	70歳以上	85	7.1%	21.2%	38.8%	1.2%	0.0%	9.4%	22.4%

(6) 社会通念・慣 習などで		回答総数	男性が優遇さ れている	どちらかとい えば男性が優 遇されている	差はない	どちらかとい えば女性が優 遇されている	女性が優遇さ れている	わからない	無回答
全体		514	23.7%	51.0%	10.9%	1.6%	1.4%	5.8%	5.6%
性別	男性	233	12.9%	57.1%	13.7%	2.1%	2.6%	6.4%	5.2%
	女性	279	33.0%	45.9%	8.6%	1.1%	0.0%	5.4%	6.1%
	無回答	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年代別	20歳～29歳	42	26.2%	50.0%	9.5%	2.4%	0.0%	9.5%	2.4%
	30歳～39歳	68	29.4%	48.5%	10.3%	0.0%	1.5%	8.8%	1.5%
	40歳～49歳	77	27.3%	54.5%	10.4%	3.9%	1.3%	1.3%	1.3%
	50歳～59歳	131	28.2%	53.4%	9.9%	2.3%	1.5%	3.1%	1.5%
	60歳～69歳	111	21.6%	45.9%	12.6%	0.0%	1.8%	9.0%	9.0%
	70歳以上	85	10.6%	52.9%	11.8%	1.2%	1.2%	5.9%	16.5%

(7) 社会全体で		回答総数	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	差はない	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	無回答
全体		514	19.5%	53.3%	13.0%	3.1%	0.8%	4.9%	5.4%
性別	男性	233	12.4%	54.1%	19.3%	3.0%	1.7%	4.7%	4.7%
	女性	279	25.1%	52.7%	7.9%	3.2%	0.0%	5.0%	6.1%
	無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	20歳～29歳	42	23.8%	61.9%	2.4%	2.4%	0.0%	7.1%	2.4%
	30歳～39歳	68	14.7%	61.8%	10.3%	4.4%	0.0%	7.4%	1.5%
	40歳～49歳	77	23.4%	57.1%	13.0%	3.9%	1.3%	1.3%	0.0%
	50歳～59歳	131	22.9%	55.7%	14.5%	2.3%	0.8%	1.5%	2.3%
	60歳～69歳	111	21.6%	43.2%	12.6%	3.6%	1.8%	6.3%	10.8%
	70歳以上	85	9.4%	48.2%	18.8%	2.4%	0.0%	8.2%	12.9%

		回答総数	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは思わ ない	わからない	無回答
全体		514	9.1%	40.1%	14.0%	35.4%	1.0%	0.4%
性別	男性	233	9.9%	46.8%	13.7%	27.9%	1.3%	0.4%
	女性	279	8.2%	34.4%	14.3%	41.9%	0.7%	0.4%
	無回答	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	20歳～29歳	42	9.5%	33.3%	9.5%	47.6%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳	68	2.9%	44.1%	10.3%	39.7%	2.9%	0.0%
	40歳～49歳	77	6.5%	39.0%	14.3%	39.0%	1.3%	0.0%
	50歳～59歳	131	6.1%	38.2%	15.3%	40.5%	0.0%	0.0%
	60歳～69歳	111	9.9%	39.6%	19.8%	28.8%	0.9%	0.9%
	70歳以上	85	20.0%	44.7%	9.4%	23.5%	1.2%	1.2%

		回答総数	男女が共同 して分担す るほうがよ い	どちらでも 手があいて いる方がす ればよい	主として女 性が受け持 ち、男性は 手伝う程度 でよい	男性はしな くてよい	その他	わからない	無回答
全体		514	36.2%	43.2%	17.7%	0.2%	1.2%	0.4%	1.2%
性別	男性	233	35.6%	40.3%	21.0%	0.0%	1.3%	0.9%	0.9%
	女性	279	36.2%	45.9%	15.1%	0.4%	1.1%	0.0%	1.4%
	無回答	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	20歳～29歳	42	45.2%	33.3%	19.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳～39歳	68	44.1%	39.7%	14.7%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
	40歳～49歳	77	35.1%	51.9%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
	50歳～59歳	131	31.3%	45.0%	20.6%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
	60歳～69歳	111	37.8%	42.3%	16.2%	0.0%	0.0%	0.9%	2.7%
	70歳以上	85	31.8%	41.2%	23.5%	0.0%	2.4%	0.0%	1.2%

#è ê '¼ g#i _6õ M • w , -1'1*

q66 _ 66^SSH+##3 bG_X8Z>SNaKrM

oñ\M•XĐ_Ñ†XEZCTI8

öö9 6^Sb ö9_X8Z>*0 AKrM

>/ #è >0 ê

öK 6^Sb °<K_X8Z>*0 AKrM

>/ S>| S >2 S>| S
>0 S>| S >3 S>| S
>1 S>| S >4 SèV

•gg íí ggg 6^Sc) gKZ8rM?

>/ •g >0 g 4Ä *...6~ >1 g 4Ä *...|7³9íZ9

~ggÂ 6^SbH Þc b]€_6S~rM?

>/ "3 >2 0v\Ê\Þ
>0 μ|§Ç >3 QbÚ
>1 0v\Ê

*Ë 6^Sb*Ë c b]€[M?

>/ +¬ +¬ z >4 z| S
>0 +¬ ~'i*... >5 z| Äî'¼
>1 &k K/b) *...lgz(>6 Û#Õ
>2 ÅuÇ ¶ » (è¥ >7 !"*Ë
>3 ¶ » (QbÚ

e>2 #è ö @ || ÊĚñ Zí Mññ ÓÓ...ææq>8íŮä,,•"q·qq·^ſ] >>' _gg•MM

•\]b|: ^šì ššì @66\îî 8rMM?? 8CCX[w ÑÑ† X E Z C T I 8

- >/ !^]b5 0[ö _ P M•#è ö b1 1' @ Ý r•
- >0 Ù !† q f › _ M•Ç @ ö ~ ¥•) í b q Š @/ſ <•
- >1 û @#è ö b !^] l b g•b5 0[ö †1 1' M•G \ _ | ~ › > i6ë%.)° x
\$ D Ø b Z @4 t
- >2 Ù !\ ð #Ō q b Â Ů á « @ \ € S #Ō A % @ [A •#è ö @ Q <•
- >3 ê ö b l2 , @ ö ~ ê ö b u › x & k g • @ Æ _ ^•
- >4 #è ö b ð x & k _ P M • #.0Ž @ Ý r ~ 0i5 @ È @ •
- >5 ð _ > E • µ l x 0 v Ê b) @ Ý r•
- >6 › > i6ë X b ö a x û Æ [b ¼4 b4 € ^] _ | ~ p ° @ ö •
- >7 Ç b ... æ & k _ P M • 0 v K s x4 • ¢ @ 9 x r•
#è } K l @ ° l €•
Q b Ú > &
f ? } ^ 8

>

#0íññ _ X8Z>*ºD AIKrM

e>3 #~ MÇbëö @M#Ō U #90tÊ] v b X X c °° ö ~ X Y E Z 8 r M

G b | : _ #Ō #á @ * W K S b c ^ P T \ î î 8 r M ? ? 8 C C X [w Ñ Ñ † X E Z C T I 8 8

- >/ " C b Ê] v † ñ Z } € + ĩ " g # _ ^ 8 ? }
- >0 Ù !\ ð † g ' g l O • S u " C b Ê] v † # Ø u ^ 8 ? }
- >1 Ê] v † ' K C ^ 8 \ * f < • µ l @ Q < S ? }
- >2 M Ç \ S ~ b Ê] v b M * ñ 2 @ 9 x 8 ? }
- >3 * ñ £ c ± š T \ * f < • Ç @ Q < Z 8 • ? }
- >4 Ê] v † a ^ C # Ø † [±] _ * ñ Z S 8 \ î : Ç @ Q < S ? }
- >5 - * ñ D Ø @ ~ K Z 8 ^ 8 ? }
- >6 #è ê b 6 g ° < K @ 9 x C ^ ~ g ì @ 4 † [8 • ? }
- >7 W ſ b & k b G \ † * f < • \ " C b Ê] v † # Ø u ^ 8 ? }
-) g x Ê * ñ Z | ~ + + (b # Ō A @ 8 x 2 f á † f › K S 8 \ * f < • Ç @ Q < S ? }
- Q b Ú > &
f ? } ^ 8

>

e>4 6^Sc Ê]v†#03sxM8ñ ZxM8#FCYC~bSu_c]bb|:ˆ< <<
 'Ç @p[TT\iî8rMM?? 88CX[w ÑÑ†XEZCTI8
 >/ *ñ £ p v)% Z @ - v f € • G \ † - 7 € M • D Ø b p 0 ĵ
 >0 + i # " C b 5 •
 >1 ! x * ñ £ _ # è ê \ v _ g • M • | : ^ a b p b ^ 2 / b - 1 ' 5 8
 >2 0 v b > C i è _ P Â [A • | : ^ - * ñ i è b 6 x x # Ø Â E _ < # Ý [A • S £
 ™ £ - * ñ b ~
 >3 Î Û â , • " q • x # Õ - Û * f Û g - ? & • ^] b i _ Ê] v † M i \$ x _ - * ñ K Z C €
 • < 0 ĵ i D Ø b Z í ~
 >4 Ê] v b # Ø í * ñ £ _ P M • m \ Z ^] b ~
 >5 * ñ £ _ X 8 Z % & 1 / [A • µ 6 õ x Ç \$ x ĵ µ ° á î ĵ b Z í ~
 >6 Q b Ú > &
 >7 f ? } ^ 8

#è ê buw __X8&Z> *00 AIKπIM

e>5 6^Sc ##'~*Ë ð † † > ã U[M? f\W_ÑÑ†XEZCTI8
 >/ *Ë † â W Z 8 • & Ã î ° í " Ý Â - ° † µ t > ' e>6 l
 >0 *Ë † â W Z 8 ^ 8 > & ! " * Ë > ' e>/>. l

e>6 e>5[*Ë # ã W Z 8 • \\'Ä < S %_o>> *00 AIKπIM
 6^S @ # ' ~ - > 8 Z 8 8 b c d] b | : ^ # . # ä # . # ä ? } [M ? 88CX[w ÑÑ†XEZC
 T I 8
 >/ # Õ £ †) T â M • S u
 >0 0 £ b 2 Š K _ M •
 >1 + i ß î â ^] É 5 b 3 É í b S u
 >2 M * ñ 2 (5 † " • S u
 >3 W ¶ _ < 2 - s M • S u
 >4 + - ([+ - # ä _ Q < • > 5 † " • S u
 >5 # Õ A @ 8 † " • S u
 >6 + - (b + Š í • ĵ i 2 (A † # Õ ? M S u
 >7 0 i 5 † È F S ~ m Ç † " • S u
 & k _ 2 " © M • S u
 Û † † M • G \ @ ò A T ? }
 > C b @ \ ! T ? }
 i 6 è \$ x _ 5 / ñ @ 6 • ? }
 [6 • ? }
 Q b Ú > & >
 " l _ # . # ä c ^ 8
 f ? } ^ 8

e>7 e>5[*Ë #âWZ8• \\Ä<S%_>*> AIKIM
6^SbÒbTË [[cc äö c#èö_šmY\ _j9|€Z8•\î îî88IM??
f\X_ÑÑ†XEZCTI8
>/ Y_j9|€Z8•\î: e>7>+>/l
>0 Qb|: ^G\c^8\î: e>/>.l
>1 f?}^8 e>/>.l

e>7>#// e>7[Y\ _j9|||€Z8•\î îî:: \\Ä<S%_>*> AIKIM Q€cc
½/\$x_]b|: ^G\IM? 88CX[wÑÑ†XEZCTI8
>/ 2\$5 _j9@6•
>0 ¼4 ¼A_j9@6•
>1 + Š†G_0ÛoK^8
>2 /õ "\$x^Û!K?x}OZv}<^8
>3 êö†¿4Š*Ë (_\$!#YK^8
>4) gKS~Ê|v@#Ör€S~M•\Äu)FE_C87°V¼@6•
>5 êöc °r[Äu)FE_C87°V¼@6•
>6 M*ñí0«)Ž†wE•µ @a^8
>7 QbÚ>& >'

e>7> 6^Sc äö bÛ!:\ #b6f~_X8ZZ]b|:_*f *f<rM? fM\
X_ÑÑ†XEZCTI8
>/)gx #Ø_GTf}N Û!†)FE•mAT\î:
>0)gx #Ø<cÛ!†xu *ñ£@M•-KS< ðgÛ!_uCmAT\î:
>1)g†µ _Û!†xu !_SÕMmAT\î:
>2 #Ø†µ _Û!†xu !_SÕMmAT\î:
>3 êöcÛ!_u?^8o:@|8\î:
>4 QbÚ>& >'>
>5 f?}^8

e>7> 6^Sc äö @Û!†)FEZ8C^?[7€ \\^WZ8•\î îîff€G\
c1IM? 88CX[wÑÑ†XEZCTI8
>/ !\Û!bg'g@±š
>0 µ@ ÞbG_ŠK^8
>1 Þ[\$SÇx>°\$~^]bÓ1α@6•
>2 -*ñ<0¿@Y ([6•
>3 ö9_|WZ*Ë 4Ä*(í¼4 ¼Aí)%Z^]_j9\$×...8@6•
>4)gx #Øb\A3â*Ë bÐ/œ@6•
>5 QbÚ>& >'>
>6 "l_^8
>7 f?}^8

êö bÇ" _X8Z> *00 AIKrM

e>/>0 6^S@ êö bÇ" @q5 | €Z 88^88 \ □ ■ L•bc]|b|: ^G\ _X

8Z[M? 8CCX[w ÑÑ†XEZCTI8

>/ ŽÓí2 Ó

>0 êöb>C8¼'

>1 » Ó « , • μ j í Â – œ Þ á «>&4Ä *...¼? } w E •3 /\$x (-&,\$x ^ @ Š\$ x/œ!m>'

>2 - j © x " Ý í Á Û « Ó á °>& ö\$ x ^0 • _ | W Z Y ì □ † Z <#Õ q# " C † K S

~ Y <% † Z < • G \>'

>3 êöb¾î » x%? ^] † V3U K S7§1

>4 êöb/bM4Šx} ° g S î î – í0i)z † Æ _gö € ^ C Q#Ý K S È ì ^]

>5 êöb 1ú††: Ñ « ¥ á , « °

>6 êö _ P M • « ° î • î/œ!m>& X A r \ 8 ^]>'

>7 \$u^{u? †z} Zœ!m

Q b Ú>&

>'

"l _ ^ 8

f? } ^ 8

e>/>1 ô*b*% 22ŽŽÓ »»Ó«« , • μ j í íí Â Â – œ Þ á «« - j © x " Ý í íí Á Û ««Óá

°0M]] êö _ P M • @Šö ° @r W Z 8 r M @ GEE]† ^ C M S S u _ c c c

]b|: _ K S } | 8 \ î î î 8 r M ? ? 8 C C X [w Ñ Ñ † X E Z C T I 8

>/ 2 Š x D Ø b0b%\$ K †/œ :

>0 "b*% b v ~) ~ r ~ † l i M •

>1 %&1/x /â 8 ^] b , \ * ... _ ê ö † Q x M ^] / Õ † w E S ê ö @ † K x

M 8 | : ^ # " C † X C •

>2 /Õ êöb S u b % & 1 / / D x – 1 □ <0¿ † Z M •

>3 Ç ' x # è ê ¼ _ X 8 Z b Û / M * ñ † 4 u •

>4 Ç ' x # è ê ¼ _ X 8 Z Þ [M * ñ M m A

>5 /œ ; @ v W \ h \$ î q • † M •

>6 4# í ^ @ Š / # ' b Á ¹ œ x □ î Ò ¼ b v † D 7 H M •

>7 Q b Ú>&

>'

f? } ^ 8

#è ê '¼ g#i _X&Z>*00 AKrM

e>/>2 #èèè'¼/g#i rSsc #èèè'1 g#i \88:0•06%_X8Z%44WZ8rKSS

? f\X__Ñ†XEZCTI8

- >/ #.0ŽKZ8•
- >0 ^‡\^Cf?•
- >1 f?}^8@*°8SG\@6•
- >2 rWSC%±}^?WS

e>/>3 èö ò ò -0b @; xx/œ;;_]]b&800 ô î | €Z8†\î îî 88rMM?? f\X__

Ñ†XEZCTI8

- >/ (oî|€Z8•
- >0 6•&iøoî|€Z8•
- >1 6r~oî|€Z8^8
- >2 o\‡]oî|€Z8^8
- >3 QbÚ>& >'
- >4 f?}^8

e>/>4 ; ; xx†È ò ò #.È^]]&k ò z_ \$x'g __w Cèö c r†T aa^8"q#[[M

@ Q€c]b|:~#.#â#.#â ?}T\î îî 88rMM?? 88CX[wÑÑ†XEZCTI8

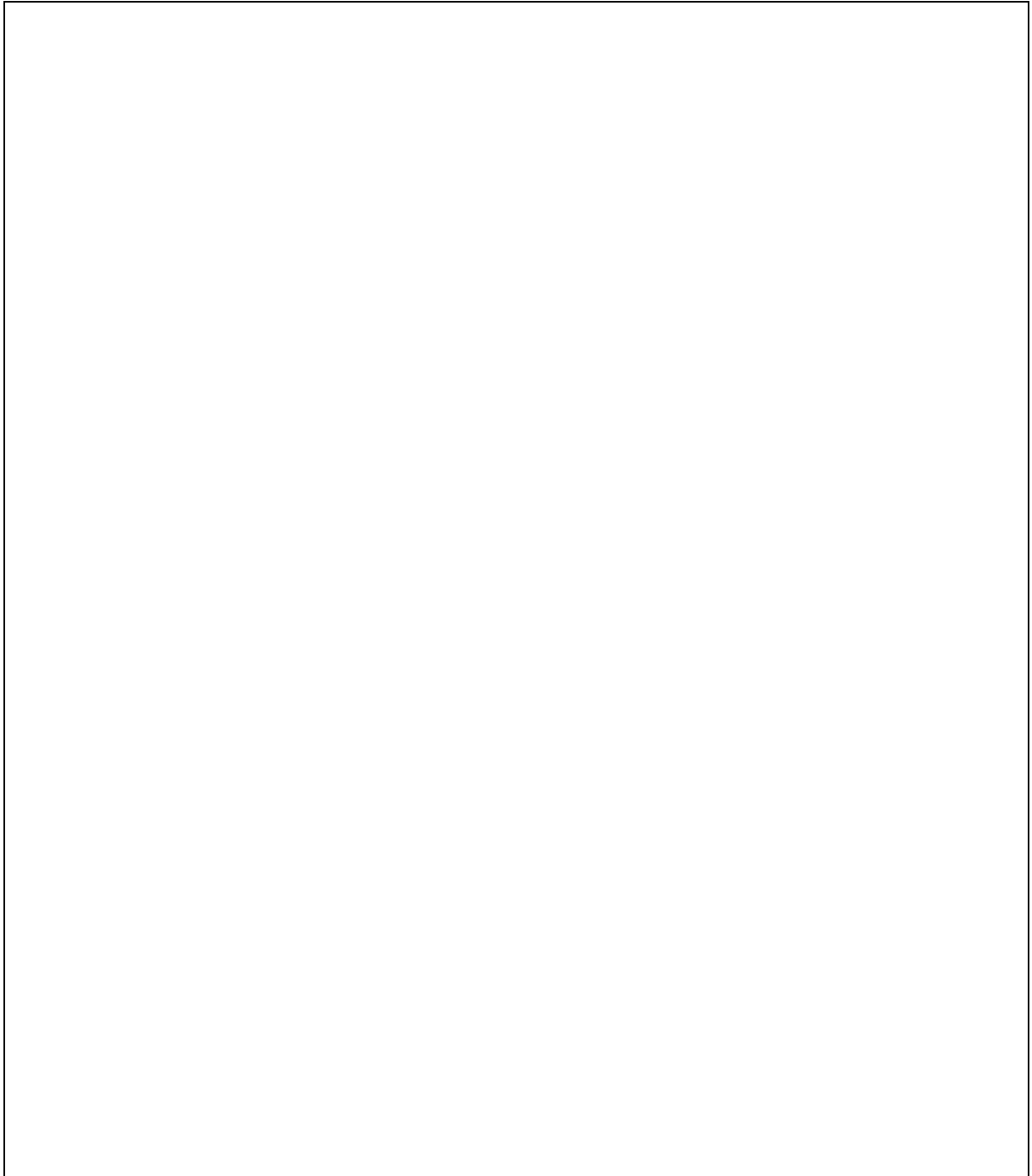
- >/ èö+→3 @ &k 4 _~\$xT?}
- >0 èöb&k 4 †|Cîf^8&k 3ú Õ @6•?}
- >1 èöb&k 4 †-<•²óZ @Y (T?}
- >2 ÞÆ[b ; *ñ£ Ó1π^]rTrTêöb2 , @±A8?}
- >3 æ_Š^]_ #èö\š3QKZYó @6•?}
- >4 QbÚ>& >'
- >5 f?}^8

e>/>5 èö ò ò &k g#i ††4 u•Sw_c]|b|:~G\@ 20[20p[T\î îî 88rMM??

8CX[wÑÑ†XEZCTI8

- >/ *ñ£xÓ1π^]_6öf•&k §îÅ «í<0;†~ M•
- >0 ~[2 ö†(, [A•|: >>iëb%)°^]†>²ó b5•
- >1 #èêbfEITZ^C !\Ù!†(, M•|: ^-1'† líh\$ÍM•
- >2 ID\$x_z*È*... †m~\Z èöb\$Í#Ý†4 u•
- >3 èö+→3 @' \$xg#i _-'†âU + Š†ÈC3 _XE•
- >4 #èöc#Õq+→g b+ Š†ÈC3 _XE•
- >5 èöb&k g#i †4 u•G_ πK^8
- >6 QbÚ>& >'
- >7 f?}^8

#è ê '¼ g#i ††4 w•_6S~ HI-ObxH0ff @6~rr(KS)}> *0*00 ?0CTI18



"å £ î ° _ H_ HI Š 88SSTAA 66~@\\: HJJB8 rKSS

